

Ⅱ. 調査結果の分析

1. 定住意向

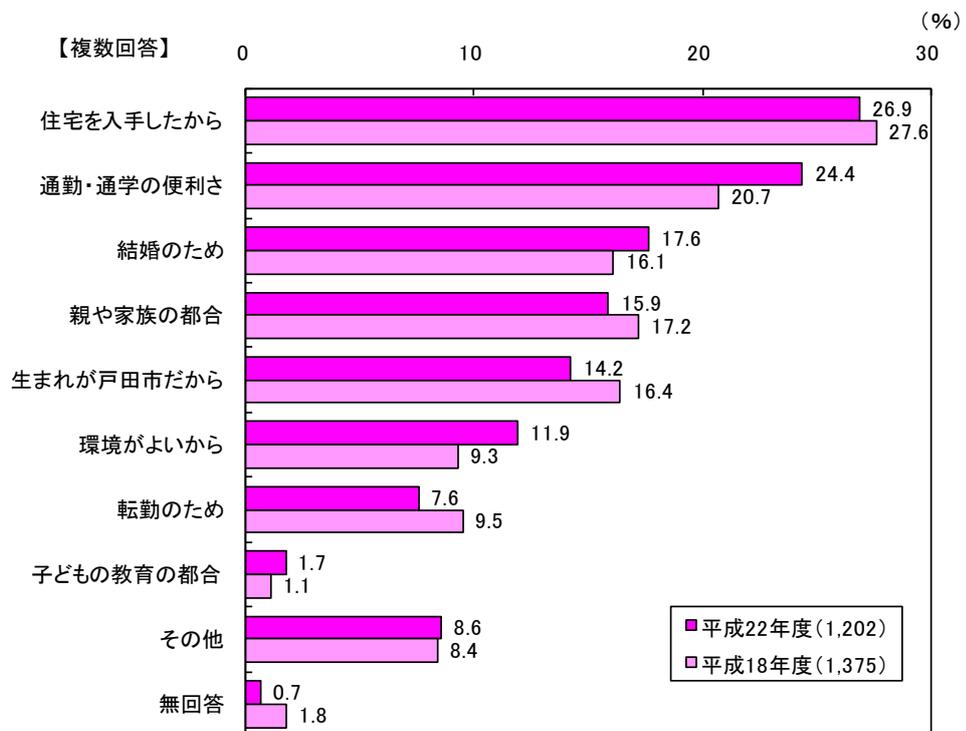
(1) 戸田市に住むことを決めた理由

問 10 あなたが戸田市に住むことを決めた直接の理由は何ですか。2つまで選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・戸田市に住むことを決めた直接の理由（複数回答）については、「住宅を入手したから」が26.9%で最も多く、次いで「通勤・通学の便利さ」が24.4%となっています。
- ・平成18年度調査と比較すると、大きな相違はありませんが、「通勤・通学の便利さ」が3.7ポイント上回っています。

図表 14 戸田市に住むことを決めた理由(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「通勤・通学の便利さ」が第1位となっており、女性は「住宅を入手したから」が第1位、次いで「結婚のため」が第2位となっています。
- ・年齢別にみると、16～19歳は「親や家族の都合」、20歳代は「生まれが戸田市だから」、30歳代・40歳代は「通勤・通学の便利さ」、50歳以上は「住宅を入手したから」がそれぞれ第1位となっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区は「住宅を入手したから」が36.0%で他の地区に比べて特に多くなっています。また、上戸田1地区・上戸田2地区・新曽地区は「通勤・通学の便利さ」が30%近くを占め第1位となっているほか、美女木地区は「結婚のため」が第1位となっています。

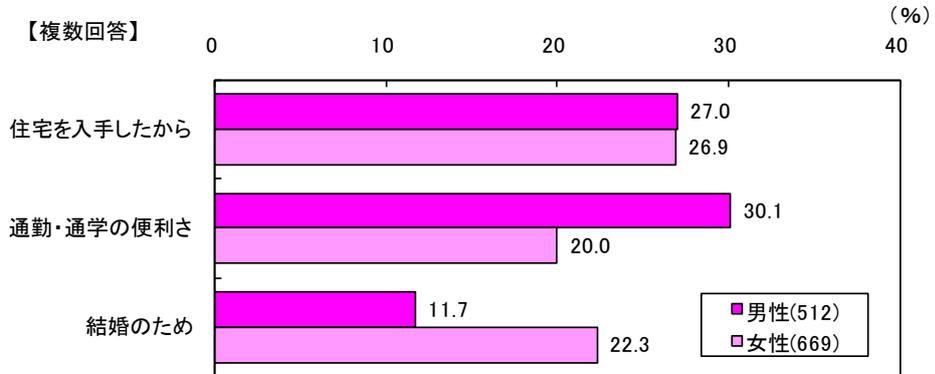
図表 15 戸田市に住むことを決めた理由(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		住宅を入手したから	通勤・通学の便利さ	結婚のため	親や家族の都合	生まれが戸田市だから	環境がよいから	転勤のため	子どもの教育の都合	その他	無回答
全体(1,202)		26.9	24.4	17.6	15.9	14.2	11.9	7.6	1.7	8.6	0.7
性別	男性(512)	27.0	30.1	11.7	15.2	13.7	14.5	9.6	1.4	9.4	0.4
	女性(669)	26.9	20.0	22.3	16.3	14.3	10.2	6.3	2.1	7.8	0.9
年齢別	16～19歳(35)	11.4	5.7	0.0	48.6	42.9	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(128)	7.8	28.1	7.0	20.3	32.8	9.4	4.7	0.8	10.9	0.0
	30～39歳(276)	21.4	35.5	23.2	15.6	11.2	13.4	7.2	2.2	7.2	0.0
	40～49歳(230)	30.0	35.2	23.5	12.6	8.7	11.7	7.4	2.6	7.4	0.0
	50～59歳(156)	30.8	22.4	17.3	16.0	11.5	9.6	10.3	3.2	8.3	0.6
	60～69歳(196)	31.6	12.8	16.8	13.8	12.2	12.2	9.7	1.0	8.2	1.0
	70歳以上(178)	39.9	8.4	14.0	13.5	11.2	14.0	7.3	0.0	12.4	2.8
居住地区別	下戸田1地区(167)	25.7	20.4	14.4	17.4	17.4	14.4	4.2	1.2	11.4	0.0
	下戸田2地区(203)	36.0	25.1	14.8	14.3	9.9	12.3	6.4	3.0	9.4	1.0
	上戸田1地区(127)	27.6	29.9	16.5	15.7	14.2	15.0	7.1	0.8	7.9	0.8
	上戸田2地区(165)	27.9	32.7	18.8	13.9	8.5	12.7	8.5	1.8	5.5	0.0
	新曽地区(261)	22.6	29.5	16.9	15.3	12.3	8.8	13.4	3.1	9.6	0.8
	笹目地区(177)	26.6	14.7	22.0	19.8	20.3	11.3	4.5	0.0	5.1	0.6
	美女木地区(101)	18.8	12.9	22.8	14.9	21.8	10.9	5.0	1.0	11.9	2.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

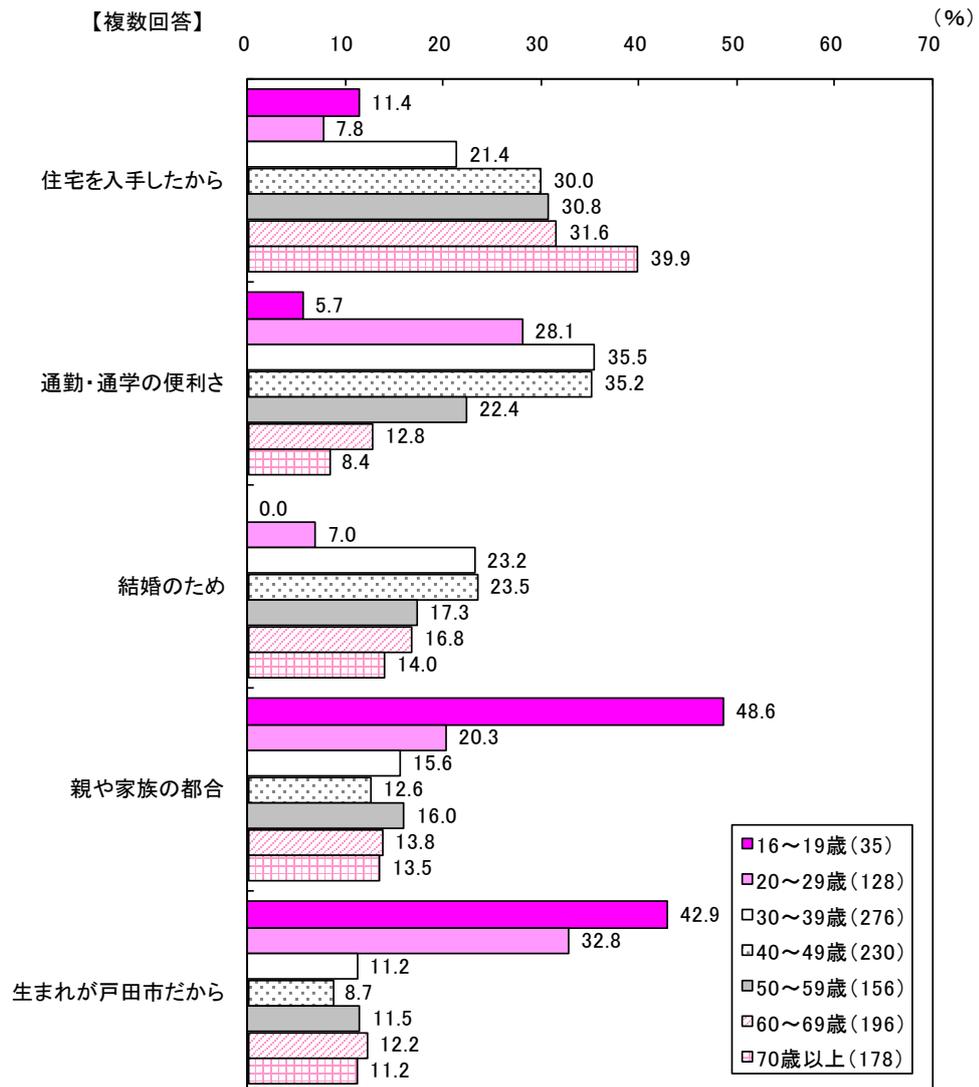
- ・性別にみると、戸田市に住むことを決めた理由は男女で違いがみられ、男性は「通勤・通学の便利さ」、女性は「結婚のため」がそれぞれ多くなっています。

図表 16 戸田市に住むことを決めた理由の上位項目(性別)



- ・年齢別にみると、戸田市に住むことを決めた理由には、年代による差異が反映されていることがうかがえます。

図表 17 戸田市に住むことを決めた理由の上位項目(年齢別)



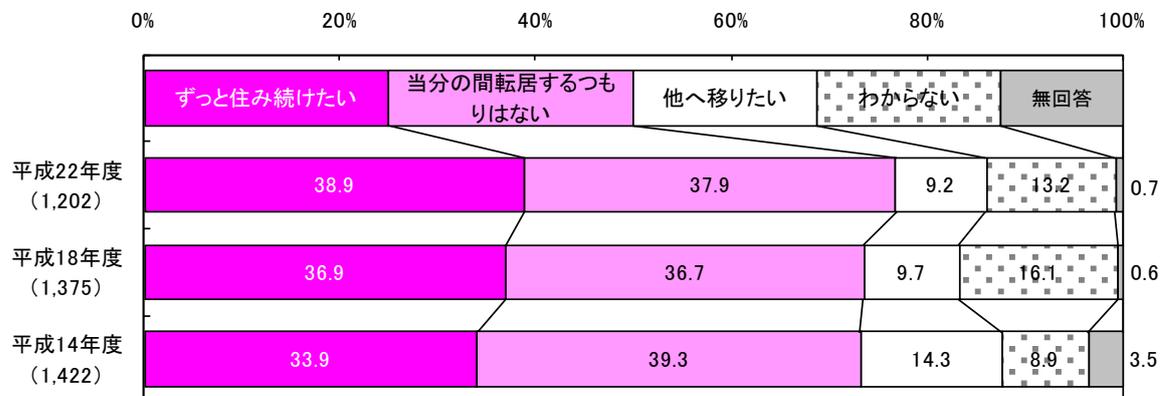
(2) 今後の定住意向

問 11 あなたは現在お住まいの場所に、これからも住みたいと思いますか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・現在の居住地区にこれからも住みたいかどうかについては、「ずっと住みたい」が38.9%、「当分の間転居するつもりはない」が37.9%で同程度となっており、これらを合わせると76.8%の人が住みたいという意向を示しています。一方、「他へ移りたい」という転居希望を示している人は9.2%にとどまっています。
- ・これまでの推移をみると、「当分の間転居するつもりはない」も含めて、市内に住みたいという人の割合は増加しており、定住意向は高まっています。

図表 18 今後の定住意向(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢が上がるにつれて、定住意向は高まる傾向がみられ、「ずっと住み続けたい」と「当分の間転居するつもりはない」を合わせると、16～19歳および20歳代は60%台、30～50歳代は70～80%台、60歳以上は80%台に達しています。ただし、20～50歳代は、「当分の間転居するつもりはない」が40～50%を占め、「ずっと住み続けたい」を上回っているのが特徴です。

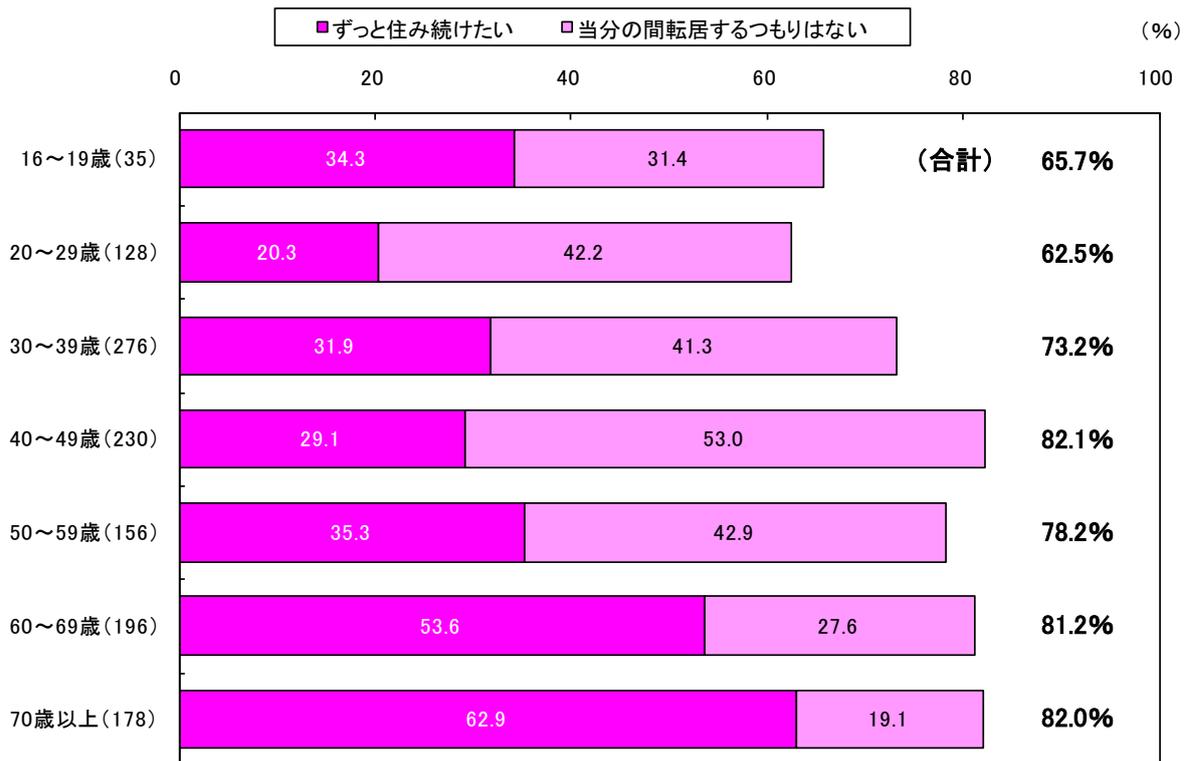
図表 19 今後の定住意向(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ずっと住み続けたい	当分の間転居するつもりはない	他へ移りたい	わからない	無回答
全体(1,202)		38.9	37.9	9.2	13.2	0.7
性別	男性(512)	37.5	40.8	8.8	12.5	0.4
	女性(669)	38.9	36.8	9.7	13.6	1.0
年齢別	16～19歳(35)	34.3	31.4	5.7	28.6	0.0
	20～29歳(128)	20.3	42.2	14.1	23.4	0.0
	30～39歳(276)	31.9	41.3	11.6	14.9	0.4
	40～49歳(230)	29.1	53.0	8.3	9.6	0.0
	50～59歳(156)	35.3	42.9	7.1	12.8	1.9
	60～69歳(196)	53.6	27.6	8.7	9.7	0.5
	70歳以上(178)	62.9	19.1	6.2	9.6	2.2
居住地区別	下戸田1地区(167)	44.9	32.9	9.0	12.0	1.2
	下戸田2地区(203)	34.5	39.9	10.3	14.3	1.0
	上戸田1地区(127)	44.1	38.6	7.1	10.2	0.0
	上戸田2地区(165)	32.7	44.8	9.7	12.7	0.0
	新曽地区(261)	36.4	37.5	9.2	16.1	0.8
	笹目地区(177)	41.2	35.0	12.4	10.7	0.6
	美女木地区(101)	42.6	36.6	4.0	14.9	2.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢を重ねるにつれて、生活環境が変化し、定住意向が高まる傾向がみられます。この中で、特に生活環境の変化が激しいと考えられる 20～50 歳代は、「当分の間転居するつもりはない」の方が多く、ずっと住み続けるかどうかについては流動的な考え方をしていることがうかがえます。

図表 20 「ずっと住み続けたい」と「当分の間転居するつもりはない」の割合とその合計(年齢別)



(3) 他へ移りたい理由

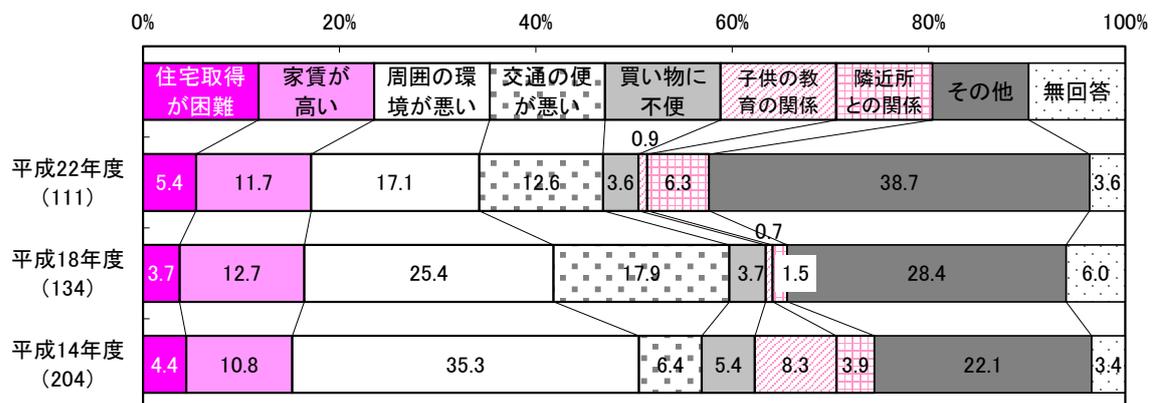
問12 (問11で「3. 他へ移りたい」と答えた方にお尋ねします。)

他へ移りたい主な理由は何ですか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・前問で「他へ移りたい」と回答した人にその主な理由をたずねたところ、「周囲の環境が悪いから」が17.1%と最も多く、次いで「交通の便が悪いから」が12.6%、「家賃が高いから」が11.7%となっています。また、「その他」と回答した人が38.7%と多くなっています。
- ・「その他」の主な内容としては、「実家の近くに引っ越したいから」「持ち家がほしいから」「家賃の割に狭いから」などが挙げられています。
- ・これまでの推移をみると、「周囲の環境が悪いから」が減少しているのが特徴で、平成14年度調査と比べると、18.2ポイント下回っています。

図表 21 他へ移りたい理由(全体)



2. 生活環境について

(1) 地域の生活環境

問 13 あなたはお住まいの地域の生活環境について、どのように感じていますか。次の項目ごとに1～6の該当する番号に1つだけ○をつけてください。

【全体の回答傾向】

- ・地域の生活環境について、保健・衛生、安全、利便、快適の4分野23項目とそれらの総合評価からなる計24項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。

《本設問の集計方法とグラフの見方》

評価の結果をわかりやすく示すために、加重平均による分析を行いました。これは、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としたものです。

したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

- ・23項目のうちプラスの評価点となったものは14項目あり、評価点の高い順に「(1) ごみの回収」「(15) 日用品・食料品等の買い物の便利さ」「(16) 通勤・通学の便利さ」「(21) 日当たりや風通しの良さ」などとなっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは9項目で、評価点の低い順に「(23) 川の水のきれいさ」「(7) 振動・騒音（工場・車等の）がないこと」「(14) 周りの道路の安全性」「(8) 子供が外で遊ぶときや通学時の安全性」「(13) 夜道の明るさ」などとなっています。

① 保健・衛生

- ・保健・衛生に関する項目はプラス評価・マイナス評価が混在しています。「(1) ごみの回収」は評価点が0.67と23項目の中で最も高くなっており、一方、「(7) 振動・騒音（工場・車等の）がないこと」は-0.30で23項目の中で2番目に評価が低くなっています。

② 安全

- ・安全に関する項目は全体的にマイナス評価が多くなっています。特に、「(8) 子供が外で遊ぶときや通学時」「(9) 高齢者の外出や散歩」「(13) 夜道の明るさ」「(14) 周りの道路の安全性」など、地域の防犯や道路環境に関する項目についての評価が低くなっています。

③ 利便

- ・利便に関する項目はすべての項目がプラス評価になっています。特に「(15) 日用品・食料品等の買い物の便利さ」は評価点が0.62と23項目の中で2番目に高い評価点となっています。

④ 快適

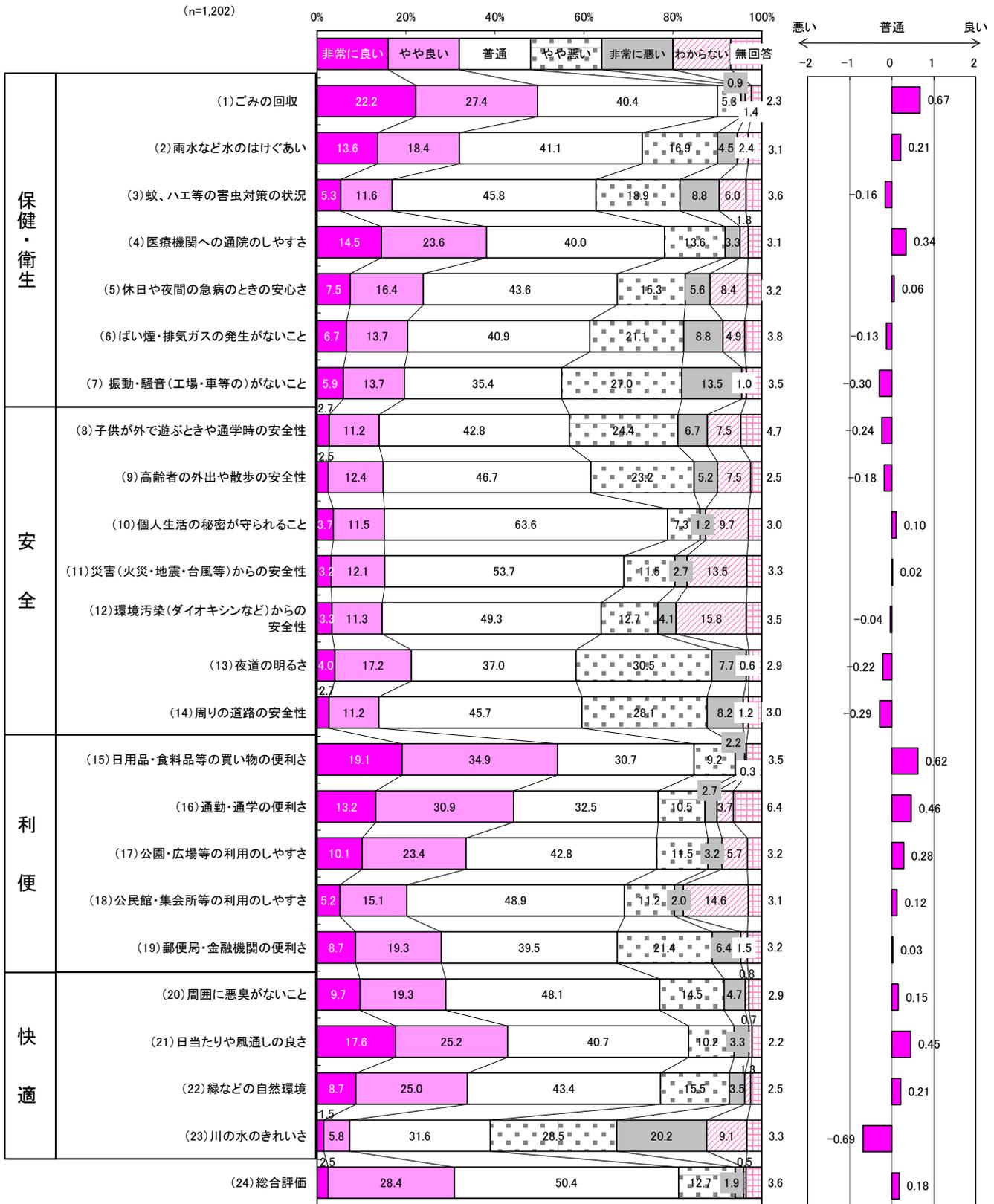
- ・快適に関する項目のうち、「(23) 川の水のきれいさ」は評価点が-0.69で23項目の

中で最も低くなっています。このほかの項目はプラス評価となっており、特に「(21)日当たりや風通しの良さ」は0.45と評価が高くなっています。

⑤ 総合

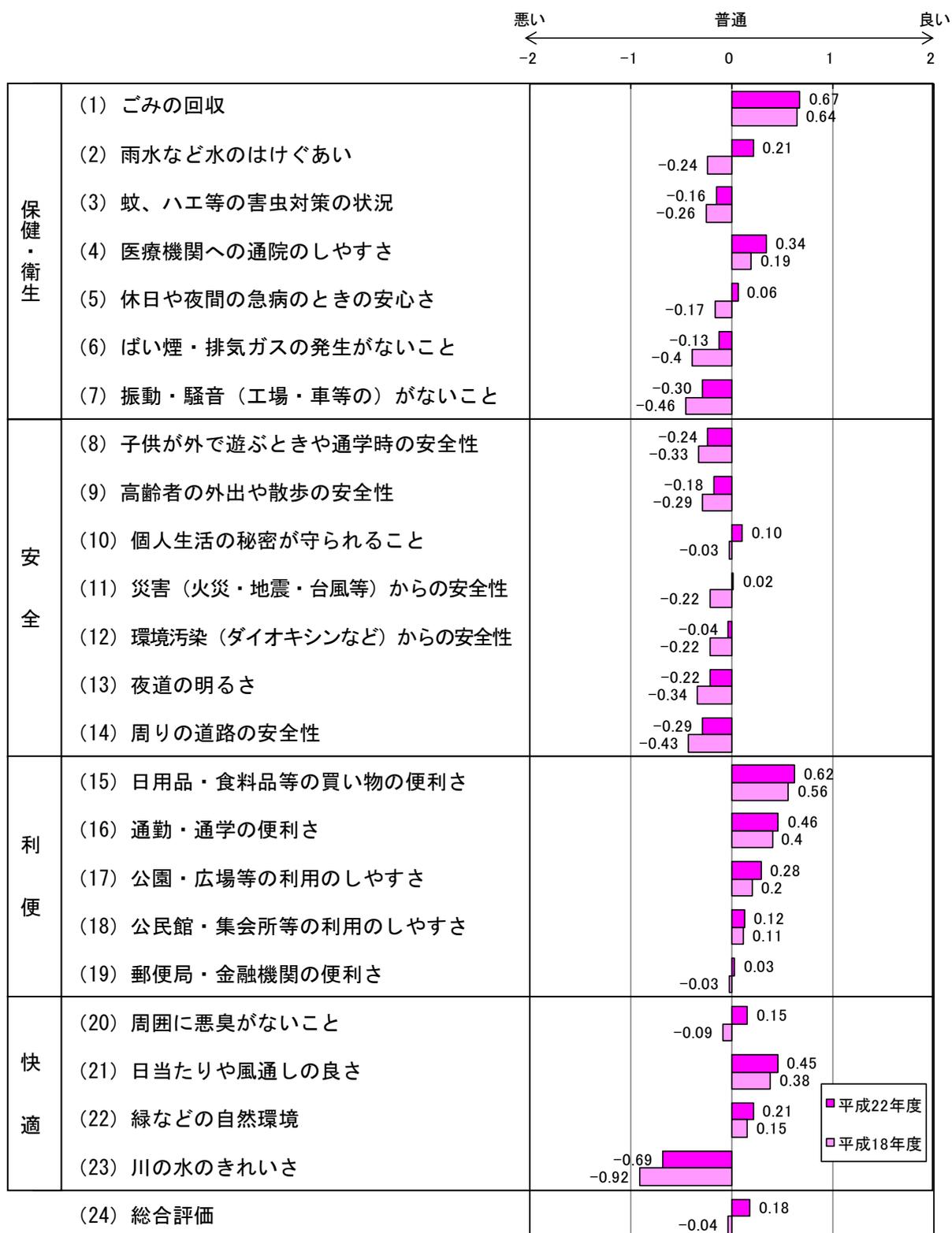
・①～④を総合した場合の評価点は0.18で、地域の生活環境については概ね「良い」とされています。

図表 22 地域の生活環境(全体・加重平均による評価点)



- ・平成 18 年度調査と比較すると、すべての項目で評価点が上がっています。特に「(2) 雨水など水のはけぐあい」(−0.24→0.21) は 0.45 ポイント上昇し、プラス評価に転じています。このほか、「(5) 休日や夜間の急病のときの安心さ」(−0.17→0.06)、 「(6) ばい煙・排気ガスの発生がないこと」(−0.40→−0.13)、「(11) 災害からの安全性」(−0.22→0.02)、「(20) 周囲に悪臭がないこと」(−0.09→0.15)、「(23) 川の水のきれいさ」(−0.92→−0.69) が 0.20 ポイント以上上昇し、評価が上がっています。

図表 23 地域の生活環境(平成 22 年度調査及び平成 18 年度調査の評価点)



【属性別の回答傾向】

・年齢別にみると、16～19歳および70歳以上は総合評価が比較的高く、一方で40歳代の総合評価は最も低くなっています。特に、40歳代では「(13)夜道の明るさ」「(14)周りの道路の安全性」など安全に関する評価、「(6)ばい煙・排気ガスの発生がないこと」「(7)振動・騒音(工場・車等)がないこと」など保健・衛生に関する評価が低くなっています。これと対照的に、総合評価が高い70歳以上は安全や保健・衛生に関する評価が他の年代と比べて高くなっています。

図表 24-1 地域の生活環境【加重平均による評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		保健・衛生							安全						
		(1) ごみの回収	(2) あい 雨水など水のはけぐ	(3) 蚊、ハエ等の害虫対策 の状況	(4) 医療機関への通院のし やすさ	(5) 休日や夜間の急病の ときの安心さ	(6) 生がないこと ばい煙・排気ガスの発	(7) 振動・騒音(工場・車 等)がないこと	(8) 子供が外で遊ぶとき や通学時の安全性	(9) 高齢者の外出や散歩 の安全性	(10) 個人生活の秘密が守 られること	(11) 災害(火災・地震・台 風等)からの安全性	(12) 環境汚染(ダイオキシ ンなど)からの安全性	(13) 夜道の明るさ	(14) 周りの道路の安全性
全体(1,202)		0.67	0.21	-0.16	0.34	0.06	-0.13	-0.30	-0.24	-0.18	0.10	0.02	-0.04	-0.22	-0.29
性別	男性(512)	0.71	0.31	-0.13	0.34	0.10	-0.05	-0.22	-0.17	-0.16	0.11	0.05	0.04	-0.16	-0.25
	女性(669)	0.65	0.13	-0.18	0.35	0.03	-0.20	-0.36	-0.29	-0.20	0.10	0.00	-0.09	-0.26	-0.33
年齢別	16～19歳(35)	0.64	0.13	-0.23	0.39	0.19	-0.15	-0.18	-0.10	-0.29	0.17	0.15	0.19	0.03	-0.28
	20～29歳(128)	0.45	0.19	-0.31	0.28	0.11	-0.25	-0.38	-0.21	-0.27	0.05	0.05	0.04	-0.31	-0.28
	30～39歳(276)	0.52	0.13	-0.34	0.34	0.00	-0.28	-0.38	-0.41	-0.25	0.10	-0.01	-0.11	-0.29	-0.40
	40～49歳(230)	0.60	-0.07	-0.34	0.24	-0.08	-0.45	-0.55	-0.44	-0.43	-0.06	-0.11	-0.17	-0.49	-0.55
	50～59歳(156)	0.70	0.20	-0.11	0.29	-0.02	-0.10	-0.25	-0.30	-0.21	0.06	-0.03	-0.13	-0.21	-0.33
	60～69歳(196)	0.86	0.30	0.10	0.36	0.12	0.23	-0.06	-0.02	0.03	0.17	0.09	0.05	-0.09	-0.09
	70歳以上(178)	0.96	0.69	0.20	0.55	0.27	0.23	-0.10	0.14	0.09	0.33	0.15	0.14	0.20	0.05
居住地区別	下戸田1地区(167)	0.65	0.42	-0.04	0.53	0.17	0.07	-0.09	-0.16	-0.18	0.15	0.11	0.09	0.02	-0.17
	下戸田2地区(203)	0.76	0.25	0.10	0.53	0.14	-0.12	-0.37	-0.19	-0.05	0.11	0.01	-0.06	-0.05	-0.24
	上戸田1地区(127)	0.64	0.32	-0.08	0.82	0.42	0.02	-0.11	-0.21	-0.11	0.16	0.02	0.11	-0.19	-0.16
	上戸田2地区(165)	0.69	0.11	-0.22	0.57	0.09	-0.18	-0.22	-0.29	-0.25	0.10	-0.04	-0.12	-0.16	-0.19
	新曽地区(261)	0.64	-0.11	-0.43	0.22	0.01	-0.12	-0.29	-0.32	-0.23	0.07	-0.07	-0.05	-0.36	-0.44
	笹目地区(177)	0.57	0.32	-0.25	-0.11	-0.26	-0.26	-0.47	-0.21	-0.25	0.04	0.03	-0.09	-0.43	-0.42
	美女木地区(101)	0.80	0.46	0.04	-0.22	-0.11	-0.37	-0.59	-0.26	-0.17	0.13	0.15	-0.12	-0.34	-0.33

- ・居住地区別にみると、下戸田 1 地区・下戸田 2 地区および上戸田 1 地区は総合評価が比較的高く、一方で、笹目地区は総合評価が唯一マイナス評価となっています。特に、笹目地区は、保健・衛生や利便に関する評価が他の地区と比べて低くなっています。これと対照的に、総合評価が最も高い上戸田 1 地区では保健・衛生や利便に関する評価が他の地区と比べて高くなっています。

図表 24-2 地域の生活環境【加重平均による評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別)つき

		利便					快適				総合
		(15) 日用品・食料品等の買 い物の便利さ	(16) 通勤・通学の便利さ	(17) 公園・広場等の利用の しやすさ	(18) 公民館・集会所等の利 用のしやすさ	(19) 郵便局・金融機関の便 利さ	(20) と周囲に悪臭がないこ と	(21) 良さと日当たりや風通しの 良さ	(22) 緑などの自然環境	(23) 川の水のきれいさ	(24) 総合評価
全体(1,202)		0.62	0.46	0.28	0.12	0.03	0.15	0.45	0.21	-0.69	0.18
性別	男性(512)	0.61	0.46	0.30	0.12	0.01	0.17	0.46	0.26	-0.65	0.24
	女性(669)	0.64	0.47	0.27	0.13	0.04	0.14	0.45	0.17	-0.71	0.13
年齢別	16～19 歳(35)	0.85	0.77	0.17	0.04	0.58	0.21	0.71	0.12	-1.00	0.34
	20～29 歳(128)	0.75	0.53	0.33	0.10	0.07	0.25	0.41	0.21	-0.79	0.14
	30～39 歳(276)	0.65	0.47	0.38	0.12	-0.23	0.11	0.57	0.33	-0.66	0.21
	40～49 歳(230)	0.64	0.50	0.18	0.01	-0.14	0.00	0.44	0.12	-0.88	0.03
	50～59 歳(156)	0.64	0.45	0.29	0.08	0.04	0.07	0.43	0.19	-0.82	0.19
	60～69 歳(196)	0.47	0.33	0.23	0.18	0.20	0.25	0.37	0.18	-0.52	0.21
	70 歳以上(178)	0.56	0.41	0.32	0.29	0.35	0.35	0.35	0.21	-0.36	0.26
居住地区別	下戸田 1 地区(167)	0.84	0.59	0.37	0.08	0.26	0.32	0.41	0.09	-0.69	0.29
	下戸田 2 地区(203)	0.86	0.58	0.26	0.10	0.09	0.23	0.47	0.17	-0.65	0.26
	上戸田 1 地区(127)	0.69	0.63	0.44	0.26	0.10	0.35	0.47	0.25	-0.39	0.31
	上戸田 2 地区(165)	0.89	0.81	0.37	0.10	0.18	0.14	0.47	0.29	-0.95	0.22
	新曽地区(261)	0.43	0.52	0.05	0.02	-0.22	0.02	0.43	0.11	-0.74	0.12
	笹目地区(177)	0.19	-0.09	0.28	0.18	-0.17	-0.01	0.40	0.25	-0.72	-0.06
	美女木地区(101)	0.47	-0.02	0.49	0.29	0.15	0.10	0.54	0.46	-0.43	0.14

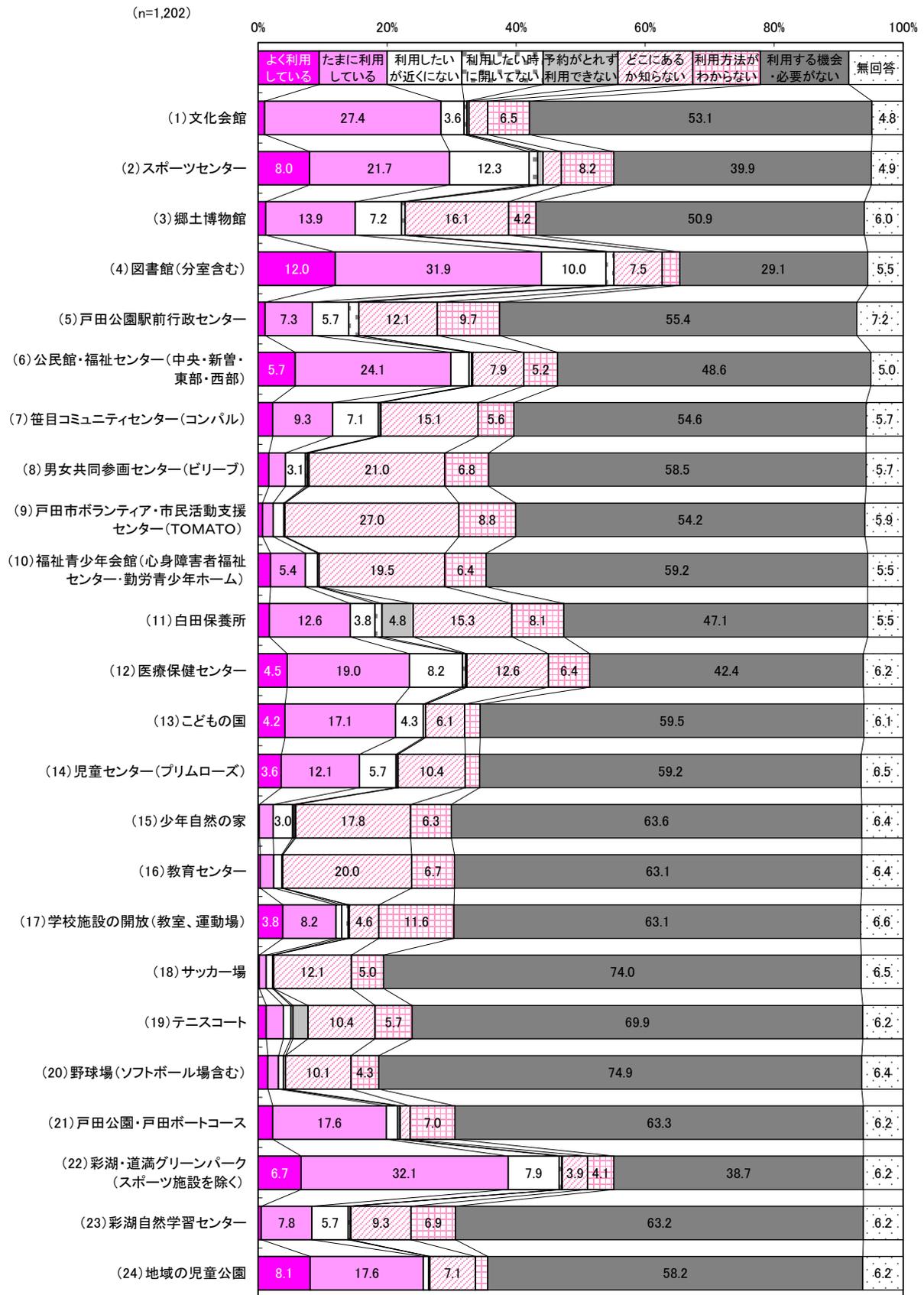
(2) 公共施設の利用状況

問 14 あなたは市の施設をどの程度利用していますか。次の施設ごとに右の利用状況について1～8の該当する番号に1つだけ○をつけてください。

【全体の回答傾向】

- ・市内の公共施設について、平成 22 年度調査では新たに 2 つの施設（「(5) 戸田公園駅前行政センター」「(9) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」）を加えて、計 24 施設についてそれぞれの利用状況を尋ねました。
- ・利用する（「よく利用している」と「たまに利用している」の計）割合が 30%を超えて、比較的利用頻度の高い施設は、「(4) 図書館（分室含む）」（43.9%）、「(22) 彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」（38.8%）となっています。
- ・一方、利用しない（「よく利用している」「たまに利用している」と無回答以外の計）割合が 90%を超えて、利用頻度が低い施設は、「(8) 男女共同参画センター（ビリーブ）」（90.0%）、「(9) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」（91.8%）、「(15) 少年自然の家」（91.3%）、「(16) 教育センター」（91.2%）、「(18) サッカー場」（92.3%）、「(20) 野球場（ソフトボール場含む）」（90.4%）となっています。
- ・また、「どこにあるか知らない」割合が 20%を超えているのは、「(8) 男女共同参画センター（ビリーブ）」（21.0%）、「(9) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」（27.0%）、「(16) 教育センター」（20.0%）で、あまり周知が進んでいないことがうかがえます。

図表 25 公共施設の利用状況(全体)



(注) 3%未満は非表示

- ・平成 18 年度調査と比較すると、ほとんどの施設は利用頻度（「よく利用している」と「たまに利用している」の計）に大きな変化はありませんが、「(4) 図書館（分室含む）」は利用頻度がやや増加しています。一方、「(22) 彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」「(23) 彩湖自然学習センター」は「利用する機会・必要がない」が平成 18 年度調査と比べて 5 ポイント以上上回っています。

図表 26 公共施設の利用状況(平成 18 年度調査との比較)

施設名	よく利用+たまに利用		利用しない		利用する機会・必要がない		無回答	
	H22	H18	H22	H18	H22	H18	H22	H18
(1)文化会館	28.4	26.3	13.7	12.9	53.1	55.2	4.8	5.6
(2)スポーツセンター	29.7	26.7	25.5	26.2	39.9	41.5	4.9	5.6
(3)郷土博物館	15.1	14.1	28.0	27.9	50.9	51.3	6.0	6.6
(4)図書館(分室含む)	43.9	39.9	21.5	21.9	29.1	32.9	5.5	5.4
(5)戸田公園駅前行政センター	8.4	0.0	29.0	0.0	55.4	0.0	7.2	0.0
(6)公民館・福祉センター(中央・新曽・東部・西部)	29.9	27.9	16.6	16.0	48.6	51.1	5.0	5.1
(7)笹目コミュニティセンター(コンパル)	11.6	11.5	28.1	26.3	54.6	56.4	5.7	5.8
(8)男女共同参画センター(ビリーブ)	4.2	2.9	31.5	31.9	58.5	58.6	5.7	6.5
(9)戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)	2.3	0.0	37.6	0.0	54.2	0.0	5.9	0.0
(10)福祉青少年会館(心身障害者福祉センター・勤労青少年ホーム)	7.3	5.5	28.0	24.3	59.2	63.8	5.5	6.5
(11)白田保養所	14.3	13.5	33.1	30.0	47.1	50.7	5.5	5.7
(12)医療保健センター	23.5	24.4	28.0	25.7	42.4	43.7	6.2	6.3
(13)こどもの国	21.3	18.2	13.1	14.3	59.5	61.5	6.1	6.0
(14)児童センター(プリムローズ)	15.7	13.8	18.6	18.5	59.2	61.3	6.5	6.3
(15)少年自然の家	2.3	1.7	27.6	26.7	63.6	64.8	6.4	6.8
(16)教育センター	2.4	2.9	28.0	26.6	63.1	64.6	6.4	5.9
(17)学校施設の開放(教室、運動場)	12.1	9.2	18.3	15.0	63.1	69.5	6.6	6.3
(18)サッカー場	1.2	1.7	18.2	20.7	74.0	71.5	6.5	6.1
(19)テニスコート	3.9	3.5	20.0	22.4	69.9	68.0	6.2	6.1
(20)野球場(ソフトボール場含む)	3.2	3.7	15.6	17.6	74.9	72.5	6.4	6.2
(21)戸田公園・戸田ボートコース	19.9	22.3	10.6	11.3	63.3	59.9	6.2	6.5
(22)彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)	38.8	38.4	16.4	22.7	38.7	33.2	6.2	5.7
(23)彩湖自然学習センター	8.3	8.3	22.3	30.0	63.2	55.1	6.2	6.6
(24)地域の児童公園	25.6	28.1	10.0	8.1	58.2	57.0	6.2	6.8

(注) 表中の「利用しない」は「利用したいが近くにない」「利用したい時に開いていない」「予約がとれず利用できない」「どこにあるか知らない」「利用方法がわからない」の合計。

【属性別の回答傾向】

・性別にみると、男性は「(21) 戸田公園・戸田ボートコース」「(22) 彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」など屋外・スポーツ施設の利用頻度が高く、一方、女性は「(6) 公民館・福祉センター（中央・新曽・東部・西部）」「(12) 医療保健センター」など保健・福祉関連の施設の利用頻度が高いという特徴があります。

図表 27-1 公共施設の利用状況「よく利用」・「たまに利用」の合計(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		(1) 文化会館	(2) スポーツセンター	(3) 郷土博物館	(4) 図書館(分室含む)	(5) 戸田公園駅前行政センター	(6) 公民館・福祉センター(中央・新曽・東部・西部)	(7) 笹目コミュニティセンター(コンパル)	(8) 男女共同参画センター(グリーンブ)	(9) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)	(10) 福祉青少年会館(心身障害者福祉センター・勤労青少年ホーム)	(11) 白田保養所	(12) 医療保健センター
全体(1,202)		28.4	29.7	15.1	43.9	8.4	29.9	11.6	4.2	2.3	7.3	14.3	23.5
性別	男性(512)	26.4	31.6	16.4	42.8	8.0	26.6	10.4	2.1	2.0	5.3	13.1	20.5
	女性(669)	29.6	28.4	14.2	45.3	8.4	32.0	12.3	5.7	2.7	8.8	14.6	25.6
年齢別	16～19歳(35)	37.1	40.0	31.4	62.9	0.0	14.3	11.4	0.0	0.0	11.4	0.0	11.4
	20～29歳(128)	13.3	22.7	7.0	41.4	8.6	8.6	1.6	1.6	2.3	5.5	4.7	14.1
	30～39歳(276)	20.3	36.6	15.2	54.3	9.8	26.4	7.6	2.5	0.7	7.2	8.7	35.5
	40～49歳(230)	36.5	43.0	19.1	52.6	10.0	33.9	15.2	4.8	1.3	9.1	16.1	26.1
	50～59歳(156)	29.5	25.0	16.0	39.1	9.6	27.6	9.0	6.4	1.9	7.7	9.0	16.7
	60～69歳(196)	34.7	20.9	16.8	39.3	6.6	37.2	14.8	4.6	6.6	5.1	20.9	20.9
	70歳以上(178)	30.9	18.5	9.6	24.2	6.2	42.1	19.1	6.2	2.2	7.3	28.1	19.1
居住地区別	下戸田1地区(167)	24.0	17.4	9.0	33.5	0.6	29.9	3.0	1.2	2.4	6.6	12.6	13.8
	下戸田2地区(203)	21.2	16.7	8.9	37.9	10.8	33.5	3.9	2.0	2.5	16.7	14.8	12.8
	上戸田1地区(127)	41.7	36.2	11.8	51.2	3.1	29.1	5.5	11.8	5.5	5.5	12.6	18.1
	上戸田2地区(165)	35.8	27.3	20.0	49.1	32.7	31.5	7.9	5.5	1.8	9.1	13.9	19.4
	新曽地区(261)	27.2	43.7	21.5	51.7	6.5	28.4	10.0	4.2	2.7	3.8	13.0	23.0
	笹目地区(177)	25.4	35.6	17.5	46.9	1.7	27.1	34.5	3.4	0.6	3.4	19.2	44.6
	美女木地区(101)	29.7	25.7	12.9	30.7	0.0	29.7	18.8	4.0	1.0	5.0	13.9	38.6

- ・年齢別にみると、16～19歳および60歳以上を除くすべての年代は、「(4) 図書館（分室含む）」「(22) 彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」がともに第2位までに入っています。これに加えて、30～40歳代は「(12) 医療保健センター」「(13) こどもの国」「(24) 地域の児童公園」の利用頻度が他の年代に比べて高くなっています。一方、60歳以上は「(6) 公民館・福祉センター（中央・新曽・東部・西部）」「(11) 白田保養所」など保健・福祉関連の施設の利用頻度が高いという特徴があります。
- ・居住地区別にみると、概ね施設が立地する地区の利用頻度が高いという傾向があります。

図表 27-2 公共施設の利用状況「よく利用」「たまに利用」の合計(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		(13) こどもの国	(14) 児童センター(プリムローズ)	(15) 少年自然の家	(16) 教育センター	(17) 学校施設の開放 (教室、運動場)	(18) サッカー場	(19) テニスコート	(20) 野球場(ソフトボール場含む)	(21) 戸田公園・戸田ボートコース	(22) 彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	(23) 彩湖自然学習センター	(24) 地域の児童公園
全体(1,202)		21.3	15.7	2.3	2.4	12.1	1.2	3.9	3.2	19.9	38.8	8.3	25.6
性別	男性(512)	20.7	14.1	2.7	2.3	12.1	2.0	5.1	5.1	23.4	43.9	10.2	23.6
	女性(669)	22.1	17.3	2.1	2.5	12.3	0.7	3.1	1.6	16.9	35.3	7.0	26.9
年齢別	16～19歳(35)	14.3	20.0	8.6	2.9	14.3	2.9	5.7	5.7	22.9	34.3	22.9	25.7
	20～29歳(128)	18.0	9.4	0.8	0.0	6.3	1.6	1.6	3.9	14.8	32.0	0.8	14.8
	30～39歳(276)	39.5	31.2	2.2	1.8	17.4	1.1	2.2	3.6	21.4	48.2	8.3	45.3
	40～49歳(230)	27.8	21.3	6.1	4.8	21.7	2.2	9.1	3.9	26.5	54.3	13.5	33.0
	50～59歳(156)	12.2	10.3	1.3	1.9	7.1	1.3	6.4	2.6	21.2	39.7	6.4	11.5
	60～69歳(196)	9.7	4.6	0.5	3.1	7.1	1.0	1.5	2.0	18.9	30.1	5.6	18.9
	70歳以上(178)	9.0	5.1	0.6	1.7	5.1	0.0	1.7	2.2	11.8	18.5	9.0	12.9
居住地区別	下戸田1地区(167)	22.8	11.4	3.0	3.0	12.0	0.6	4.2	4.2	17.4	26.3	3.6	24.6
	下戸田2地区(203)	21.7	9.9	1.5	1.5	6.9	1.0	4.4	1.5	23.2	26.1	5.4	19.7
	上戸田1地区(127)	23.6	14.2	3.1	2.4	11.8	0.8	1.6	2.4	18.9	33.9	3.9	22.0
	上戸田2地区(165)	37.0	17.0	1.8	1.2	10.3	1.8	3.6	2.4	37.6	43.6	9.7	35.2
	新曽地区(261)	18.0	17.2	2.3	3.1	16.1	1.5	4.2	1.5	18.0	39.8	8.0	24.5
	笹目地区(177)	16.9	26.0	2.8	4.0	15.3	1.7	5.6	7.3	14.1	50.8	13.0	29.9
	美女木地区(101)	5.9	12.9	2.0	1.0	9.9	1.0	2.0	4.0	5.0	59.4	17.8	23.8

3. 子育て支援

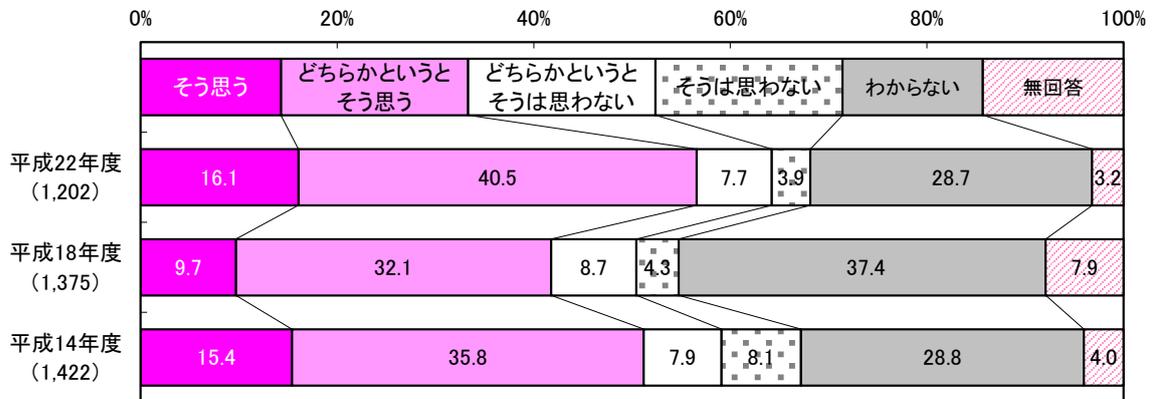
(1) 戸田市での子育てのしやすさ

問 15 戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・戸田市が子育てしやすいまちかどうかについては、「そう思う」(16.1%)と「どちらかというと思う」(40.5%)を合わせた肯定的な意見が56.6%で半数を超えています。一方、子育てに関わりの少ない層も多いことから、「わからない」が28.7%となっています。
- ・これまでの推移をみると、平成18年度調査と比較して肯定的な意見が14.8ポイント上回り、平成14年度調査以降、肯定的な意見が最も多くなっています。

図表 28 戸田市での子育てのしやすさ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、30～50歳代は、子育てしやすいまちだと思う人が60%を超えており、また、20歳代も半数を超えています。

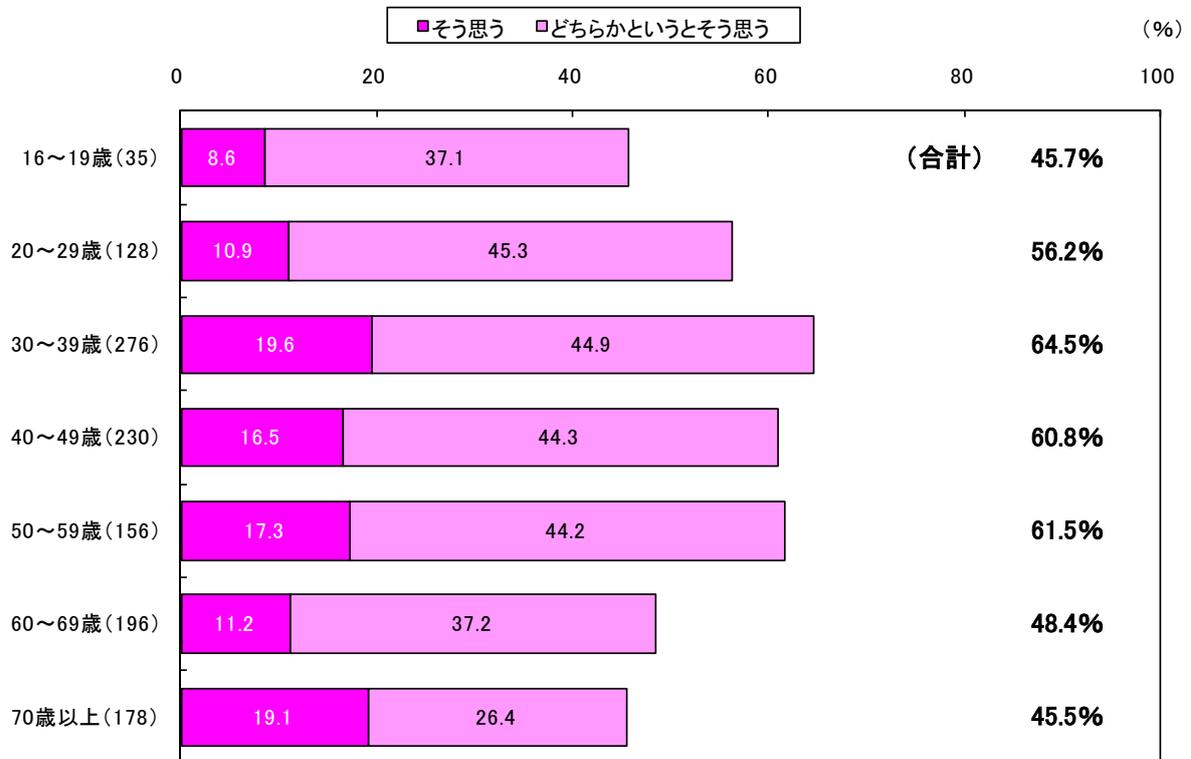
図表 29 戸田市での子育てのしやすさ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,202)		16.1	40.5	7.7	3.9	28.7	3.2
性別	男性(512)	14.6	41.2	7.6	3.3	30.5	2.7
	女性(669)	16.9	40.2	7.9	4.5	27.2	3.3
年齢別	16～19歳(35)	8.6	37.1	2.9	5.7	45.7	0.0
	20～29歳(128)	10.9	45.3	7.0	5.5	31.3	0.0
	30～39歳(276)	19.6	44.9	9.8	3.3	22.1	0.4
	40～49歳(230)	16.5	44.3	11.7	6.1	20.4	0.9
	50～59歳(156)	17.3	44.2	10.3	4.5	23.1	0.6
	60～69歳(196)	11.2	37.2	4.1	3.1	38.3	6.1
	70歳以上(178)	19.1	26.4	2.2	1.1	38.8	12.4
居住地区別	下戸田1地区(167)	12.0	41.9	5.4	3.6	32.3	4.8
	下戸田2地区(203)	11.8	37.9	6.9	4.9	34.0	4.4
	上戸田1地区(127)	22.8	37.8	3.9	3.9	28.3	3.1
	上戸田2地区(165)	19.4	44.8	12.1	2.4	19.4	1.8
	新曽地区(261)	16.5	41.4	8.0	3.4	29.5	1.1
	笹目地区(177)	16.4	39.5	8.5	5.6	26.0	4.0
	美女木地区(101)	15.8	39.6	7.9	3.0	30.7	3.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、20～50歳代は肯定的な意見が多く、概ね子育て世代が子育てしやすいまちだと感じていることがうかがえます。

図表 30 戸田市での子育てのしやすさに対する肯定的な意見(年齢別)



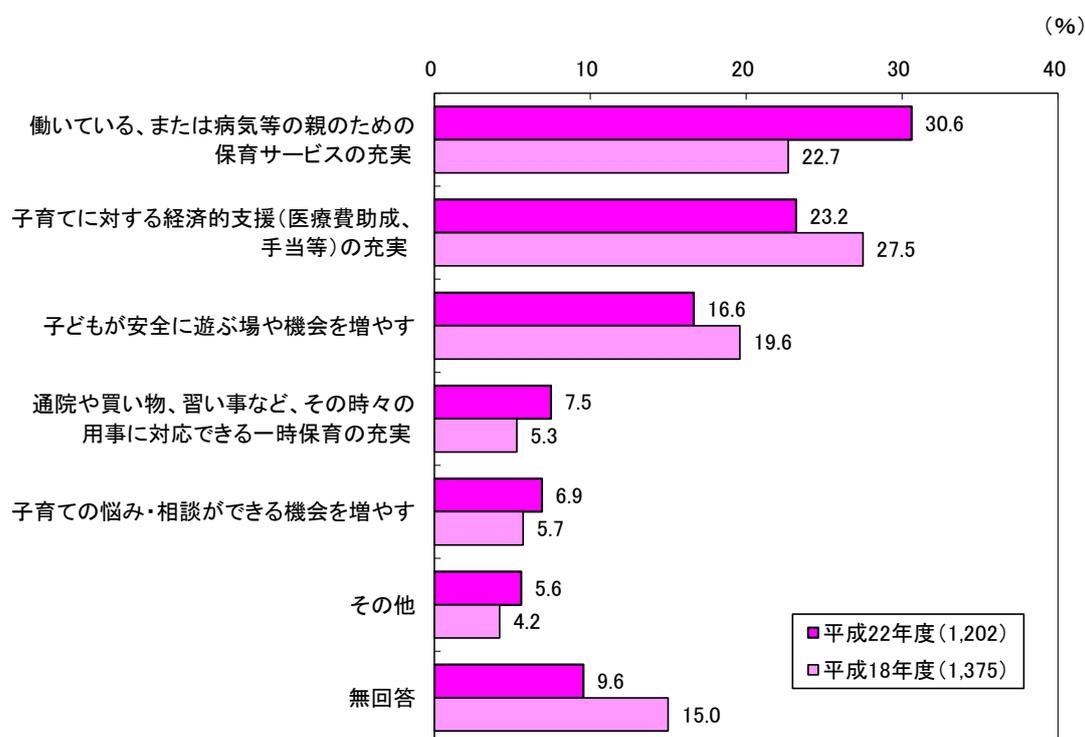
(2) 子育てしやすいと感じるための重要な取り組み

問 16 今後、市民の多くが子育てしやすいと感じるために、どのような取り組みが重要だと思いますか。最も重要だと思うものを1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・子育てしやすいと感じるための重要な取り組みとしては、「働いている、または病気等の親のための保育サービスの充実」が 30.6%と最も多く、次いで「子育てに対する経済的支援（医療費助成、手当等）の充実」が 23.2%、「子どもが安全に遊ぶ場や機会を増やす」が 16.6%となっています。
- ・平成 18 年度調査と比較すると、最も多かった「子育てに対する経済的支援（医療費助成、手当等）の充実」が 4.3 ポイント下回り、一方で「働いている、または病気等の親のための保育サービスの充実」が 7.9 ポイントも上回っています。

図表 31 子育てしやすいと感じるための重要な取り組み(全体)



(注) 平成 18 年度調査の選択肢は「通院や買い物、習い事など、働いていない親のための一時保育の充実」となっている。

【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、重要と考える取り組みの順位はほぼ同じですが、男性は「子育てに対する経済的支援（医療費助成、手当等）の充実」が、女性より 6.3 ポイント多くなっています。
- ・年齢別にみると、16～19 歳および 20～40 歳代の子育て世代は、「働いている、または病気等の親のための保育サービスの充実」と「子育てに対する経済的支援（医療費助成、手当等）の充実」が同程度となっています。一方、50 歳以上は「保育サービスの充実」を重要とする割合が高くなっています。

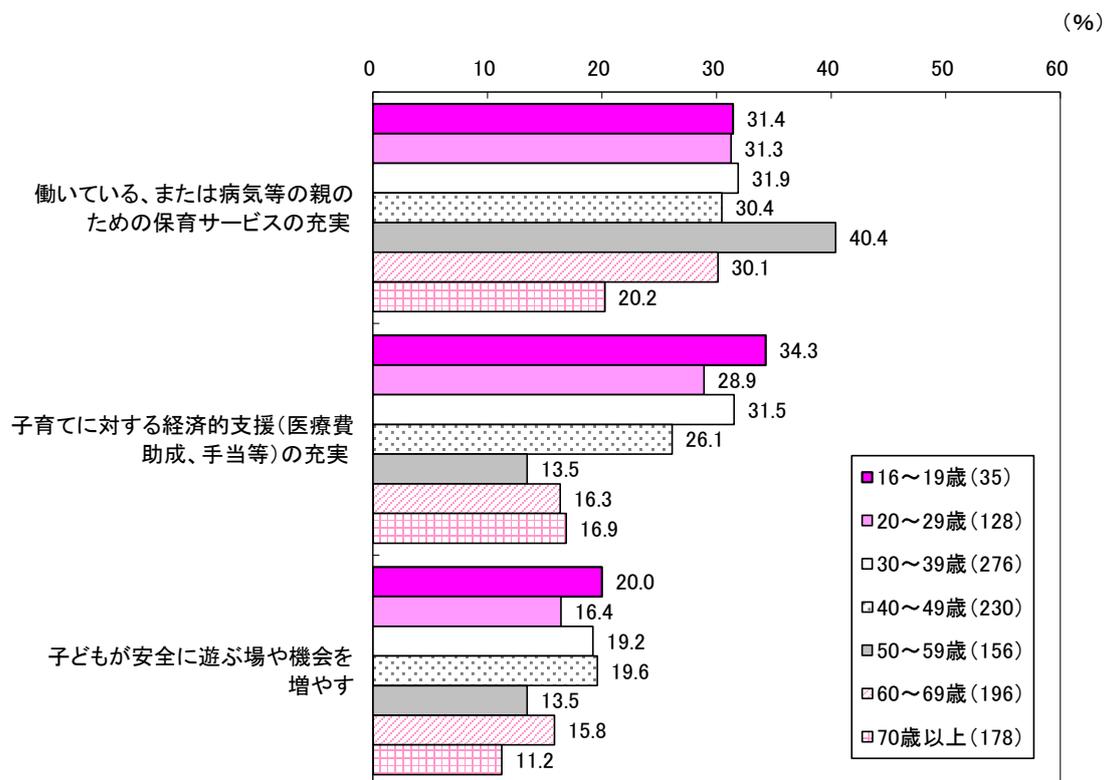
図表 32 子育てしやすいと感じるための重要な取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		働いている、または病気等の親のための保育サービスの充実	子育てに対する経済的支援（医療費助成、手当等）の充実	子どもが安全に遊ぶ場や機会を増やす	一時保育の充実	通院や買い物、習い事など、その時々々の用事に対応できる	子育ての悩み・相談ができる機会を増やす	その他	無回答
全体(1,202)		30.6	23.2	16.6	7.5	6.9	5.6	9.6	
性別	男性(512)	31.4	27.1	16.2	6.6	7.6	4.9	6.1	
	女性(669)	30.3	20.8	16.7	8.1	6.3	6.0	11.8	
年齢別	16～19 歳(35)	31.4	34.3	20.0	0.0	8.6	5.7	0.0	
	20～29 歳(128)	31.3	28.9	16.4	7.8	9.4	6.3	0.0	
	30～39 歳(276)	31.9	31.5	19.2	7.2	2.9	3.6	3.6	
	40～49 歳(230)	30.4	26.1	19.6	6.5	5.2	7.0	5.2	
	50～59 歳(156)	40.4	13.5	13.5	10.3	8.3	6.4	7.7	
	60～69 歳(196)	30.1	16.3	15.8	7.7	9.7	4.1	16.3	
	70 歳以上(178)	20.2	16.9	11.2	7.9	9.0	7.3	27.5	
居住地区別	下戸田 1 地区(167)	34.7	23.4	13.2	7.2	7.2	5.4	9.0	
	下戸田 2 地区(203)	31.0	22.2	15.8	7.9	6.4	6.4	10.3	
	上戸田 1 地区(127)	37.8	22.0	11.0	6.3	9.4	5.5	7.9	
	上戸田 2 地区(165)	31.5	21.8	20.6	6.7	4.8	5.5	9.1	
	新曽地区(261)	23.0	24.9	26.1	10.3	5.0	3.4	7.3	
	笹目地区(177)	29.9	23.7	10.7	4.0	9.0	7.3	15.3	
	美女木地区(101)	33.7	23.8	10.9	8.9	7.9	6.9	7.9	

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、子育てしやすいと感じるために重要と考える取り組みは年代によって異なっており、16～19歳および20～40歳代の子育て世代は、第1位の「働いている、または病気等の親のための保育サービスの充実」と第2位の「子育てに対する経済的支援（医療費助成、手当等）の充実」のどちらも同じくらい重要と考えていることがうかがえます。一方、50歳以上は第1位の「保育サービスの充実」が特に重要と考えられており、これに次いで「経済的支援の充実」と「子どもが安全に遊ぶ場や機会を増やす」が同程度とされています。

図表 33 子育てしやすいと感じるための重要な取り組みの上位項目（年齢別）



4. 高齢化への対応

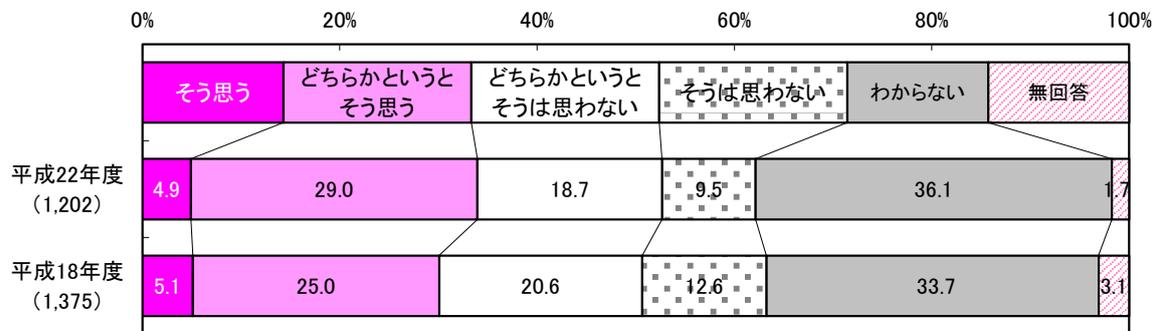
(1) 高齢者が安心して快適な生活を送れていると思うか

問 17 あなたは、市内に住む高齢者または高齢者のいる世帯が、安心して快適な生活を送ることができていると思いますか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・市内に住む高齢者または高齢者のいる世帯が、安心して快適な生活を送ることができているかどうかについては、「そう思う」（4.9%）と「どちらかというと思う」（29.0%）を合わせた肯定的な意見が33.9%となっています。一方、高齢者の生活に関わりのない層も多いことから、「わからない」が36.1%となっています。
- ・これまでの推移をみると、平成18年度調査と比較して肯定的な意見がやや増加しています。

図表 34 高齢者が安心して快適な生活を送れていると思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳および20～30歳代、70歳以上は高齢期に安心して快適な生活を送ることができると思うという肯定的な意見の方が多く、特に70歳以上の高齢者は39.9%となっています。一方で、40～60歳代は否定的な意見が30%を超えて肯定的な意見を上回っているという特徴があります。

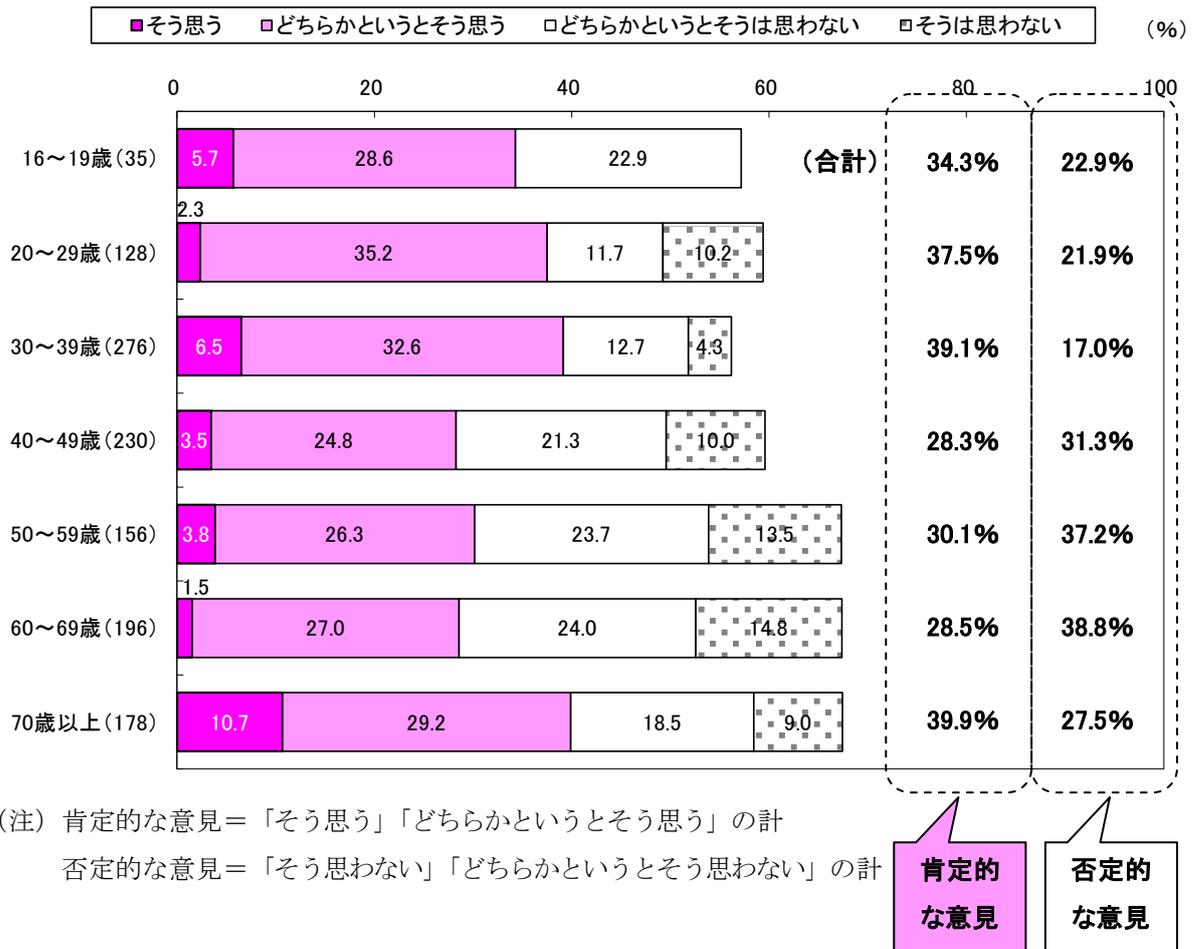
図表 35 高齢者が安心して快適な生活を送れていると思うか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,202)		4.9	29.0	18.7	9.5	36.1	1.7
性別	男性(512)	6.3	33.2	18.9	9.6	30.7	1.4
	女性(669)	3.9	26.2	18.2	9.1	40.8	1.8
年齢別	16～19歳(35)	5.7	28.6	22.9	0.0	42.9	0.0
	20～29歳(128)	2.3	35.2	11.7	10.2	39.1	1.6
	30～39歳(276)	6.5	32.6	12.7	4.3	43.5	0.4
	40～49歳(230)	3.5	24.8	21.3	10.0	40.0	0.4
	50～59歳(156)	3.8	26.3	23.7	13.5	32.1	0.6
	60～69歳(196)	1.5	27.0	24.0	14.8	29.6	3.1
	70歳以上(178)	10.7	29.2	18.5	9.0	27.5	5.1
居住地区別	下戸田1地区(167)	4.2	35.9	17.4	7.8	33.5	1.2
	下戸田2地区(203)	2.5	26.1	21.2	9.9	36.5	3.9
	上戸田1地区(127)	6.3	31.5	18.1	5.5	36.2	2.4
	上戸田2地区(165)	5.5	29.1	17.0	12.7	35.2	0.6
	新曽地区(261)	5.0	26.4	17.6	8.4	41.8	0.8
	笹目地区(177)	4.0	27.7	19.2	12.4	35.0	1.7
	美女木地区(101)	9.9	29.7	20.8	8.9	28.7	2.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、30歳以下の若い世代と70歳以上の高齢者は、高齢期に安心して快適な生活を送ることができると思う人が多く、一方で、40～60歳代はそう思わない人が多くなっており、年代によって回答傾向に違いがみられます。このことから、40～60歳代は高齢期の生活に対して比較的厳しい評価をしていることがうかがえます。

図表 36 高齢者が安心して快適な生活を送れていると思うか(年齢別)



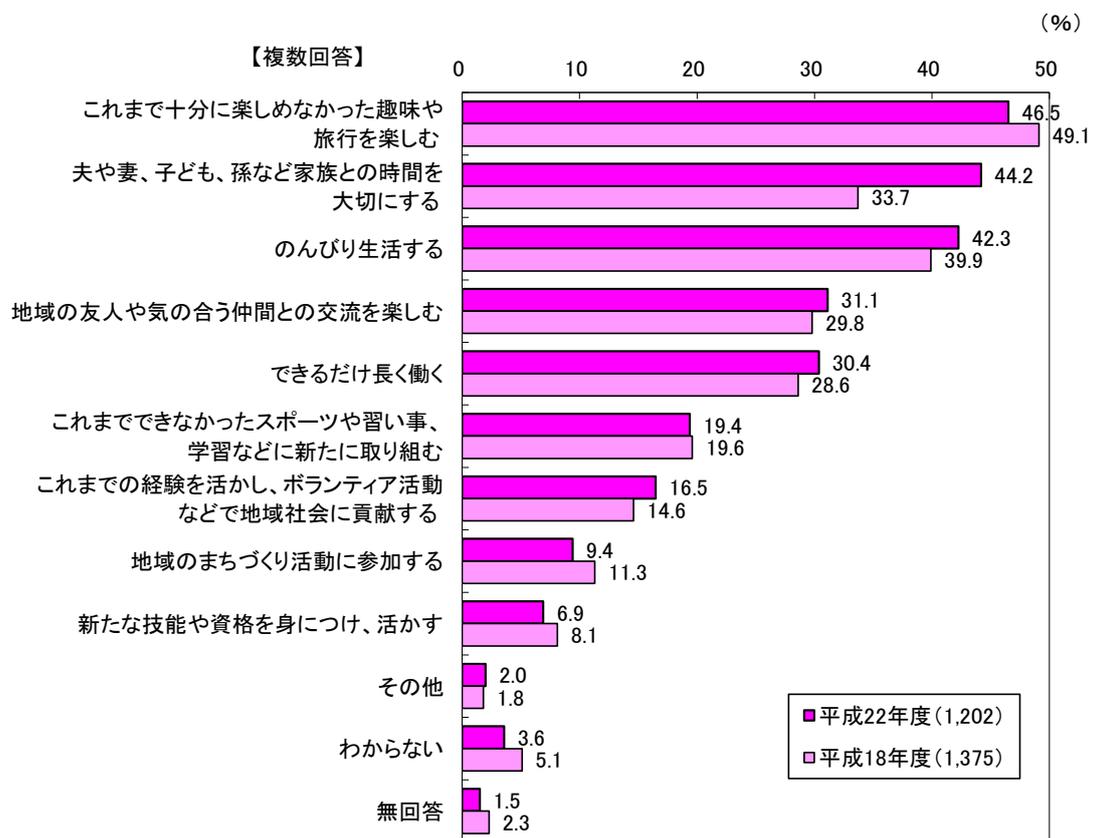
(2) 高齢期の生活の過ごし方

問 18 あなたは高齢期の生活をどのように過ごしたいとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・ 高齢期の生活（複数回答）については、「これまで十分に楽しめなかった趣味や旅行を楽しむ」が 46.5%で最も多く、次いで「夫や妻、子ども、孫など家族との時間を大切にする」が 44.2%、「のんびり生活する」が 42.3%となっています。
- ・ 平成 18 年度調査と比較すると、最も多かった「これまで十分に楽しめなかった趣味や旅行を楽しむ」が 2.6 ポイント下回り、一方「夫や妻、子ども、孫など家族との時間を大切にする」が 10.5 ポイント、「のんびり生活する」も 2.4 ポイント上回っています。

図表 37 高齢期の生活の過ごし方(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、上位の順位はほぼ同じですが、男性は「できるだけ長く働く」が女性に比べ 10.2 ポイント多くなっています。一方、女性は「地域の友人や気の合う仲間との交流を楽しむ」が男性に比べ 12.3 ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、16～19 歳および 60 歳以上は「のんびり生活する」が最も多く、20 歳代および 40 歳代、50 歳代は「これまで十分に楽しめなかった趣味や旅行を楽しむ」が最も多く、30 歳代は「夫や妻、子ども、孫など家族との時間を大切にする」が最も多くなっています。

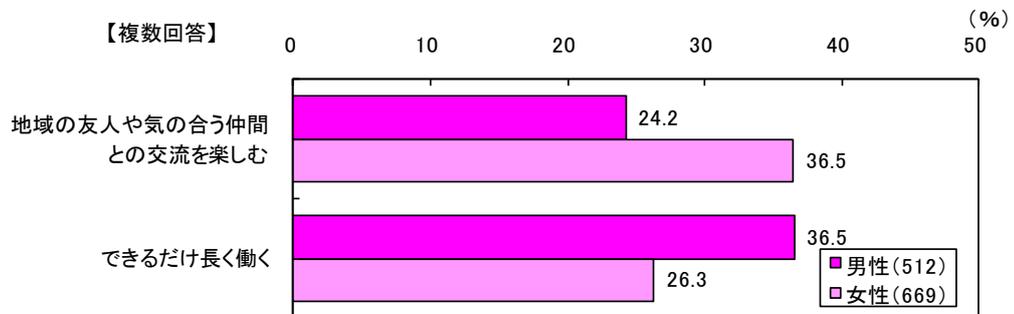
図表 38 高齢期の生活の過ごし方(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		趣味や旅行を楽しむ	これまで十分に楽しめなかった	夫や妻、子ども、孫などと家族との時間を大切にする	のんびり生活する	地域の友人や気の合う仲間との交流を楽しむ	できるだけ長く働く	これまでできなかったスポーツや習い事、学習など新たに取組む	これまでの経験を活かしボランティア活動など地域社会に貢献する	地域のまちづくり活動に参加する	新たな技能や資格を身につけ活かす	その他	わからない	無回答
全体(1,202)		46.5	44.2	42.3	31.1	30.4	19.4	16.5	9.4	6.9	2.0	3.6	1.5	
性別	男性(512)	45.9	41.6	39.5	24.2	36.5	19.9	18.6	11.9	8.6	2.0	4.3	1.0	
	女性(669)	47.4	46.6	44.4	36.5	26.3	19.1	15.1	7.5	5.8	2.1	3.0	1.6	
年齢別	16～19歳(35)	37.1	28.6	51.4	28.6	31.4	20.0	17.1	5.7	14.3	2.9	5.7	0.0	
	20～29歳(128)	50.8	47.7	32.8	37.5	18.8	19.5	11.7	16.4	8.6	1.6	7.0	0.8	
	30～39歳(276)	52.9	56.9	40.2	25.4	33.7	21.0	15.2	7.2	7.6	0.7	2.9	0.4	
	40～49歳(230)	53.5	43.9	37.0	29.1	39.6	19.6	17.4	6.1	9.6	3.0	3.9	1.3	
	50～59歳(156)	50.0	36.5	45.5	25.6	32.1	28.2	19.9	9.0	8.3	2.6	1.3	1.3	
	60～69歳(196)	40.8	39.3	45.9	35.7	33.2	18.9	20.4	10.7	3.6	1.0	2.0	1.5	
	70歳以上(178)	29.2	37.1	51.1	38.8	17.4	9.0	13.5	11.8	2.2	3.4	5.1	4.5	
居住地区別	下戸田1地区(167)	41.9	44.3	42.5	28.1	32.3	16.2	15.6	8.4	9.0	1.8	6.6	1.8	
	下戸田2地区(203)	44.8	38.9	47.8	33.5	26.6	19.7	18.7	7.4	8.4	0.0	3.0	1.0	
	上戸田1地区(127)	44.9	42.5	38.6	27.6	27.6	24.4	13.4	10.2	7.9	3.1	3.1	2.4	
	上戸田2地区(165)	52.1	44.2	41.2	31.5	27.3	22.4	22.4	7.3	4.8	3.0	1.2	1.2	
	新曽地区(261)	49.8	46.4	39.1	30.3	33.7	21.5	16.5	9.6	9.2	1.9	3.1	1.1	
	笹目地区(177)	48.6	46.3	42.9	35.6	33.3	16.4	11.9	10.7	1.7	1.7	4.5	1.1	
	美女木地区(101)	38.6	47.5	44.6	29.7	29.7	12.9	15.8	14.9	5.9	4.0	4.0	2.0	

【属性別の注目すべき回答傾向】

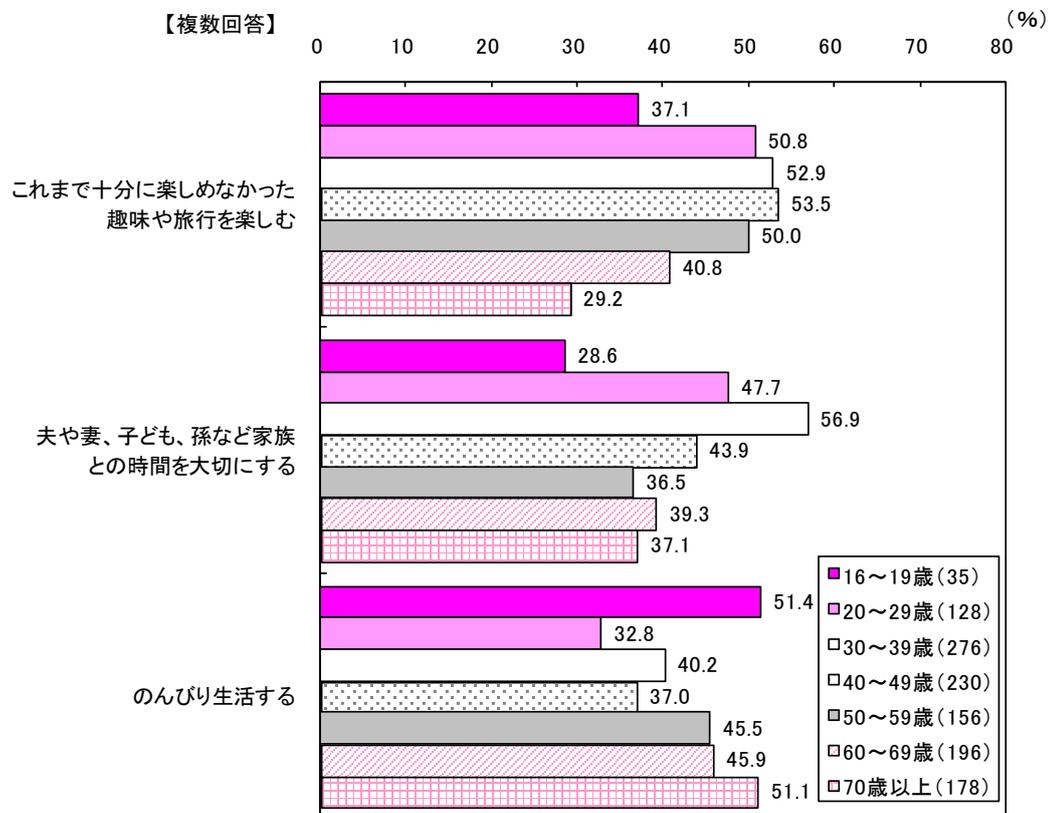
- ・性別にみると、高齢期の生活の過ごし方は男女で違いがみられ、男性は「できるだけ長く働く」、女性は「地域の友人や気の合う仲間との交流を楽しむ」がそれぞれ多くなっています。

図表 39 高齢期の生活の過ごし方で違いのある項目(性別)



- ・年齢別にみると、20～50 歳代の現役世代は、高齢期の過ごし方として「これまで十分に楽しめなかった趣味や旅行を楽しむ」を第1位または第2位に挙げている一方で、16～19 歳および 60 歳以上は「のんびり生活する」を第1位に挙げているのが特徴です。

図表 40 高齢期の生活の過ごし方の上位項目(年齢別)



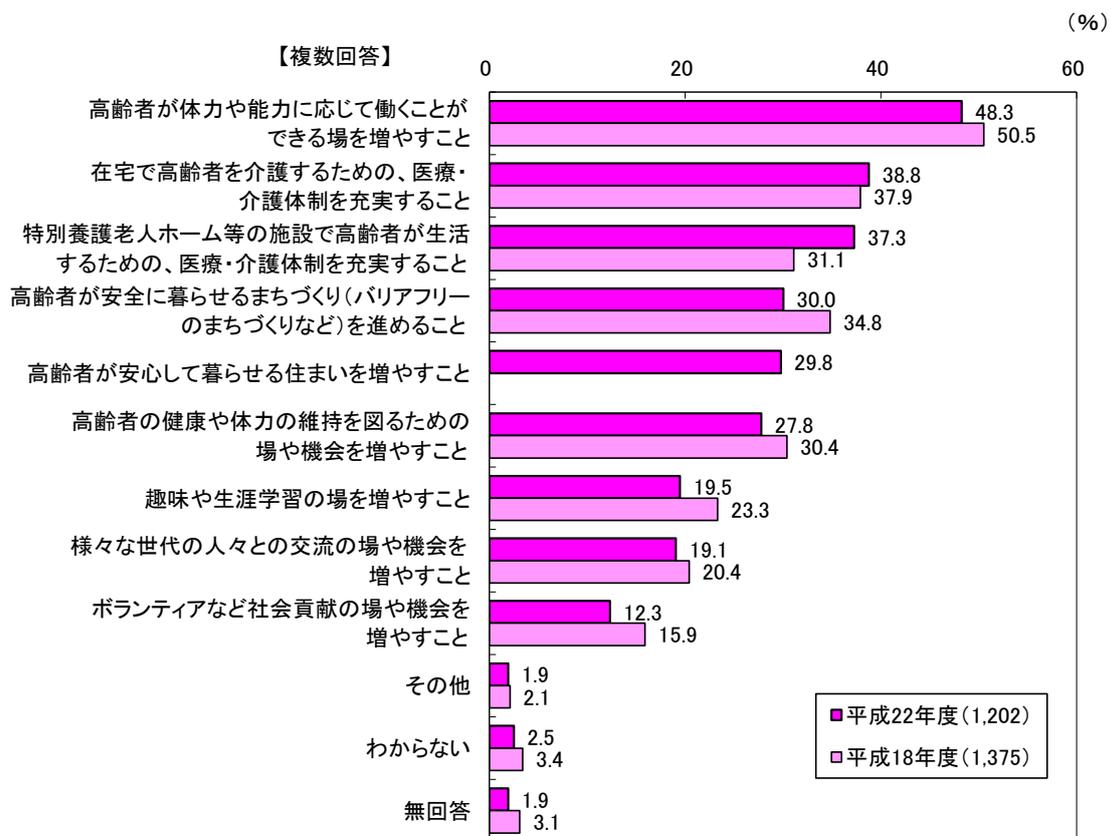
(3) いきいきとした高齢社会をつくるために重要なこと

問 19 あなたは、いきいきとした高齢社会をつくるために、どのようなことが重要だと思いますか。3つまで選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・いきいきとした高齢社会をつくるために重要なこと（複数回答）としては、「高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと」が 48.3%と最も多く、次いで「在宅で高齢者を介護するための、医療・介護体制を充実すること」が 38.8%、「特別養護老人ホーム等の施設で高齢者が生活するための、医療・介護体制を充実すること」が 37.3%となっています。また、平成 22 年度調査で新たに設けた選択肢「高齢者が安心して暮らせる住まいを増やすこと」が 29.8%となっています。
- ・平成 18 年度調査と比較すると、ほとんどの選択肢の割合が下回っていますが、これは平成 22 年度調査で新たに追加した選択肢「高齢者が安心して暮らせる住まいを増やすこと」が 29.8%を占めたことが影響しているものと考えられます。この中で、「特別養護老人ホーム等の施設で高齢者が生活するための、医療・介護体制を充実すること」が 6.2 ポイント上回っています。

図表 41 いきいきとした高齢社会をつくるために重要なこと(全体)



(注) 平成 18 年度調査には選択肢「高齢者が安心して暮らせる住まいを増やすこと」は含まれていない。

【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男女ともに重要と考えることの順位はほぼ同じですが、男性は「高齢者の健康や体力の維持を図るための場や機会を増やすこと」が女性に比べ5.5ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、16～19歳は「高齢者が安全に暮らせるまちづくりを進めること」が45.7%で最も多く、20～60歳代は「高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと」が40～50%程度で最も多く、70歳以上は「特別養護老人ホーム等の施設で高齢者が生活するための、医療・介護体制を充実すること」が42.1%で最も多くなっており、年代によって回答傾向に違いがみられます。

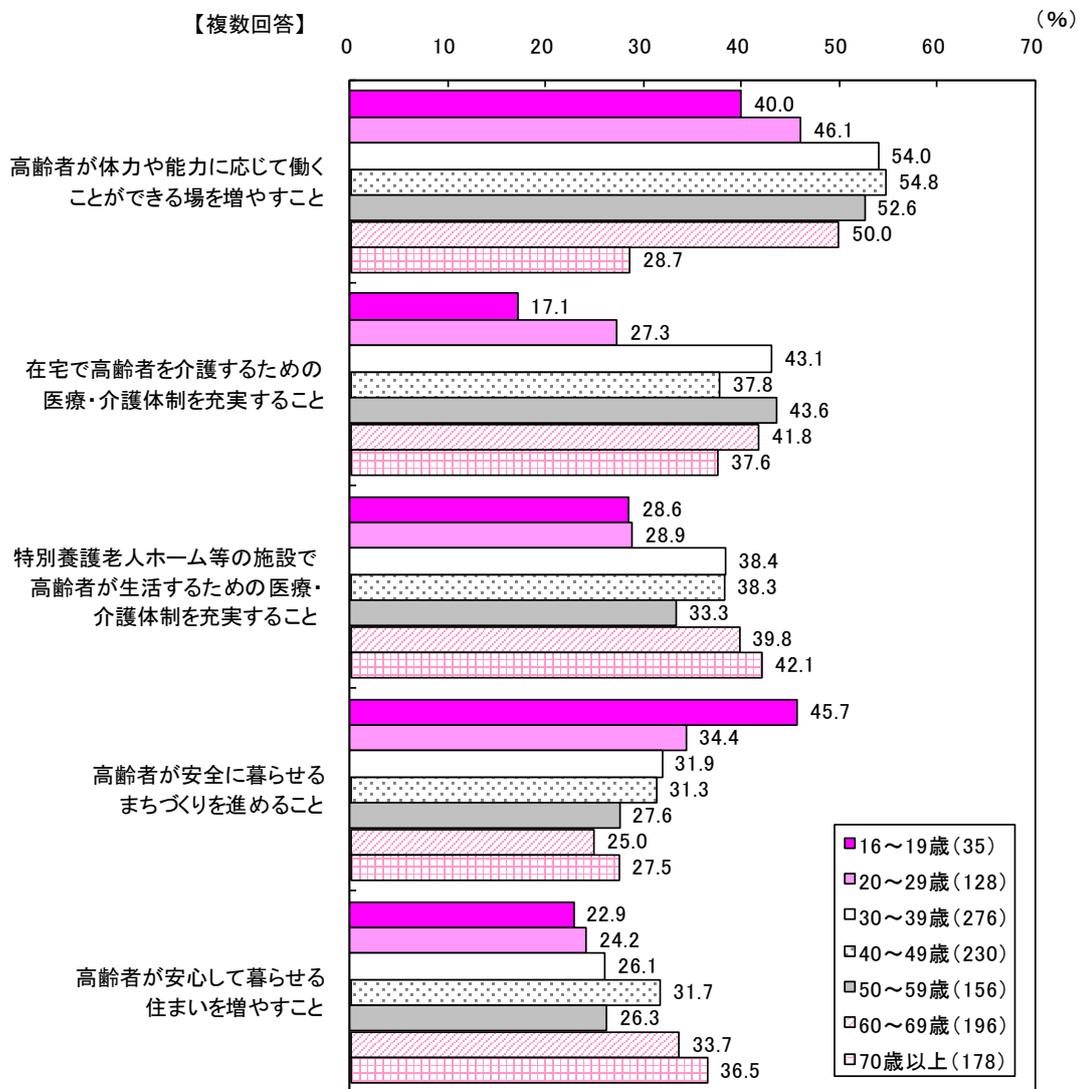
図表 42 いきいきとした高齢社会をつくるために重要なこと(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと	在宅で高齢者を介護するための医療・介護体制を充実すること	特別養護老人ホーム等の施設で高齢者が生活するための医療・介護体制を充実すること	高齢者が安全に暮らせるまちづくりを進めること	高齢者が安心して暮らせる住まいを増やすこと	高齢者の健康や体力維持を図るための場や機会を増やすこと	趣味や生涯学習の場を増やすこと	様々な世代の人々との交流の場や機会を増やすこと	ボランティアなど社会貢献の場や機会を増やすこと	その他	わからない	無回答
全体(1,202)		48.3	38.8	37.3	30.0	29.8	27.8	19.5	19.1	12.3	1.9	2.5	1.9
性別	男性(512)	50.4	38.3	35.2	30.1	27.5	30.9	19.9	17.2	15.4	1.6	2.9	1.4
	女性(669)	47.2	39.9	39.3	29.4	30.9	25.4	19.3	20.8	10.2	2.1	1.8	2.2
年齢別	16～19歳(35)	40.0	17.1	28.6	45.7	22.9	22.9	42.9	25.7	5.7	2.9	5.7	0.0
	20～29歳(128)	46.1	27.3	28.9	34.4	24.2	25.8	23.4	31.3	16.4	0.8	5.5	1.6
	30～39歳(276)	54.0	43.1	38.4	31.9	26.1	20.7	20.3	24.6	14.5	2.9	1.8	0.0
	40～49歳(230)	54.8	37.8	38.3	31.3	31.7	27.4	21.3	18.3	12.2	2.2	2.2	0.9
	50～59歳(156)	52.6	43.6	33.3	27.6	26.3	28.8	21.8	20.5	14.7	2.6	0.6	1.3
	60～69歳(196)	50.0	41.8	39.8	25.0	33.7	34.2	15.8	12.8	7.1	1.0	1.5	3.1
	70歳以上(178)	28.7	37.6	42.1	27.5	36.5	33.7	10.1	7.3	11.2	1.1	3.9	6.2
居住地区別	下戸田1地区(167)	47.9	40.1	36.5	31.1	31.7	26.9	15.0	19.2	13.2	1.8	2.4	1.2
	下戸田2地区(203)	44.8	36.9	39.9	29.6	28.1	27.6	21.7	22.7	14.3	1.5	1.5	2.0
	上戸田1地区(127)	52.8	42.5	41.7	30.7	18.9	25.2	18.9	19.7	13.4	0.8	2.4	1.6
	上戸田2地区(165)	49.7	43.6	35.2	33.9	27.9	24.8	18.8	22.4	13.3	3.6	2.4	1.2
	新曽地区(261)	49.4	34.1	37.5	26.4	31.0	31.0	25.7	17.2	11.5	1.5	2.7	1.9
	笹目地区(177)	47.5	39.5	32.2	33.9	35.6	28.8	14.7	16.4	9.6	2.8	2.8	2.8
	美女木地区(101)	46.5	38.6	39.6	24.8	33.7	27.7	16.8	14.9	10.9	1.0	4.0	2.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、70歳以上を除くすべての年代では「高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと」を第3位までに挙げています。一方で、70歳以上は「特別養護老人ホーム等の施設で生活するための、医療・介護体制の充実」「在宅で介護するための医療・介護体制の充実」「安心して暮らせる住まいを増やすこと」などの医療・福祉の面で安心な住環境を上位に挙げて、重要と考えているのが特徴です。
- ・また、30歳以上は「特別養護老人ホーム等の施設で生活するための、医療・介護体制の充実」と「在宅で介護するための医療・介護体制の充実」を同程度挙げて、重要としています。

図表 43 いきいきとした高齢社会をつくるために重要なことの上位項目(年齢別)



5. 公共交通の利便性

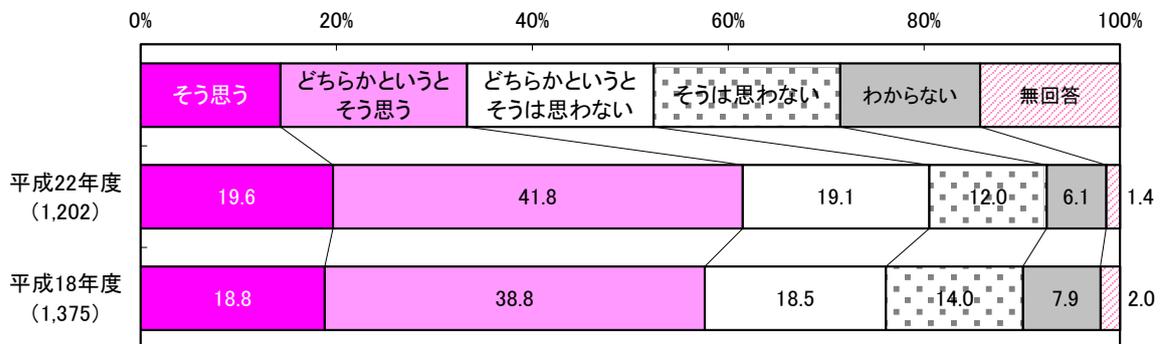
(1) 市内の公共交通機関は利用しやすいか

問 20 あなたは、市内のバスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいと思いますか。
1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・市内の公共交通機関が利用しやすいかどうかについては、「そう思う」(19.6%)と「どちらかというと思う」(41.8%)を合わせた肯定的な意見が61.4%となっています。
- ・平成18年度調査と比較すると、肯定的な意見がやや増加しています。

図表 44 市内の公共交通機関は利用しやすいか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、すべての年代で公共交通機関が利用しやすいと思う人が半数を超えており、特に、16～19歳、20歳代、60歳以上は60%を超えています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区では、公共交通機関が利用しやすいと思わない人（48.5%）が、思う人（43.6%）の割合を上回り、公共交通機関の利便性に対して、否定的な意見が多くなっています。

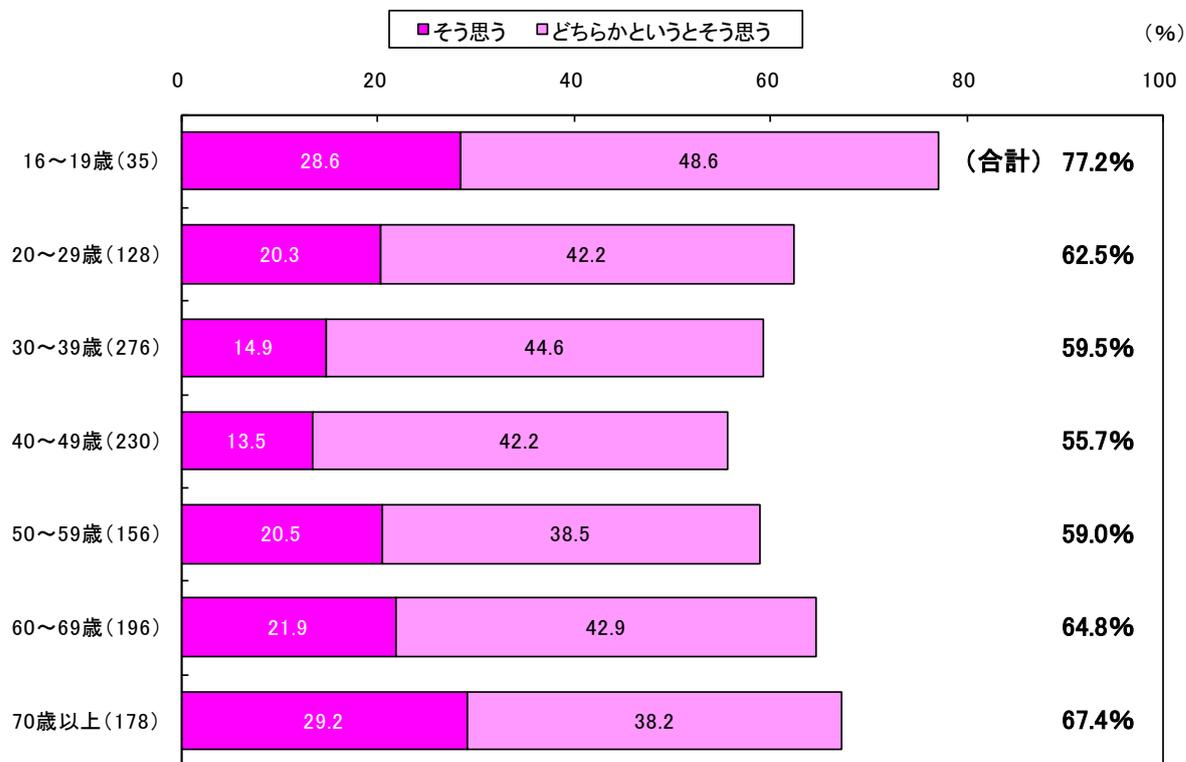
図表 45 市内の公共交通機関は利用しやすいか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,202)		19.6	41.8	19.1	12.0	6.1	1.4
性別	男性(512)	21.5	42.0	17.8	12.5	5.3	1.0
	女性(669)	18.2	41.9	20.5	11.4	6.4	1.6
年齢別	16～19歳(35)	28.6	48.6	8.6	2.9	11.4	0.0
	20～29歳(128)	20.3	42.2	19.5	11.7	5.5	0.8
	30～39歳(276)	14.9	44.6	22.8	13.4	4.0	0.4
	40～49歳(230)	13.5	42.2	22.2	15.7	5.7	0.9
	50～59歳(156)	20.5	38.5	20.5	13.5	7.1	0.0
	60～69歳(196)	21.9	42.9	16.3	8.7	7.7	2.6
	70歳以上(178)	29.2	38.2	12.4	9.0	6.7	4.5
居住地区別	下戸田1地区(167)	25.7	45.5	9.0	10.2	8.4	1.2
	下戸田2地区(203)	19.2	43.8	18.7	10.8	4.9	2.5
	上戸田1地区(127)	21.3	47.2	17.3	7.9	4.7	1.6
	上戸田2地区(165)	23.6	42.4	20.6	6.1	7.3	0.0
	新曽地区(261)	18.0	41.8	21.8	13.0	5.0	0.4
	笹目地区(177)	14.7	39.5	19.8	16.9	6.8	2.3
	美女木地区(101)	14.9	28.7	27.7	20.8	5.9	2.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳の若い世代および60歳以上は、特に公共交通機関が利用しやすいと感じていることがうかがえます。

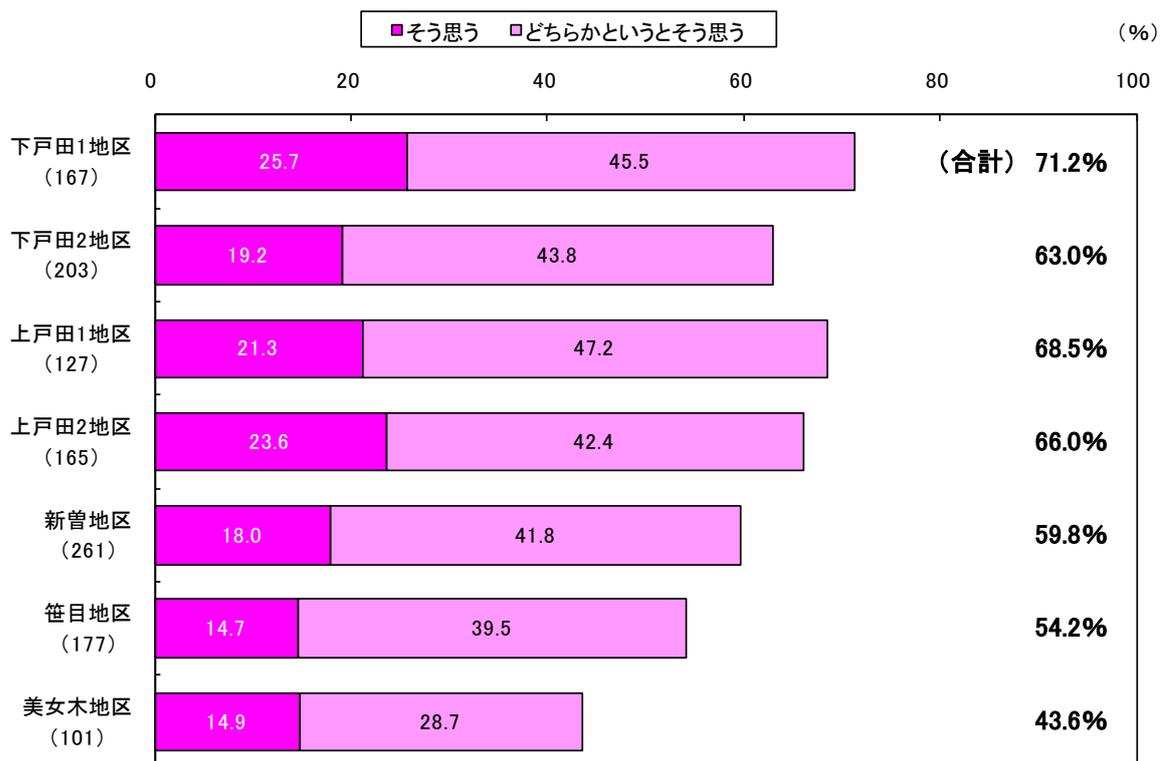
図表 46 市内の公共交通機関の利用しやすさに対する肯定的な意見(年齢別)



【属性別の注目すべき回答傾向（つづき）】

・居住地区別にみると、下戸田1地区・下戸田2地区・上戸田1地区・上戸田2地区は、公共交通機関が利用しやすいと思うという肯定的な意見が60%を超えています。一方で、新曽地区・笹目地区・美女木地区は、これが60%に満たず、特に美女木地区は肯定的な意見が最も少なくなっています。このことから、市内の公共交通の利便性に対する評価は、地区ごとの公共交通機関の整備状況が影響していることがうかがえます。

図表 47 市内の公共交通機関の利用しやすさに対する肯定的な意見(居住地区別)



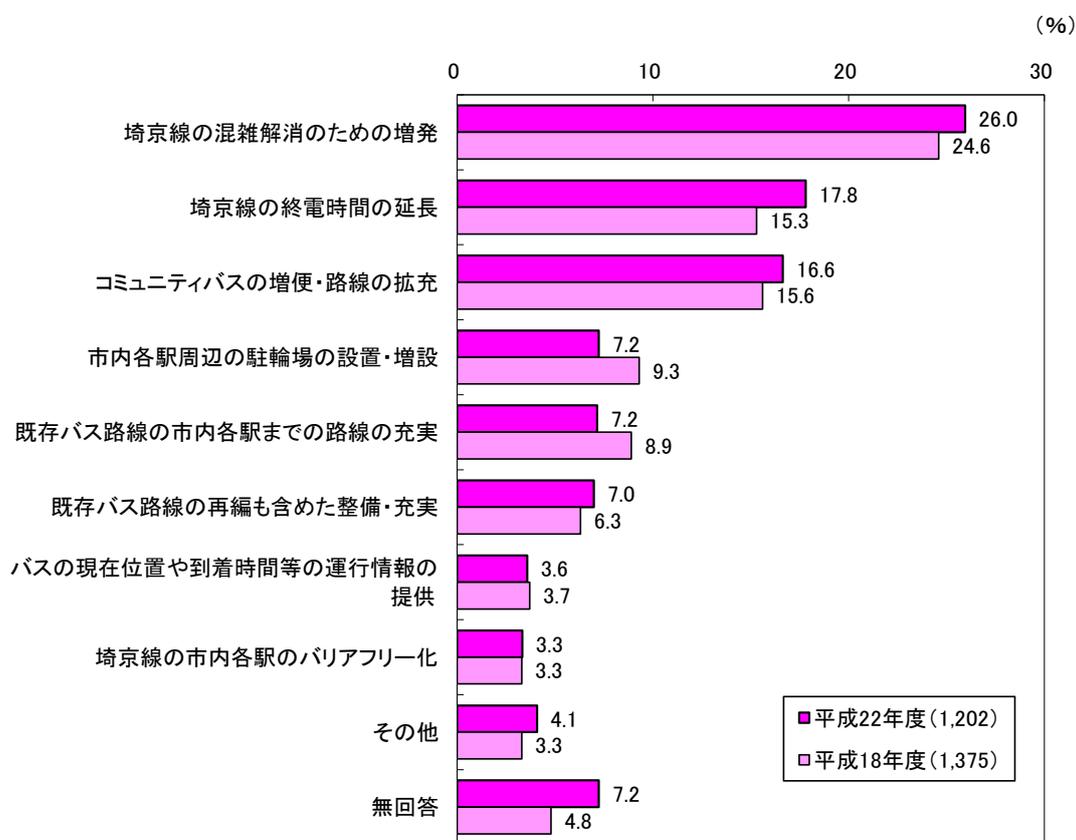
(2) 公共交通機関を利用しやすくするための重要な取り組み

問 21 公共交通機関をより利用しやすくするために、どのような取り組みが重要だと思いますか。最も重要だと思うものを1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・公共交通機関を利用しやすくするために重要なこととしては、「埼京線の混雑解消のための増発」が26.0%で最も多く、次いで「埼京線の終電時間の延長」が17.8%、「コミュニティバスの増便・路線の拡充」が16.6%となっています。
- ・平成18年度調査と比較して、回答傾向に大きな相違はありません。

図表 48 公共交通機関を利用しやすくするための重要な取り組み(全体)



(注) 平成18年度調査は、このほかに選択肢「わからない」(4.9%)が含まれていた。

【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、ほとんどの年代で「埼京線の混雑解消のための増発」が最も多いのに対して、20歳代は「埼京線の終電時間の延長」、60歳以上は「コミュニティバスの増便・路線の拡充」が最も多いという特徴があります。
- ・居住地区別にみると、下戸田1地区・笹目地区は「コミュニティバスの増便・路線の拡充」、新曽地区では「埼京線の終電時間の延長」、下戸田2地区・上戸田1地区・上戸田2地区では「埼京線の混雑解消のための増発」、美女木地区では「既存バス路線の市内各駅までの路線の充実」が最も多くなっています。

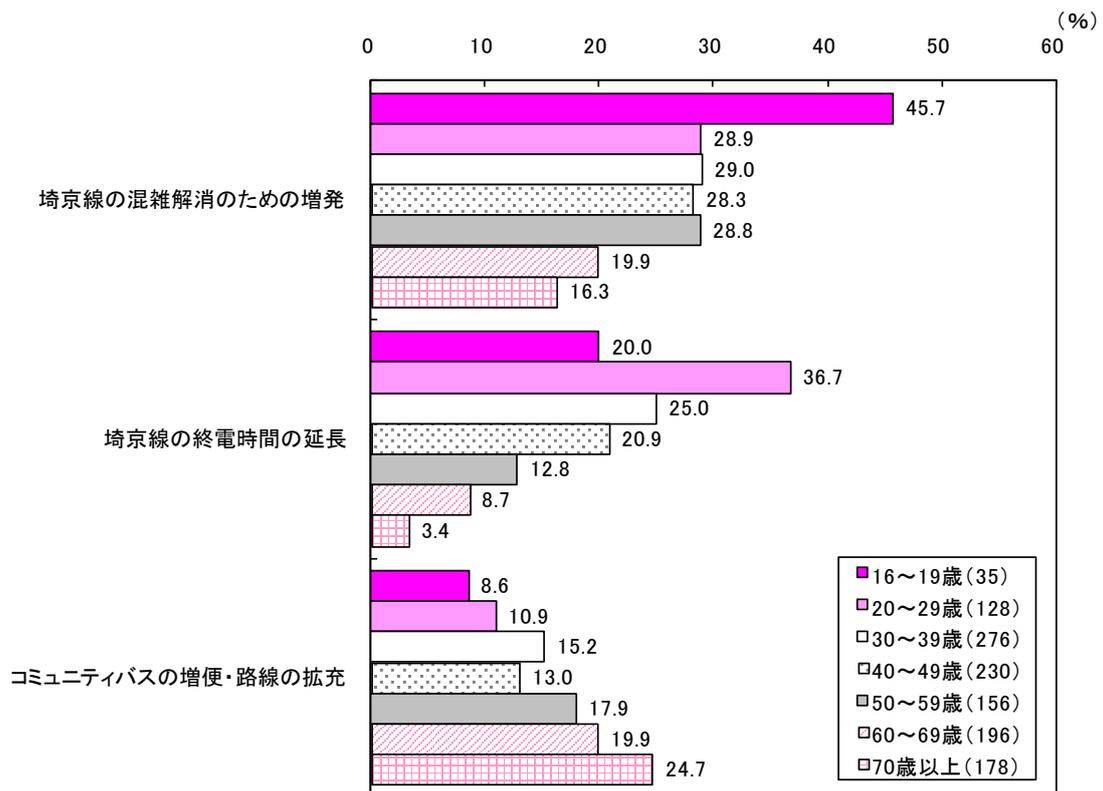
図表 49 公共交通機関を利用しやすくするための重要な取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		埼京線の混雑解消のための増発	埼京線の終電時間の延長	コミュニティバスの増便・路線の拡充	市内各駅周辺の駐輪場の設置・増設	既存バス路線の市内各駅までの路線の充実	既存バス路線の再編も含めた整備・充実	既存バス路線の再編も含めた整備・充実	バスの現在位置や到着時間等の運行情報の提供	埼京線の市内各駅のバリアフリー化	その他	無回答
全体(1,202)		26.0	17.8	16.6	7.2	7.2	7.0	3.6	3.3	4.1	7.2	
性別	男性(512)	25.0	23.0	13.9	7.0	6.6	7.8	3.3	3.5	3.9	5.9	
	女性(669)	27.1	14.1	18.8	7.0	7.5	6.4	3.9	3.3	4.2	7.8	
年齢別	16～19歳(35)	45.7	20.0	8.6	2.9	2.9	5.7	5.7	0.0	5.7	2.9	
	20～29歳(128)	28.9	36.7	10.9	3.9	3.9	2.3	2.3	1.6	3.9	5.5	
	30～39歳(276)	29.0	25.0	15.2	5.4	6.2	5.8	1.8	2.9	4.7	4.0	
	40～49歳(230)	28.3	20.9	13.0	7.4	7.0	10.9	1.7	2.2	3.5	5.2	
	50～59歳(156)	28.8	12.8	17.9	5.8	7.7	7.7	1.9	3.8	5.1	8.3	
	60～69歳(196)	19.9	8.7	19.9	11.2	12.8	6.1	6.1	4.1	1.5	9.7	
	70歳以上(178)	16.3	3.4	24.7	10.1	5.6	7.3	7.9	6.2	5.6	12.9	
居住地区別	下戸田1地区(167)	17.4	12.6	26.9	12.0	7.2	6.0	6.6	2.4	3.6	5.4	
	下戸田2地区(203)	28.6	14.8	19.2	6.4	5.9	7.9	2.0	3.0	4.9	7.4	
	上戸田1地区(127)	37.0	18.1	11.0	4.7	5.5	4.7	2.4	2.4	1.6	12.6	
	上戸田2地区(165)	34.5	21.8	10.9	6.7	4.2	6.1	0.0	4.2	5.5	6.1	
	新曽地区(261)	27.2	28.4	12.3	5.7	4.6	6.9	3.1	2.7	5.0	4.2	
	笹目地区(177)	19.8	10.7	22.0	8.5	9.0	6.8	5.6	4.5	4.0	9.0	
	美女木地区(101)	14.9	10.9	12.9	6.9	19.8	11.9	6.9	5.0	2.0	8.9	

【属性別の注目すべき回答傾向】

・年齢別にみると、概ね年齢が下がるほど「埼京線の混雑解消のための増発」あるいは「埼京線の終電時間の延長」が多く、鉄道に関する取り組みが重要と考えられています。一方で、年齢が上がるほど「コミュニティバスの増便・路線の拡充」が多く、バス交通に関する取り組みが重要と考えられる傾向があります。

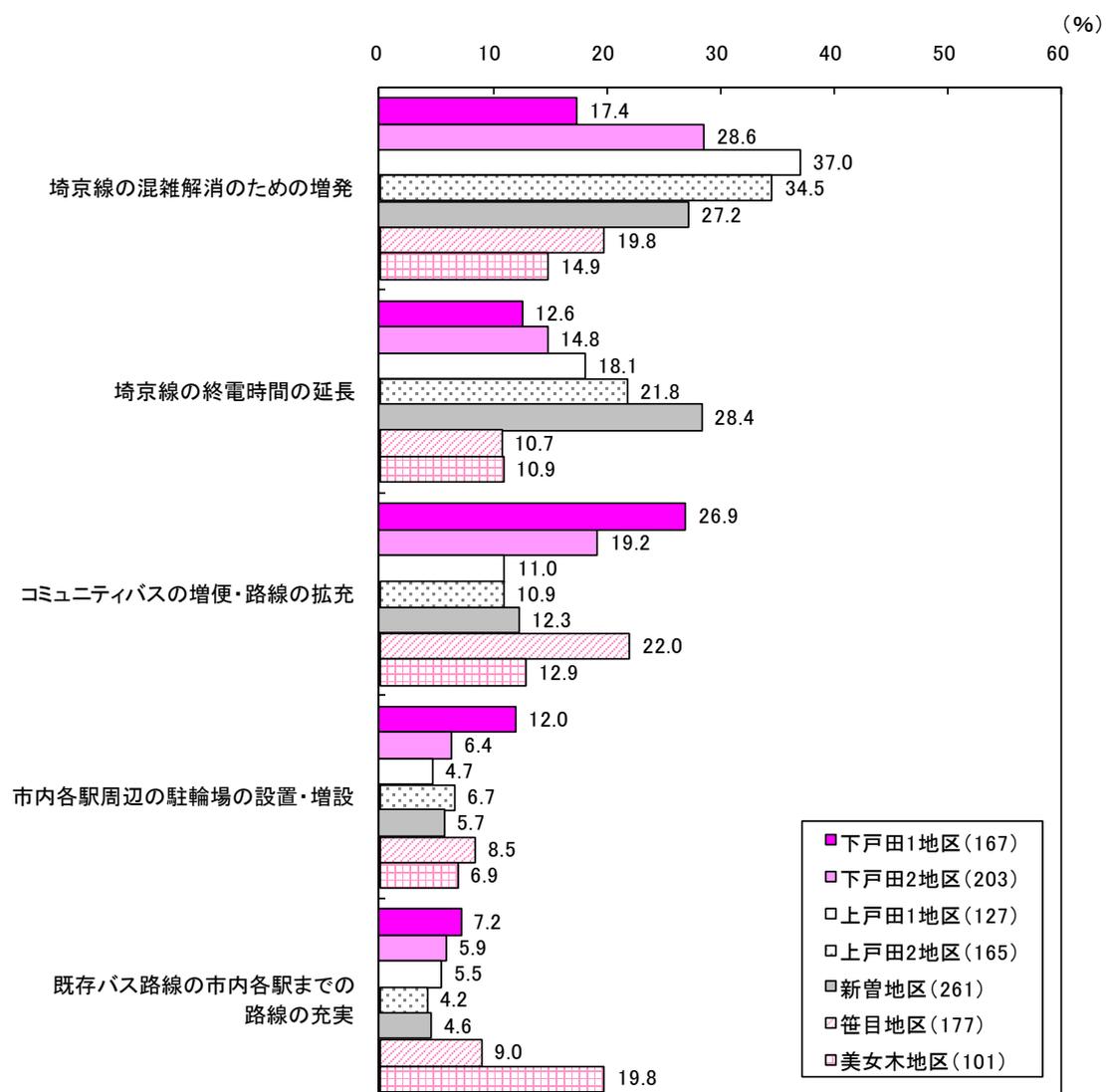
図表 50 公共交通機関を利用しやすくするための重要な取り組みの上位項目(年齢別)



【属性別の注目すべき回答傾向（つづき）】

- ・居住地区別にみると、市内の公共交通を利用しやすくするために重要と考える取り組みは、地区ごとの公共交通機関の整備状況によって異なります。
- ・市の東端に位置する下戸田1地区と西端に位置する笹目地区では「コミュニティバスの増便・路線の拡充」が重要とされています。また、市内を通る埼京線沿線の下戸田2地区・上戸田1地区・上戸田2地区・新曽地区では、「埼京線の混雑解消のための増発」や「埼京線の終電時間の延長」など鉄道に関する取り組みが重要とされています。さらに、市の北端に位置する美女木地区では「既存バス路線の市内各駅までの路線の充実」が重要とされており、居住地区によって回答に違いがあります。

図表 51 公共交通機関を利用しやすくするための重要な取り組みの上位項目(居住地区別)



6. 保健・医療サービス

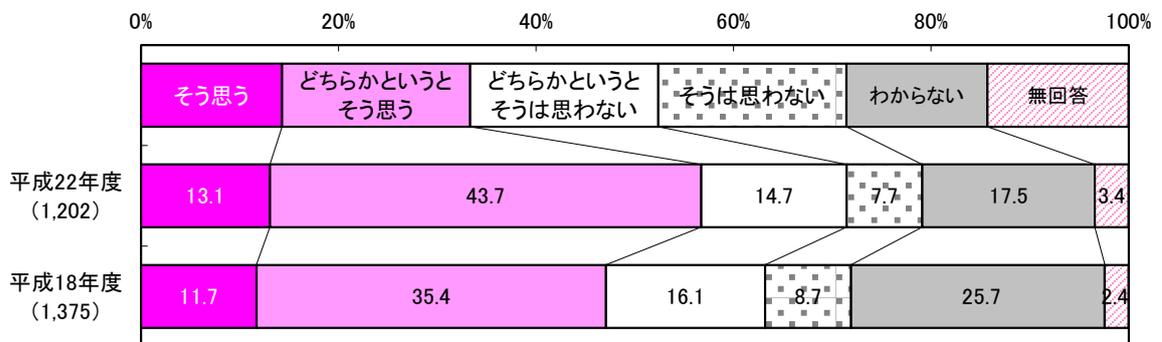
(1) 必要な保健・医療サービスが提供されているか

問 22 あなたは、戸田市で必要な保健・医療サービスが提供されていると思いますか。
1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・市内で必要な保健・医療サービスが提供されているかについては、「そう思う」(13.1%)と「どちらかというと思う」(43.7%)を合わせた肯定的な意見が56.8%となっています。
- ・平成18年度調査と比較すると、肯定的な意見が9.7ポイント上回っています。

図表 52 必要な保健・医療サービスが提供されているか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて、市内で必要な保健・医療サービスが提供されていると思う人が多くなっています。
- ・居住地区別にみると、いずれの地区でも、必要な保健・医療サービスが提供されていると思う人が半数以上となっており、特に美女木地区は 65.3%と肯定的な意見が多くなっています。一方、上戸田 2 地区・笹目地区は否定的な意見が約 30%となっています。

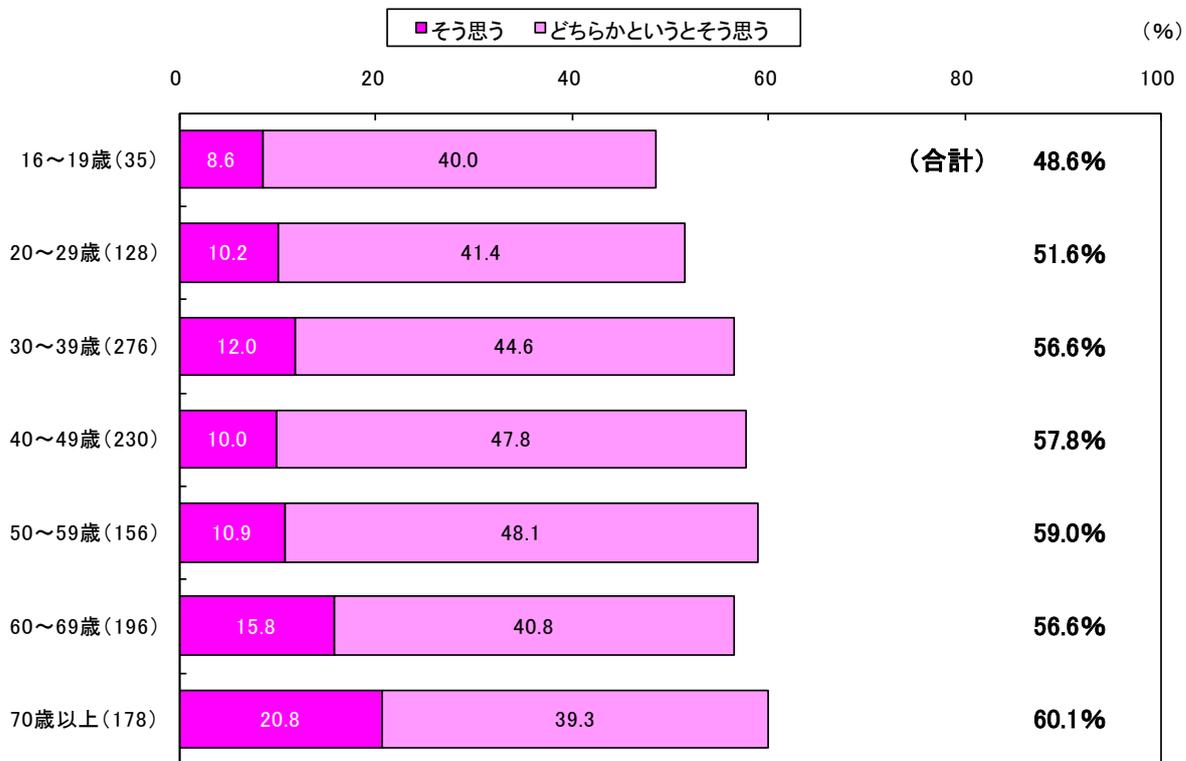
図表 53 必要な保健・医療サービスが提供されているか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	そう思う どちらかという と	どちらかという と そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,202)		13.1	43.7	14.7	7.7	17.5	3.4
性別	男性(512)	15.2	43.4	14.1	7.2	16.2	3.9
	女性(669)	11.5	44.2	15.4	7.6	18.5	2.7
年齢別	16～19 歳(35)	8.6	40.0	2.9	14.3	34.3	0.0
	20～29 歳(128)	10.2	41.4	11.7	7.8	28.1	0.8
	30～39 歳(276)	12.0	44.6	15.9	8.3	17.0	2.2
	40～49 歳(230)	10.0	47.8	19.1	7.0	15.2	0.9
	50～59 歳(156)	10.9	48.1	14.7	8.3	17.3	0.6
	60～69 歳(196)	15.8	40.8	14.3	9.2	12.2	7.7
	70 歳以上(178)	20.8	39.3	11.2	3.9	15.7	9.0
居住地区別	下戸田 1 地区(167)	15.6	43.7	13.8	7.2	17.4	2.4
	下戸田 2 地区(203)	13.3	41.9	16.7	7.4	17.7	3.0
	上戸田 1 地区(127)	15.7	41.7	13.4	2.4	22.0	4.7
	上戸田 2 地区(165)	9.7	48.5	18.8	10.3	10.3	2.4
	新曽地区(261)	11.9	44.4	10.7	6.9	21.5	4.6
	笹目地区(177)	10.7	39.5	16.9	13.0	16.4	3.4
	美女木地区(101)	17.8	47.5	13.9	4.0	14.9	2.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、概ね年齢が高い人ほど、市内に必要な保健・医療サービスが提供されていると思っていることがうかがえます。

図表 54 必要な保健・医療サービスが提供されているかに対する肯定的な意見（年齢別）



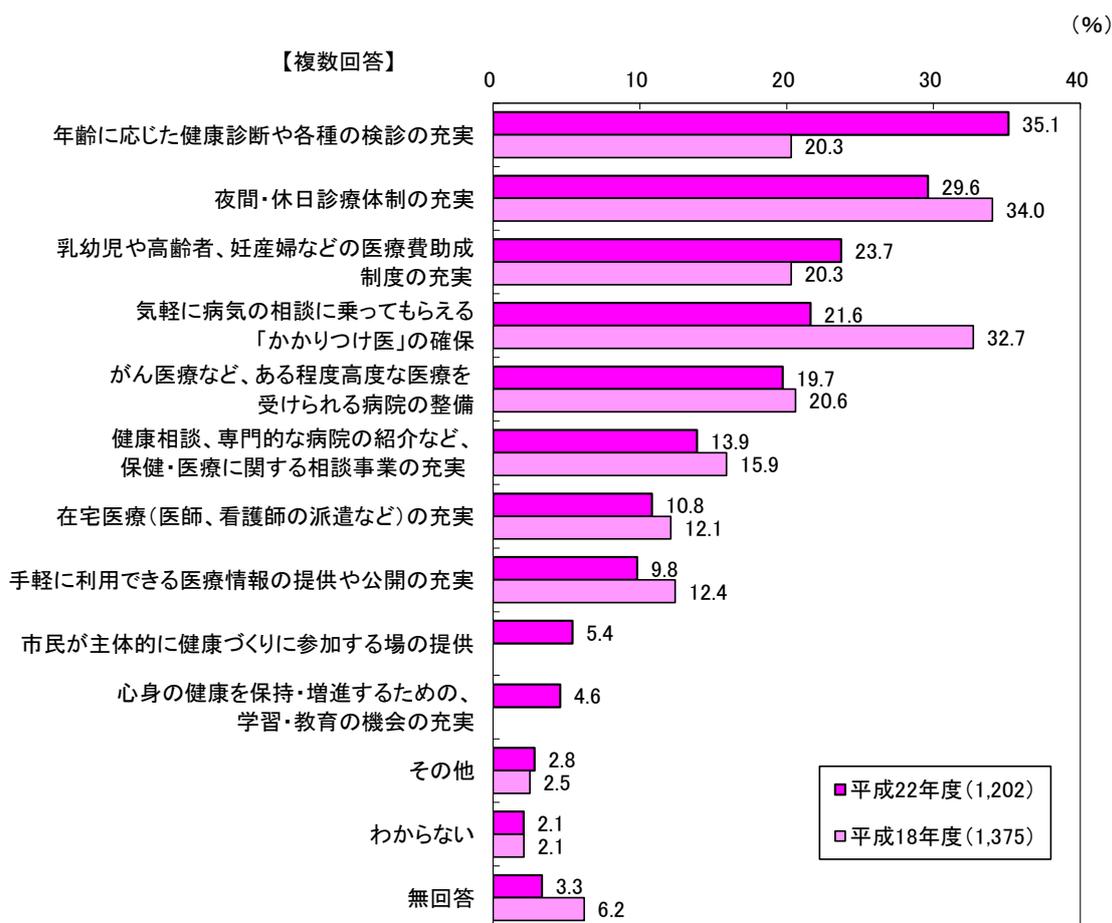
(2) 健康な生活を送るための今後の保健・医療サービス

問 23 誰もが健康な生活を送るために、今後、どのような保健・医療サービスが重要だと思いますか。2つまで選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・今後の保健・医療サービスで重要なこと（複数回答）としては、「年齢に応じた健康診断や各種の検診の充実」が 35.1%と最も多く、次いで「夜間・休日診療体制の充実」が 29.6%となっています。
- ・平成 18 年度調査と比較すると、上位の項目に違いがみられます。最も多かった「夜間・休日診療体制の充実」は 4.4 ポイント下回り、次いで多かった「気軽に病気の相談に乗ってもらえる「かかりつけ医」の確保」は 11.1 ポイント下回っています。一方、「年齢に応じた健康診断や各種の検診の充実」が 14.8 ポイント上回っているという特徴があります。

図表 55 健康な生活を送るために重要な保健・医療サービス(全体)



(注) 平成 18 年度調査には選択肢「市民が主体的に健康づくりに参加する場の提供」および「心身の健康を保持・増進するための、学習・教育の機会の充実」は含まれていない。

【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、すべての年代で「年齢に応じた健康診断や各種の検診の充実」が第2位までに入っています。これに加えて、30～50歳代は「夜間・休日診療体制の充実」を同程度挙げています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区・上戸田2地区・笹目地区は「夜間・休日診療体制の充実」が他の地区に比べて多くなっています。

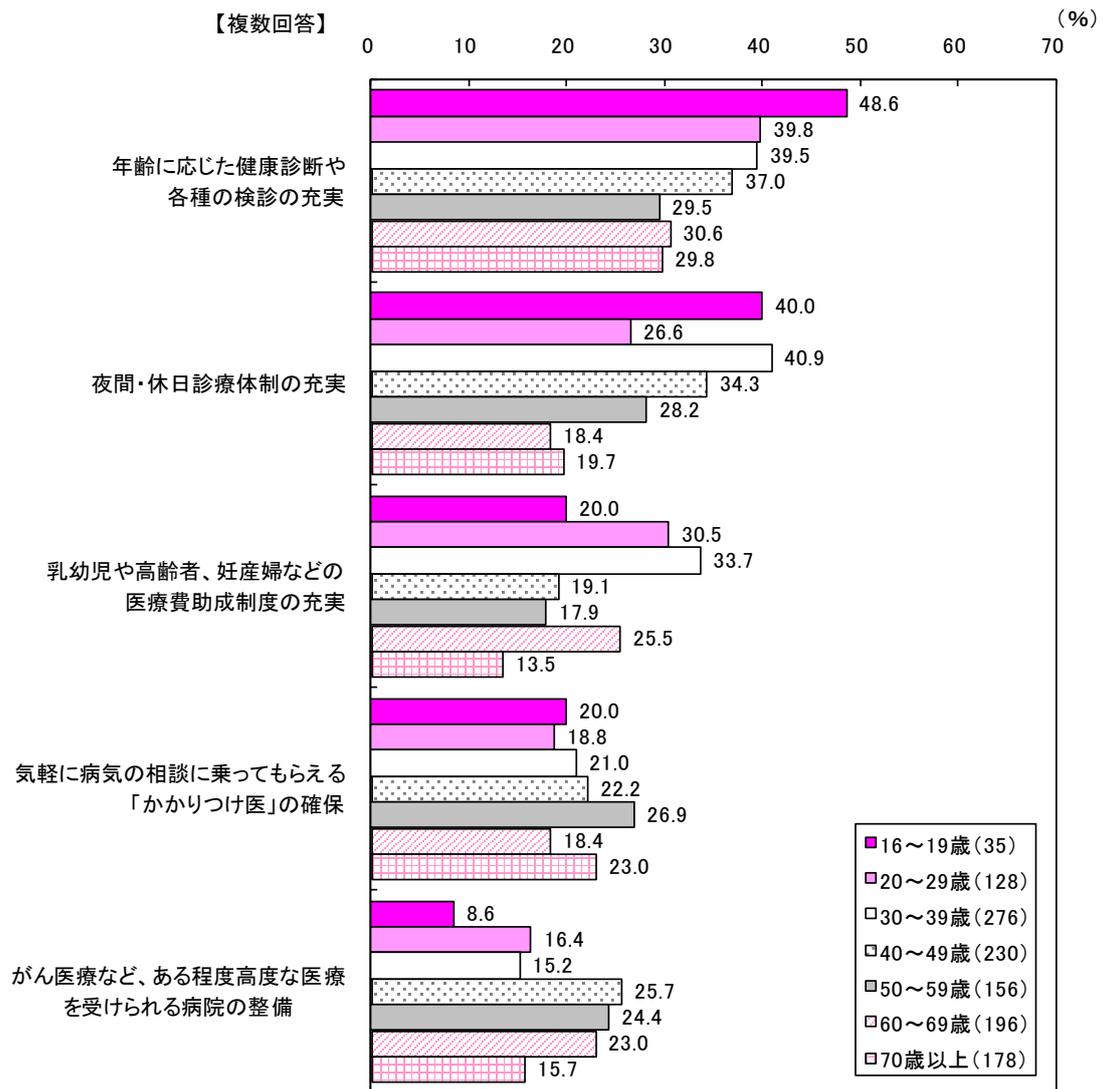
図表 56 健康な生活を送るために重要な保健・医療サービス(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		年齢に応じた健康診断や各種の検診の充実	夜間・休日診療体制の充実	乳幼児や高齢者、妊産婦などの医療費助成制度の充実	「かかりつけ医」の確保	気軽に病気の相談に乗ってもらえる	がん医療など、ある程度高度な医療を受けられる病院の整備	健康相談、専門的な病院の紹介など保健・医療に関する相談事業の充実	在宅医療（医師、看護師の派遣など）の充実	公開の充実	手軽に利用できる医療情報の提供や	市民が主体的に健康づくりに参加する場の提供	心身の健康を保持・増進するための学習・教育の機会の充実	その他	わからない	無回答
全体(1,202)		35.1	29.6	23.7	21.6	19.7	13.9	10.8	9.8	5.4	4.6	2.8	2.1	3.3		
性別	男性(512)	35.0	33.0	24.4	18.0	20.7	15.4	9.0	9.6	6.3	4.9	3.3	2.0	3.7		
	女性(669)	35.4	27.1	23.5	24.4	19.1	12.9	12.1	10.2	4.8	4.5	2.5	1.8	3.0		
年齢別	16～19歳(35)	48.6	40.0	20.0	20.0	8.6	17.1	8.6	2.9	5.7	5.7	0.0	2.9	0.0		
	20～29歳(128)	39.8	26.6	30.5	18.8	16.4	14.1	3.1	10.9	6.3	7.0	4.7	3.9	3.9		
	30～39歳(276)	39.5	40.9	33.7	21.0	15.2	10.9	4.7	9.8	3.6	3.6	2.5	1.1	1.4		
	40～49歳(230)	37.0	34.3	19.1	22.2	25.7	9.6	7.8	10.4	4.3	3.5	4.8	1.7	0.9		
	50～59歳(156)	29.5	28.2	17.9	26.9	24.4	15.4	17.3	11.5	5.1	4.5	2.6	1.3	3.2		
	60～69歳(196)	30.6	18.4	25.5	18.4	23.0	13.3	16.3	9.7	9.7	7.1	0.0	2.6	5.1		
	70歳以上(178)	29.8	19.7	13.5	23.0	15.7	22.5	18.5	7.9	4.5	2.8	3.4	2.8	7.9		
居住地区別	下戸田1地区(167)	29.3	28.7	26.9	21.6	14.4	14.4	14.4	13.2	6.0	5.4	2.4	0.6	3.0		
	下戸田2地区(203)	32.5	34.5	20.2	21.7	19.7	16.7	12.3	7.9	6.4	5.9	3.0	2.0	2.5		
	上戸田1地区(127)	36.2	22.8	20.5	19.7	15.0	18.1	13.4	11.0	8.7	1.6	3.1	2.4	6.3		
	上戸田2地区(165)	37.0	33.9	24.2	24.2	20.0	10.9	8.5	8.5	4.2	3.6	3.6	1.2	3.0		
	新曽地区(261)	36.4	26.8	28.0	19.9	20.3	11.1	9.6	8.8	5.7	5.4	3.4	2.7	3.1		
	笹目地区(177)	36.2	33.3	22.0	20.3	23.2	14.7	9.6	8.5	2.8	4.5	2.3	3.4	3.4		
	美女木地区(101)	40.6	23.8	20.8	25.7	26.7	12.9	7.9	13.9	4.0	4.0	1.0	2.0	3.0		

【属性別の注目すべき回答傾向】

・年齢別にみると、年齢が下がるほど「年齢に応じた健康診断や各種の検診の充実」を重要と考える割合が多い傾向があります。また、子育てや介護を担う人が多い30～50歳代は「年齢に応じた健康診断や各種の検診の充実」と同じくらいに「夜間・休日診療体制の充実」を重要としています。このほか、20～30歳代および60歳代は「乳幼児や高齢者、妊産婦などの医療費助成制度の充実」も重要と考えています。

図表 57 健康な生活を送るために重要な保健・医療サービスの上位項目(年齢別)



7. 安心・安全のまちづくり

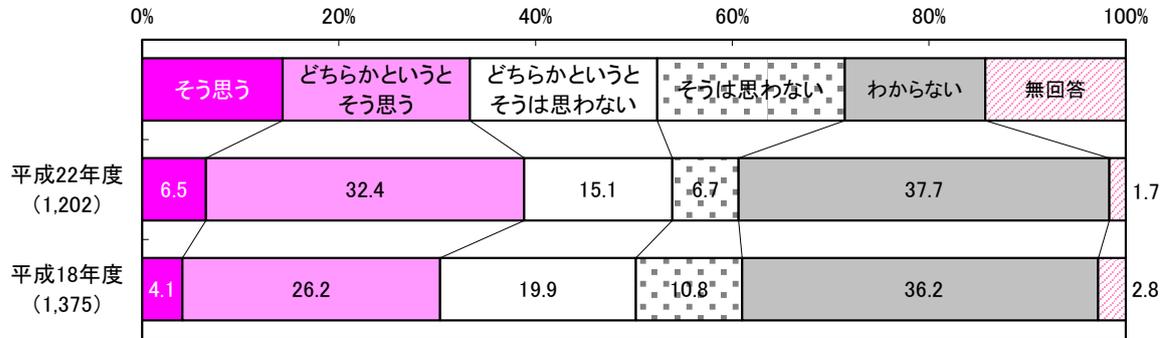
(1) 災害に対して十分対策が取られており安心なまちであると思うか

問 24 あなたは、戸田市は災害に対して十分対策が取られており、安心なまちだと思いますか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・災害に対して十分な対策が取られている安心なまちだと思うかどうかについては、「そう思う」(6.5%)と「どちらかというそう思う」(32.4%)を合わせた肯定的な意見が38.9%となっています。一方、「わからない」が37.7%で肯定的な意見と同程度となっており、災害対策に関する情報が十分に行き渡っていないことがうかがえます。
- ・平成18年度調査と比較すると、肯定的な意見が8.6ポイント上回っています。

図表 58 災害に対して十分対策が取られており安心なまちであると思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べて、災害に対して十分な対策が取られている安心なまちだと思ふという肯定的な意見が 9.6 ポイント多くなっています。一方、女性は「わからない」が 44.2%に達しています。
- ・年齢別にみると、60 歳以上は、災害に対して十分な対策が取られている安心なまちだと思ふという肯定的な意見が 45%を超えています。また、すべての年代で「わからない」が多いのが特徴で、特に 30 歳代以下は「わからない」が 45%を超えています。

図表 59 災害に対して十分対策が取られており安心なまちであると思うか
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	そう思う どちらかという と	どちらかという と そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,202)		6.5	32.4	15.1	6.7	37.7	1.7
性別	男性(512)	8.6	35.5	16.6	7.6	29.1	2.5
	女性(669)	4.6	29.9	14.2	6.0	44.2	1.0
年齢別	16～19 歳(35)	5.7	28.6	17.1	2.9	45.7	0.0
	20～29 歳(128)	3.9	26.6	12.5	8.6	48.4	0.0
	30～39 歳(276)	5.1	30.1	13.8	5.4	45.3	0.4
	40～49 歳(230)	3.5	34.8	18.3	7.8	35.7	0.0
	50～59 歳(156)	4.5	30.1	20.5	9.6	34.6	0.6
	60～69 歳(196)	10.2	36.7	14.8	6.6	28.1	3.6
	70 歳以上(178)	12.4	35.4	10.1	3.9	32.0	6.2
居住地区別	下戸田 1 地区(167)	4.2	34.1	12.6	3.6	43.7	1.8
	下戸田 2 地区(203)	6.9	29.1	18.2	9.4	35.0	1.5
	上戸田 1 地区(127)	8.7	29.1	15.0	3.1	41.7	2.4
	上戸田 2 地区(165)	3.6	33.9	18.2	11.5	31.5	1.2
	新曽地区(261)	6.1	31.8	12.6	8.0	40.2	1.1
	笹目地区(177)	5.6	32.2	15.8	4.5	39.5	2.3
	美女木地区(101)	12.9	39.6	12.9	4.0	28.7	2.0

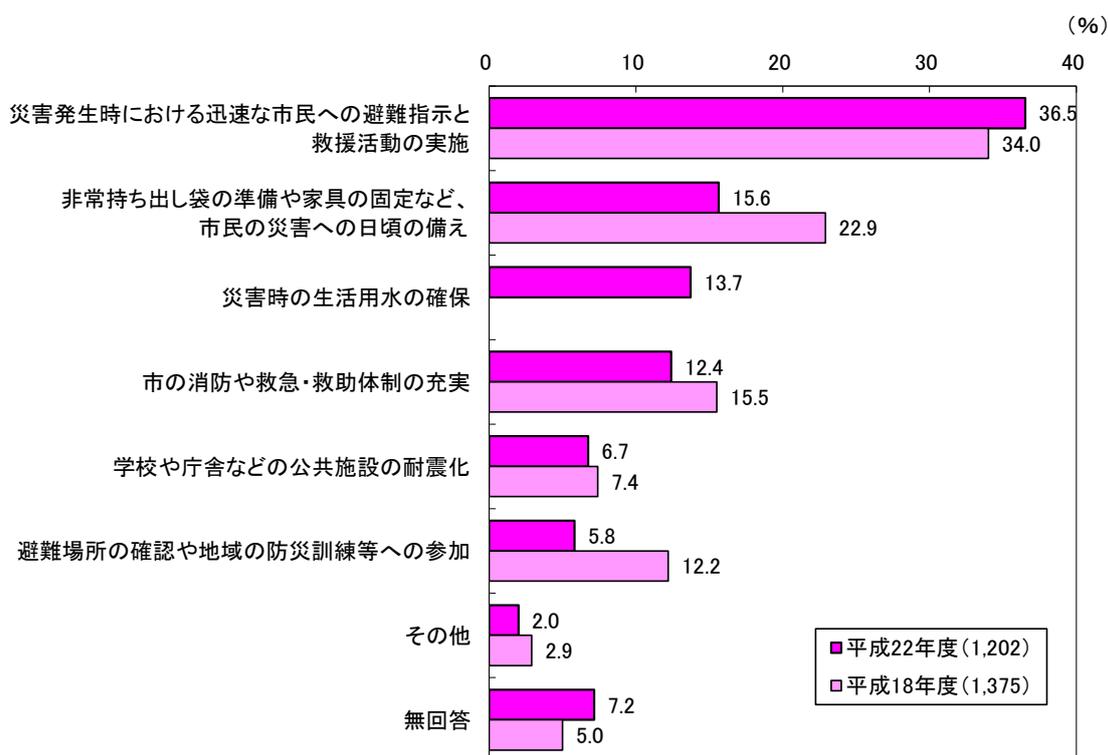
(2) 災害に対して安心なまちであるための重要な取り組み

問 25 災害に対して安心なまちであるために、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。最も重要だと思うものを1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・災害に対して安心なまちであるために重要な取り組みとしては、「災害発生時における迅速な市民への避難指示と救援活動の実施」が 36.5%と最も多くなっています。このほか、「非常持ち出し袋の準備や家具の固定など、市民の災害への日頃の備え」が 15.6%、「災害時の生活用水の確保」が 13.7%、「市の消防や救急・救助体制の充実」が 12.4%となっています。
- ・平成 18 年度調査と比較すると、ほとんどの選択肢の割合が下回っていますが、これは平成 22 年度調査で新たに追加した選択肢「災害時の生活用水の確保」が 13.7%で上位を占めたことが影響しているものと考えられます。特に、「非常持ち出し袋の準備や家具の固定など、市民の災害への日頃の備え」は 7.3 ポイント、「避難場所の確認や地域の防災訓練等への参加」は 6.4 ポイント、それぞれ平成 18 年度調査を下回っています。

図表 60 災害に対して安心なまちであるための重要な取り組み(全体)



(注) 平成 18 年度調査は選択肢「防災計画やマニュアルを作成し、迅速な市民への避難指示と救援活動の実施」であった。また「災害時の生活用水の確保」は含まれていない。

【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳は「非常持ち出し袋の準備や家具の固定など、市民の災害への日頃の備え」が最も多く、一方、20歳以上は「災害発生時における迅速な市民への避難指示と救援活動の実施」が最も多くなっています。

図表 61 災害に対して安心なまちであるための重要な取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		避難指示と救援活動の実施	非常持ち出し袋の準備や家具の固定など、市民の災害への日頃の備え	災害時の生活用水の確保	市の消防や救急・救助体制の充実	学校や庁舎などの公共施設の耐震化	避難場所の確認や地域の防災訓練等への参加	その他	無回答
全体(1,202)		36.5	15.6	13.7	12.4	6.7	5.8	2.0	7.2
性別	男性(512)	32.6	13.5	13.9	15.6	7.0	7.6	2.5	7.2
	女性(669)	39.5	17.3	13.5	10.3	6.7	4.5	1.5	6.7
年齢別	16～19歳(35)	17.1	37.1	14.3	5.7	5.7	11.4	5.7	2.9
	20～29歳(128)	31.3	21.1	15.6	8.6	8.6	8.6	1.6	4.7
	30～39歳(276)	29.7	18.5	14.1	15.2	9.1	6.2	2.2	5.1
	40～49歳(230)	37.4	12.2	16.5	10.0	10.0	7.8	1.7	4.3
	50～59歳(156)	44.9	9.6	7.7	19.2	5.1	3.2	2.6	7.7
	60～69歳(196)	46.9	12.2	11.2	11.7	3.6	3.6	2.6	8.2
	70歳以上(178)	35.4	16.3	15.7	10.1	2.8	3.9	0.6	15.2
居住地区別	下戸田1地区(167)	37.7	15.6	11.4	10.2	10.2	5.4	1.8	7.8
	下戸田2地区(203)	34.0	17.2	11.8	14.3	4.4	5.9	3.4	8.9
	上戸田1地区(127)	37.8	16.5	13.4	10.2	7.9	5.5	0.8	7.9
	上戸田2地区(165)	33.3	14.5	12.7	13.9	11.5	3.0	1.8	9.1
	新曽地区(261)	35.6	14.9	16.5	12.3	5.4	7.7	1.9	5.7
	笹目地区(177)	41.8	11.9	16.4	11.3	4.0	7.3	1.7	5.6
	美女木地区(101)	36.6	21.8	11.9	14.9	5.0	4.0	2.0	4.0

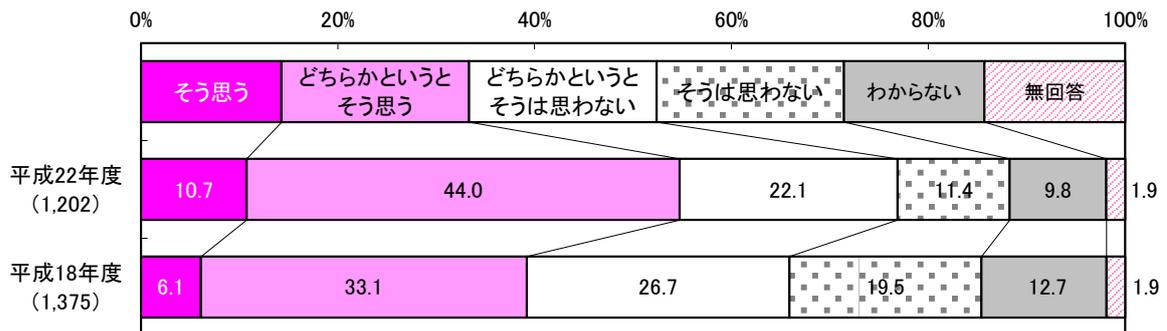
(3) 戸田市は治安がよいまちだと思うか

問 26 あなたは、戸田市は治安がよいまちだと思いますか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・治安がよいまちかどうかについては、「そう思う」(10.7%)と「どちらかというと思う」(44.0%)を合わせた肯定的な意見が54.7%となっています。
- ・平成18年度調査と比較すると、肯定的な意見が15.5ポイントも増加しています。

図表 62 戸田市は治安がよいまちだと思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、60歳以上は、市の治安に対する肯定的な意見が、否定的な意見を30ポイント以上も上回っています。50歳代以下は、肯定的な意見と否定的な意見にそれほど大きな差異がみられません。
- ・居住地区別にみると、ほとんどの地区で肯定的な意見が多くなっていますが、笹目地区については、肯定的な意見と否定的な意見が同じ割合となっています。

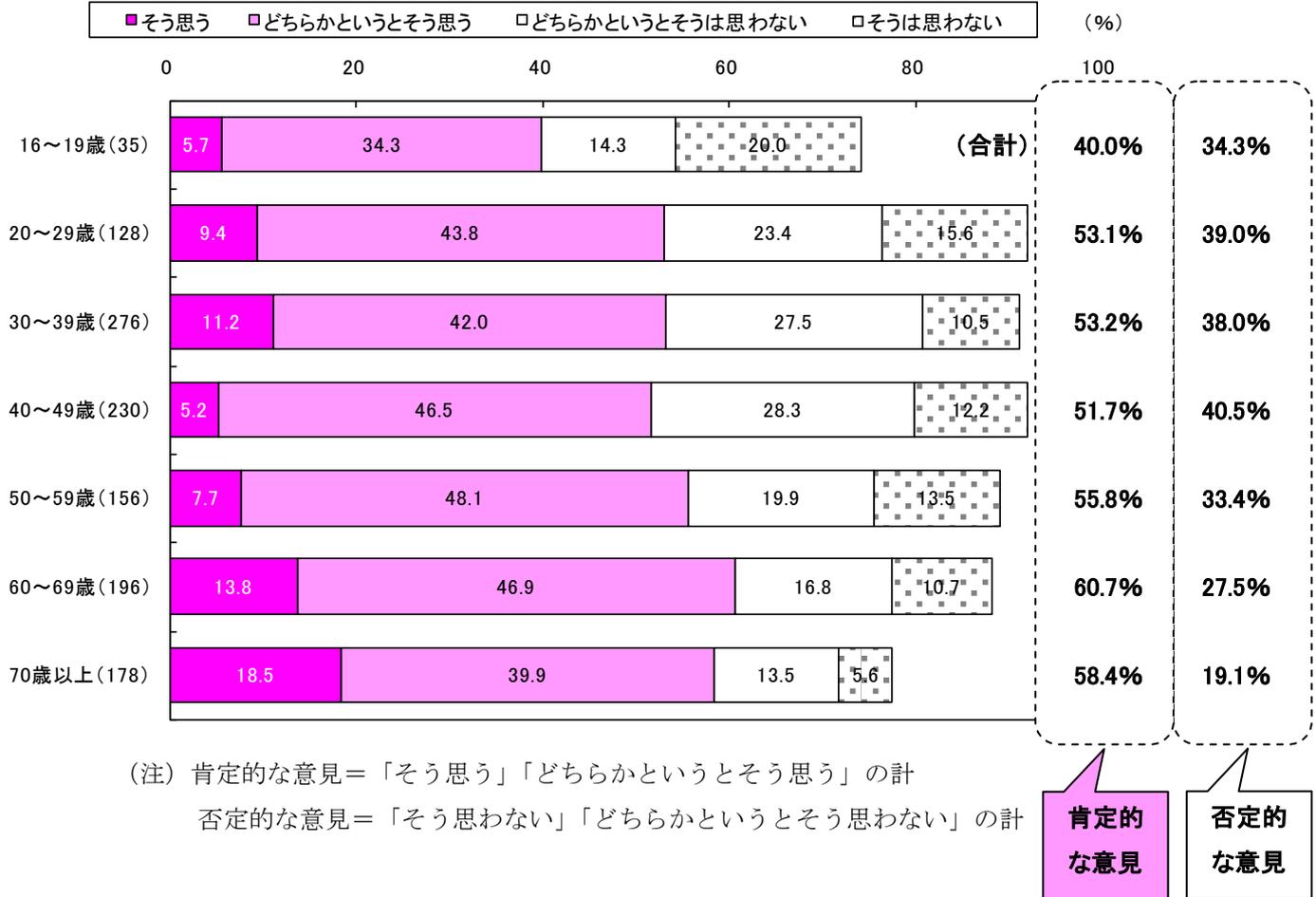
図表 63 戸田市は治安がよいまちだと思うか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体(1,202)		10.7	44.0	22.1	11.4	9.8	1.9
性別	男性(512)	12.1	43.9	21.9	11.1	8.2	2.7
	女性(669)	9.6	44.7	22.3	11.8	10.5	1.2
年齢別	16～19歳(35)	5.7	34.3	14.3	20.0	25.7	0.0
	20～29歳(128)	9.4	43.8	23.4	15.6	7.8	0.0
	30～39歳(276)	11.2	42.0	27.5	10.5	8.3	0.4
	40～49歳(230)	5.2	46.5	28.3	12.2	6.5	1.3
	50～59歳(156)	7.7	48.1	19.9	13.5	9.0	1.9
	60～69歳(196)	13.8	46.9	16.8	10.7	9.2	2.6
	70歳以上(178)	18.5	39.9	13.5	5.6	16.3	6.2
居住地区別	下戸田1地区(167)	13.2	44.3	15.0	11.4	13.8	2.4
	下戸田2地区(203)	9.9	46.8	20.7	8.4	11.8	2.5
	上戸田1地区(127)	8.7	41.7	27.6	11.8	8.7	1.6
	上戸田2地区(165)	11.5	57.0	15.2	7.9	6.1	2.4
	新曽地区(261)	10.3	41.4	24.9	13.8	8.0	1.5
	笹目地区(177)	9.0	36.2	30.5	14.7	7.9	1.7
	美女木地区(101)	12.9	40.6	19.8	10.9	14.9	1.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- ・年齢別にみると、60歳以上は、市の治安に対する肯定的な意見の方が多くなっており、50歳代以下は、市の治安に対する肯定的な意見と否定的な意見にそれほど大きな差異がなく、年代による意識の違いがみられます。

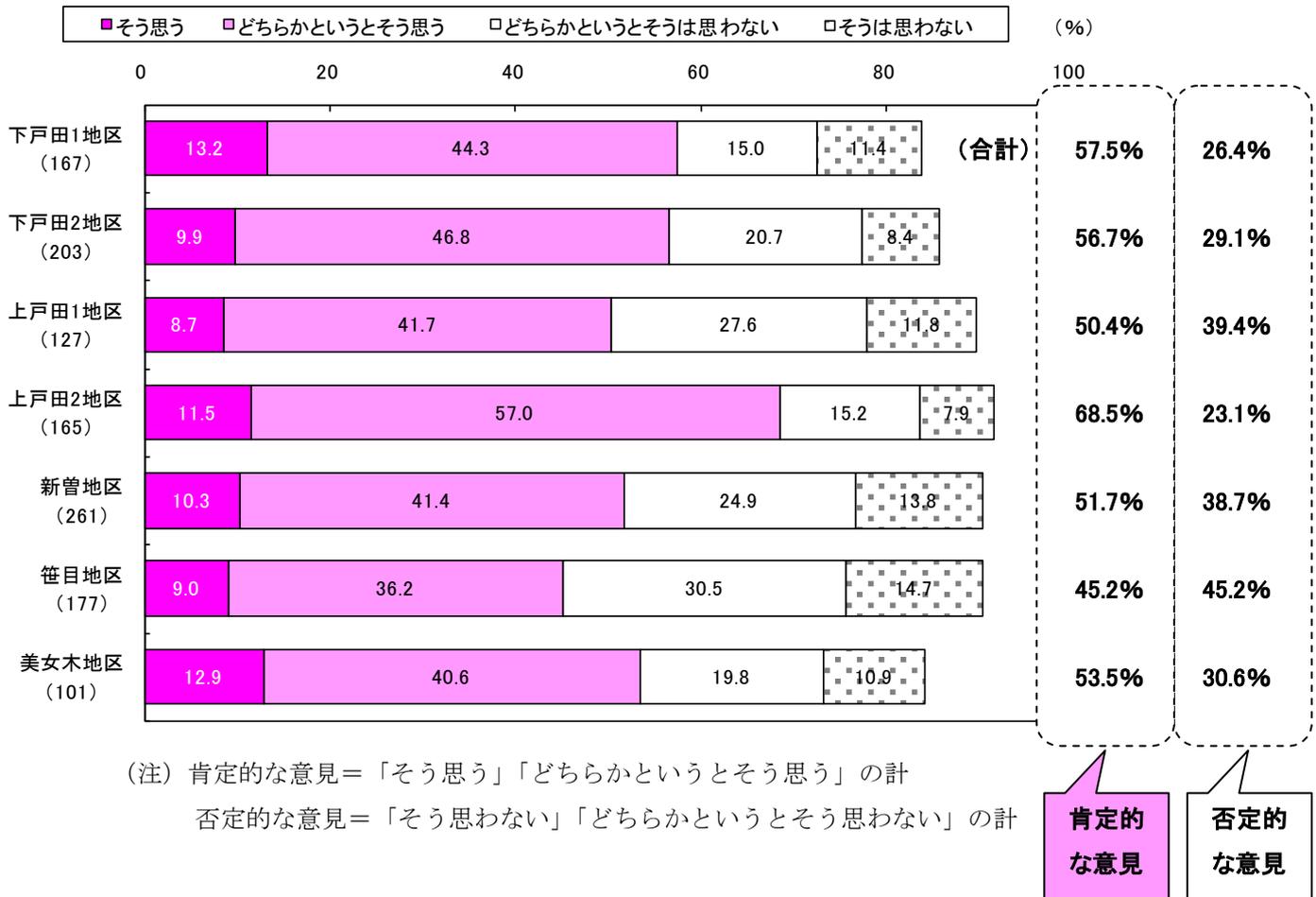
図表 64 戸田市は治安がよいまちだと思うか(年齢別)



【属性別の注目すべき回答傾向（つづき）】

- ・居住地区別にみると、笹目地区は、市の治安に対する肯定的な意見と否定的な意見が同じ割合となっています。

図表 65 戸田市は治安がよいまちだと思うか(居住地区別)



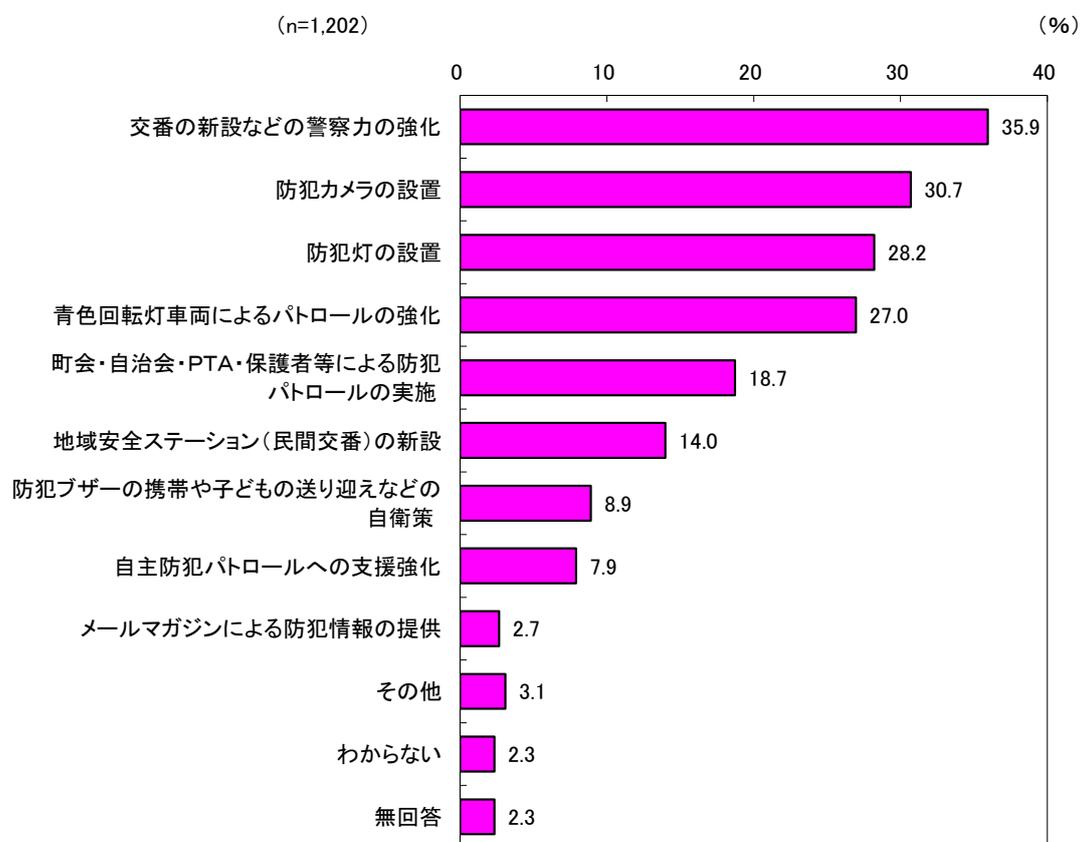
(4) 犯罪にあわない安全なまちづくりのための取り組み

問 27 犯罪にあわない安全なまちづくりを進めるために、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。2つまで選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・犯罪にあわない安全なまちづくりを進めるために重要なこととしては、「交番の新設などの警察力の強化」が35.9%と最も多く、次いで「防犯カメラの設置」が30.7%、「防犯灯の設置」が28.2%、「青色回転灯車両によるパトロールの強化」が27.0%となっています。

図表 66 犯罪にあわない安全なまちづくりのための取り組み(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「交番の新設などの警察力の強化」が女性に比べ 10.8 ポイント多く、一方、女性は「青色回転灯車両によるパトロールの強化」が男性に比べ 5.1 ポイント多くなっています。

図表 67 犯罪にあわない安全なまちづくりのための取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		交番の新設などの警察力の強化	防犯カメラの設置	防犯灯の設置	青色回転灯車両によるパトロールの強化	町会・自治会・PTA・保護者等による防犯パトロールの実施	地域安全ステーション(民間交番)の新設	迎えなどの自衛策	防犯ブザーの携帯や子どもの送り迎えなどの自衛策	自主防犯パトロールへの支援強化	メールマガジンによる防犯情報の提供	その他	わからない	無回答
全体(1,202)		35.9	30.7	28.2	27.0	18.7	14.0	8.9	7.9	2.7	3.1	2.3	2.3	
性別	男性(512)	42.0	31.8	26.2	24.2	20.9	12.7	6.6	9.2	2.5	3.3	1.4	2.7	
	女性(669)	31.2	29.7	30.3	29.3	17.2	15.2	10.8	7.0	2.8	2.8	2.5	1.8	
年齢別	16～19 歳(35)	34.3	31.4	34.3	20.0	20.0	11.4	17.1	8.6	5.7	2.9	0.0	0.0	
	20～29 歳(128)	25.8	27.3	27.3	28.1	22.7	18.8	17.2	5.5	5.5	5.5	2.3	1.6	
	30～39 歳(276)	36.2	31.2	25.4	30.1	14.9	15.6	11.2	9.1	5.4	2.9	2.2	0.7	
	40～49 歳(230)	37.4	34.3	33.9	29.1	19.1	11.7	5.2	6.5	2.6	3.9	0.9	1.7	
	50～59 歳(156)	36.5	30.8	26.9	29.5	16.7	21.2	5.1	10.9	0.0	5.1	0.6	1.9	
	60～69 歳(196)	38.3	30.1	27.6	25.5	23.0	9.7	6.1	6.6	1.0	2.0	2.0	3.6	
	70 歳以上(178)	37.6	28.1	27.0	18.5	18.5	10.1	9.0	8.4	0.0	0.0	6.7	5.6	
居住地区別	下戸田 1 地区(167)	33.5	29.3	25.7	22.8	25.1	11.4	13.8	6.0	3.0	3.6	3.0	1.2	
	下戸田 2 地区(203)	36.5	36.5	21.2	27.1	17.2	13.8	7.9	10.8	2.5	3.0	3.0	2.0	
	上戸田 1 地区(127)	38.6	29.1	29.9	21.3	16.5	15.7	9.4	7.9	2.4	3.1	1.6	3.1	
	上戸田 2 地区(165)	32.1	26.7	28.5	32.7	21.8	16.4	4.8	6.7	4.8	3.6	4.2	1.8	
	新曽地区(261)	36.8	31.8	32.6	27.2	18.0	12.3	10.0	8.4	2.3	1.9	1.1	1.9	
	笹目地区(177)	37.9	30.5	31.1	29.4	12.4	16.9	8.5	6.8	1.7	3.4	2.3	2.3	
	美女木地区(101)	36.6	27.7	27.7	26.7	21.8	11.9	6.9	7.9	2.0	4.0	1.0	5.0	

8. 地域コミュニティ

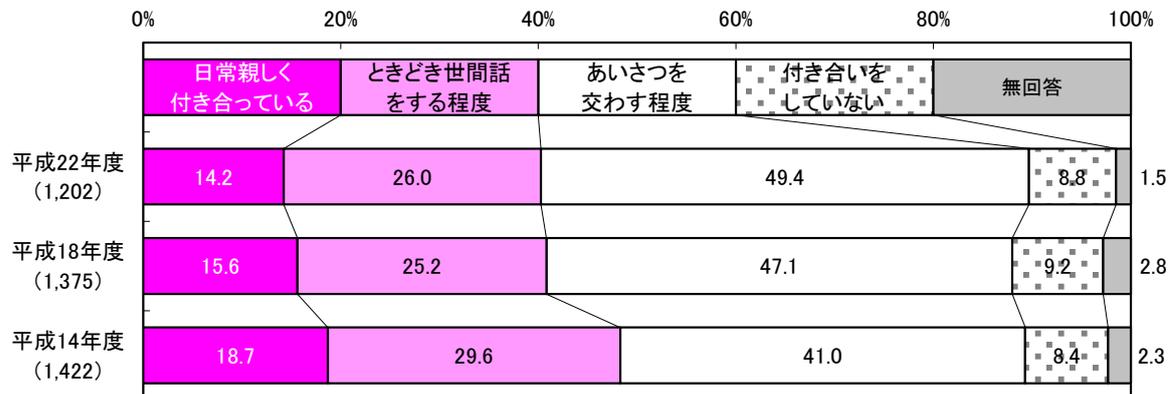
(1) 近所付き合いの程度

問 28 あなたは、近隣の方たちとどの程度お付き合いをしていますか。1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「あいさつを交わす程度」が49.4%と最も多く、次いで「ときどき世間話をする程度」が26.0%、「日常親しく付き合っている」が14.2%となっています。「あいさつを交わす程度」と「付き合いをしていない」を合わせると58.2%で、半数以上の市民がほとんど近所付き合いをしていないことがうかがえます。
- ・これまでの推移をみると、「あいさつを交わす程度」または「付き合いをしていない」という近所付き合いをしていない人が増えています。

図表 68 近所づきあいの程度(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男女ともに「あいさつを交わす程度」が約半数で最も多くなっていますが、男性に比べて女性は「日常親しく付き合っている」や「ときどき世間話をする程度」が多いのが特徴です。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるほど「日常親しく付き合っている」または「ときどき世間話をする程度」という近所付き合いをしている人が多くなっています。
- ・居住地区別にみると、すべての地区で「あいさつを交わす程度」が最も多くなっていますが、美女木地区では「日常親しく付き合っている」「ときどき世間話をする程度」の合計が49.5%で半数近くに達しており、他の地区に比べ多くなっています。

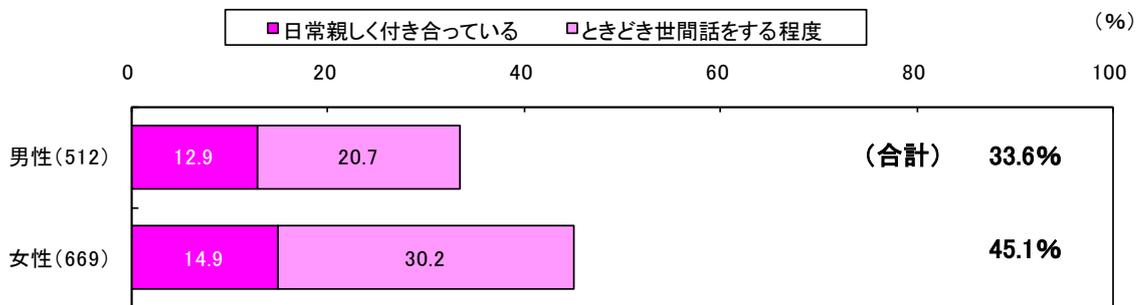
図表 69 近所づきあいの程度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		日常親しく付き合っている	ときどき世間話をする程度	あいさつを交わす程度	付き合いをしていない	無回答
全体(1,202)		14.2	26.0	49.4	8.8	1.5
性別	男性(512)	12.9	20.7	54.3	10.7	1.4
	女性(669)	14.9	30.2	45.9	7.3	1.6
年齢別	16～19歳(35)	8.6	11.4	74.3	5.7	0.0
	20～29歳(128)	4.7	10.2	63.3	21.9	0.0
	30～39歳(276)	10.5	27.5	51.8	10.1	0.0
	40～49歳(230)	11.3	27.4	53.5	6.5	1.3
	50～59歳(156)	10.3	25.6	52.6	10.9	0.6
	60～69歳(196)	17.3	34.7	40.3	4.1	3.6
	70歳以上(178)	31.5	27.0	33.1	4.5	3.9
居住地区別	下戸田1地区(167)	10.8	22.8	53.3	10.8	2.4
	下戸田2地区(203)	13.3	25.1	50.2	9.9	1.5
	上戸田1地区(127)	12.6	23.6	52.8	9.4	1.6
	上戸田2地区(165)	13.9	30.9	47.9	6.1	1.2
	新曽地区(261)	14.2	25.3	51.0	8.8	0.8
	笹目地区(177)	16.9	26.6	48.0	7.3	1.1
	美女木地区(101)	19.8	29.7	37.6	9.9	3.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

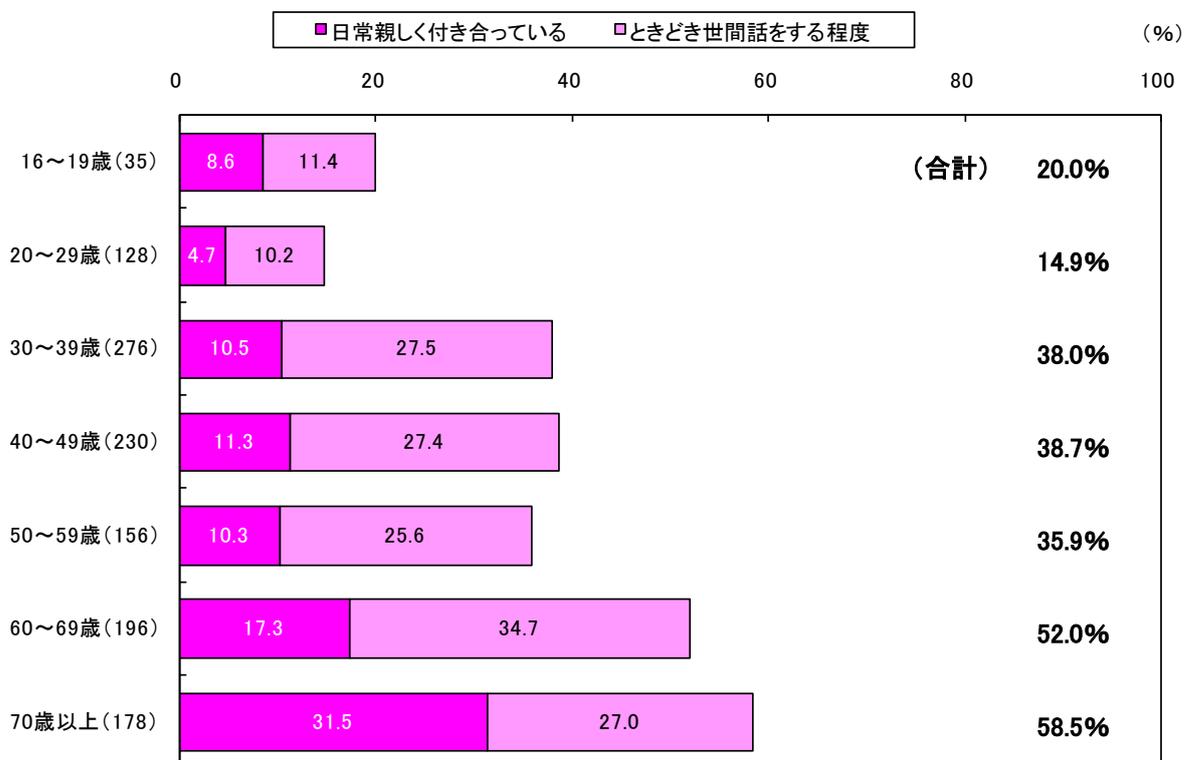
- ・性別にみると、女性の方が近所づきあいを頻繁にしていることがうかがえます。

図表 70 「日常親しく付き合っている」と「ときどき世間話をする程度」の割合とその合計(性別)



- ・年齢別にみると、年齢が高い人ほど近所づきあいを頻繁にしていることがうかがえます。

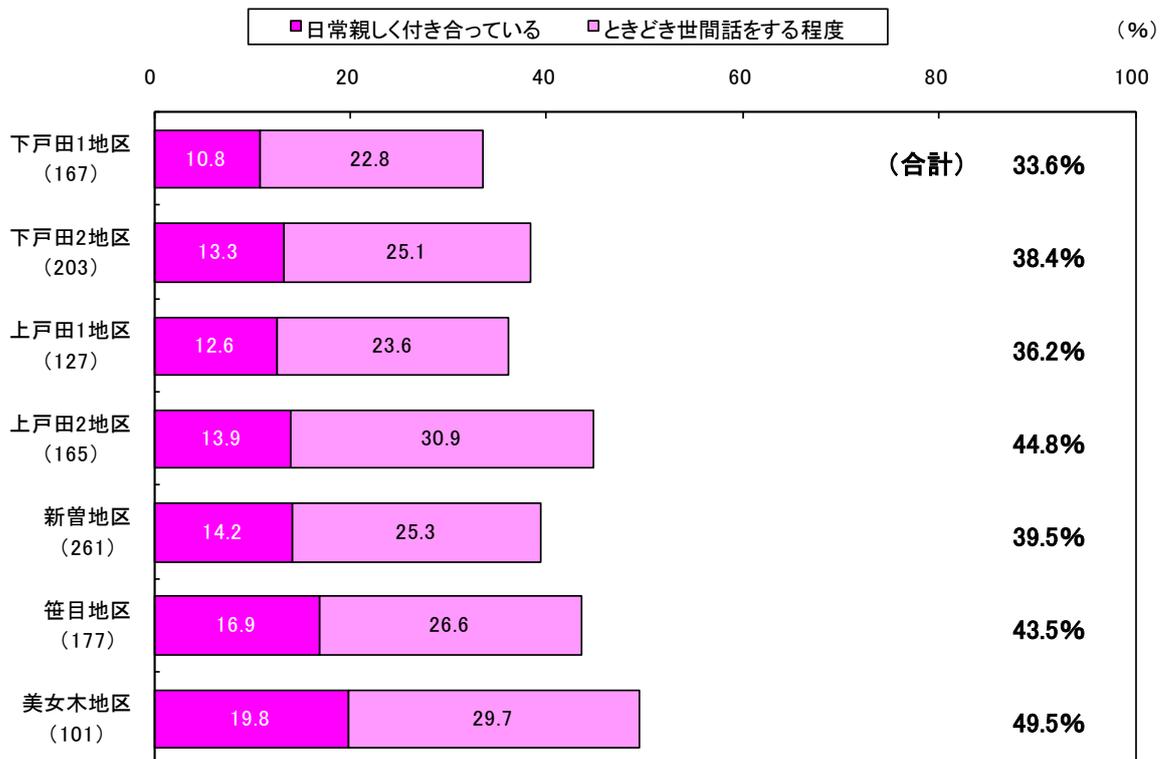
図表 71 「日常親しく付き合っている」と「ときどき世間話をする程度」の割合とその合計(年齢別)



【属性別の注目すべき回答傾向（つづき）】

- ・居住地区別にみると、美女木地区では約 50%となっており、最も近所づきあいを頻繁にしていることがうかがえます。

図表 72 「日常親しく付き合っている」と「ときどき世間話をする程度」の割合とその合計(居住地区別)



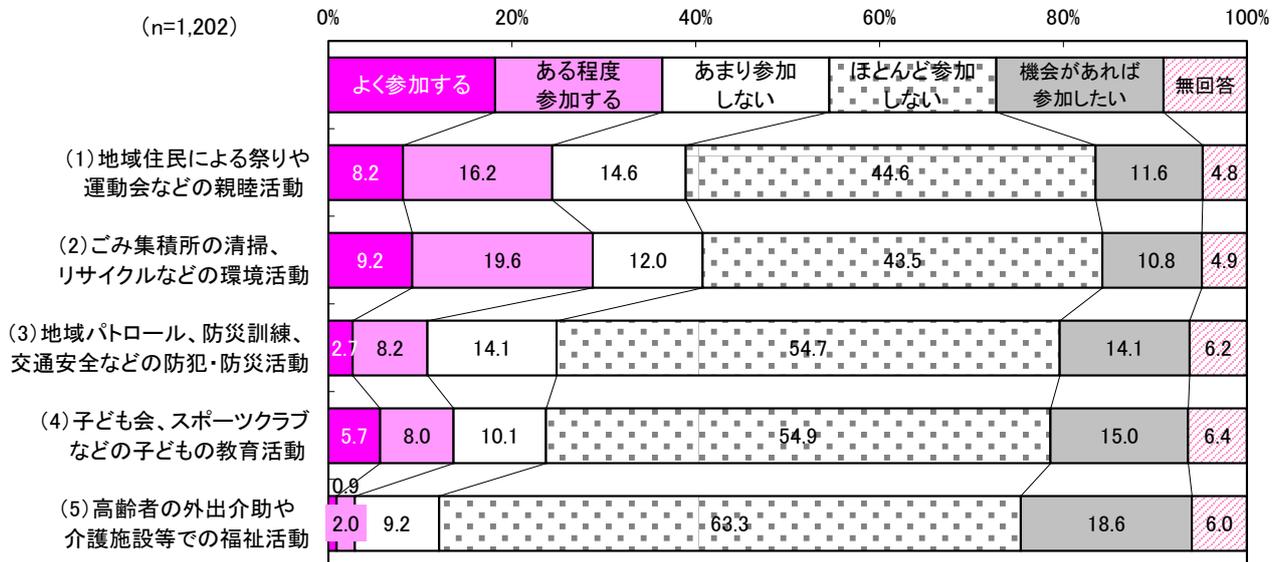
(2) 地域行事活動への参加

問 29 あなたは、地域での行事や活動に、日頃どの程度参加していますか。地域活動の内容ごとに、右の参加状況について1～5の該当する番号に1つだけ○をつけてください。

【全体の回答傾向】

- ・地域の行事や活動への参加状況について、参加割合が比較的高い行事・活動は「(2)ごみ集積所の清掃、リサイクルなどの環境活動」が28.8%と最も多く、次いで「(1)地域住民による祭りや運動会などの親睦活動」が24.4%となっています。
- ・一方、「(5)高齢者の外出介助や介護施設等での福祉活動」は参加割合が2.9%と最も低くなっています。

図表 73 地域行事活動への参加状況(全体)



【属性別の回答傾向】

(1) 地域住民による祭りや運動会などの親睦活動

- ・性別にみると、女性は男性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代の参加割合が他の年代に比べ低くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区・美女木地区は参加割合が他の地区に比べ高くなっています。

図表 74 地域行事活動への参加状況(1)地域住民による祭りや運動会などの親睦活動
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		よく参加する	ある程度参加する	あまり参加しない	ほとんど参加しない	機会があれば参加したい	無回答
全体(1,202)		8.2	16.2	14.6	44.6	11.6	4.8
性別	男性(512)	7.4	14.5	14.6	46.1	12.9	4.5
	女性(669)	8.8	17.3	14.5	43.8	10.6	4.9
年齢別	16～19歳(35)	5.7	17.1	17.1	37.1	22.9	0.0
	20～29歳(128)	3.1	10.2	7.8	57.0	20.3	1.6
	30～39歳(276)	10.1	17.4	10.5	44.2	17.8	0.0
	40～49歳(230)	6.5	18.7	18.3	48.7	6.1	1.7
	50～59歳(156)	5.1	14.1	19.9	46.8	11.5	2.6
	60～69歳(196)	9.2	18.9	14.3	41.8	8.2	7.7
	70歳以上(178)	12.9	14.0	15.7	33.7	5.1	18.5
居住地区別	下戸田1地区(167)	10.8	12.6	17.4	41.3	11.4	6.6
	下戸田2地区(203)	4.4	15.3	16.7	47.3	11.3	4.9
	上戸田1地区(127)	3.9	16.5	14.2	47.2	13.4	4.7
	上戸田2地区(165)	5.5	15.8	15.8	41.2	17.0	4.8
	新曽地区(261)	6.5	14.6	14.2	49.4	10.7	4.6
	笹目地区(177)	13.0	22.6	11.3	41.2	8.5	3.4
	美女木地区(101)	16.8	17.8	10.9	40.6	9.9	4.0

(2) ごみ集積所の清掃、リサイクルなどの環境活動

- ・性別にみると、女性は男性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、特に、美女木地区は参加割合が他の地区に比べ高くなっています。

図表 75 地域行事活動への参加状況(2)ごみ集積所の清掃、リサイクルなどの環境活動
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		よく参加する	ある程度参加する	あまり参加しない	ほとんど参加しない	機会があれば参加したい	無回答
全体(1,202)		9.2	19.6	12.0	43.5	10.8	4.9
性別	男性(512)	8.0	16.2	12.7	47.9	10.7	4.5
	女性(669)	10.0	22.6	11.4	40.5	10.9	4.6
年齢別	16～19歳(35)	0.0	8.6	14.3	48.6	28.6	0.0
	20～29歳(128)	1.6	6.3	4.7	65.6	20.3	1.6
	30～39歳(276)	4.0	13.8	10.9	57.2	14.1	0.0
	40～49歳(230)	6.5	19.6	19.1	45.2	8.3	1.3
	50～59歳(156)	8.3	25.6	12.2	41.0	10.9	1.9
	60～69歳(196)	16.3	29.1	11.2	29.6	6.1	7.7
	70歳以上(178)	20.8	25.3	9.6	20.2	3.9	20.2
居住地区別	下戸田1地区(167)	6.6	19.8	14.4	40.7	10.8	7.8
	下戸田2地区(203)	6.9	14.8	13.8	48.8	10.8	4.9
	上戸田1地区(127)	5.5	14.2	6.3	50.4	17.3	6.3
	上戸田2地区(165)	6.1	15.2	13.9	46.1	13.9	4.8
	新曽地区(261)	8.8	19.9	10.3	46.7	10.7	3.4
	笹目地区(177)	16.9	24.3	11.9	37.9	6.2	2.8
	美女木地区(101)	14.9	34.7	12.9	26.7	5.9	5.0

(3) 地域パトロール、防災訓練、交通安全などの防犯・防災活動

・性別、年齢別、居住地区別いずれの属性においても、全体の回答傾向と大きな差異はありません。

図表 76 地域行事活動への参加状況(3)地域パトロール、防災訓練、交通安全などの防犯防災活動
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		よく参加する	ある程度参加する	あまり参加しない	ほとんど参加しない	機会があれば参加したい	無回答
全体(1,202)		2.7	8.2	14.1	54.7	14.1	6.2
性別	男性(512)	3.5	6.6	13.1	55.7	15.2	5.9
	女性(669)	1.9	9.6	14.9	54.4	13.3	5.8
年齢別	16～19歳(35)	0.0	2.9	11.4	62.9	22.9	0.0
	20～29歳(128)	0.8	1.6	7.0	72.7	15.6	2.3
	30～39歳(276)	0.7	6.9	10.5	64.1	17.8	0.0
	40～49歳(230)	2.2	12.6	18.3	54.3	10.9	1.7
	50～59歳(156)	2.6	9.0	15.4	54.5	14.1	4.5
	60～69歳(196)	3.6	10.2	17.9	43.9	14.8	9.7
	70歳以上(178)	7.3	7.3	14.0	38.2	9.6	23.6
居住地区別	下戸田1地区(167)	1.2	12.6	16.8	48.5	12.6	8.4
	下戸田2地区(203)	3.0	4.9	16.7	54.2	12.8	8.4
	上戸田1地区(127)	0.8	5.5	11.8	59.8	15.0	7.1
	上戸田2地区(165)	1.8	8.5	12.7	53.9	17.6	5.5
	新曽地区(261)	1.9	7.3	13.4	59.0	13.0	5.4
	笹目地区(177)	5.1	8.5	12.4	53.7	16.4	4.0
	美女木地区(101)	5.9	11.9	13.9	52.5	11.9	4.0

(4) 子ども会、スポーツクラブなどの子どもの教育活動

- ・性別にみると、大きな差異はありません。
- ・年齢別にみると、40歳代の参加割合が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、大きな差異はありません。

図表 77 地域行事活動への参加状況(4)子ども会、スポーツクラブなどの子どもの教育活動
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		よく参加する	ある程度参加する	あまり参加しない	ほとんど参加しない	機会があれば参加したい	無回答
全体(1,202)		5.7	8.0	10.1	54.9	15.0	6.4
性別	男性(512)	4.3	7.2	10.5	57.0	15.6	5.3
	女性(669)	6.9	8.8	9.6	53.7	14.3	6.7
年齢別	16～19歳(35)	2.9	0.0	11.4	57.1	28.6	0.0
	20～29歳(128)	2.3	2.3	3.1	68.8	21.1	2.3
	30～39歳(276)	10.1	7.6	5.1	50.7	26.4	0.0
	40～49歳(230)	10.4	19.6	12.6	47.8	8.7	0.9
	50～59歳(156)	3.2	7.1	12.8	63.5	9.6	3.8
	60～69歳(196)	2.0	4.1	14.3	62.2	7.7	9.7
	70歳以上(178)	1.7	4.5	11.8	44.9	10.7	26.4
居住地区別	下戸田1地区(167)	5.4	6.6	12.6	51.5	15.0	9.0
	下戸田2地区(203)	3.4	4.9	12.8	56.7	14.3	7.9
	上戸田1地区(127)	3.1	6.3	11.8	49.6	21.3	7.9
	上戸田2地区(165)	6.1	10.9	5.5	57.6	14.5	5.5
	新曽地区(261)	6.9	8.0	10.0	56.7	13.4	5.0
	笹目地区(177)	5.6	11.9	7.9	54.8	15.3	4.5
	美女木地区(101)	9.9	6.9	9.9	55.4	12.9	5.0

(5) 高齢者の外出介助や介護施設等での福祉活動

- ・性別にみると、大きな差異はありません。
- ・年齢別にみると、すべての年代で参加割合が低くなっています。
- ・居住地区別にみると、大きな差異はありません。

図表 78 地域行事活動への参加状況(5)高齢者の外出介助や介護施設等での福祉活動
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		よく参加する	ある程度参加する	あまり参加しない	ほとんど参加しない	機会があれば参加したい	無回答
全体(1,202)		0.9	2.0	9.2	63.3	18.6	6.0
性別	男性(512)	0.8	2.7	9.0	66.2	16.2	5.1
	女性(669)	1.0	1.5	9.1	61.9	20.3	6.1
年齢別	16～19歳(35)	0.0	2.9	8.6	60.0	28.6	0.0
	20～29歳(128)	0.0	0.8	5.5	68.8	22.7	2.3
	30～39歳(276)	0.0	0.7	5.1	73.2	21.0	0.0
	40～49歳(230)	1.7	1.3	9.6	67.4	18.7	1.3
	50～59歳(156)	0.0	3.8	9.6	64.7	19.2	2.6
	60～69歳(196)	2.0	2.0	13.8	58.2	15.8	8.2
	70歳以上(178)	1.7	3.9	11.8	43.8	12.9	25.8
居住地区別	下戸田1地区(167)	1.8	3.6	8.4	58.1	19.2	9.0
	下戸田2地区(203)	0.5	1.5	10.3	60.6	20.7	6.4
	上戸田1地区(127)	0.8	3.9	8.7	58.3	20.5	7.9
	上戸田2地区(165)	0.6	0.0	6.1	65.5	23.0	4.8
	新曽地区(261)	1.1	0.8	10.0	67.4	15.3	5.4
	笹目地区(177)	0.0	4.0	10.2	66.1	16.4	3.4
	美女木地区(101)	2.0	1.0	9.9	65.3	16.8	5.0

9. スポーツをする機会

(1) スポーツ・レクリエーション活動をする機会

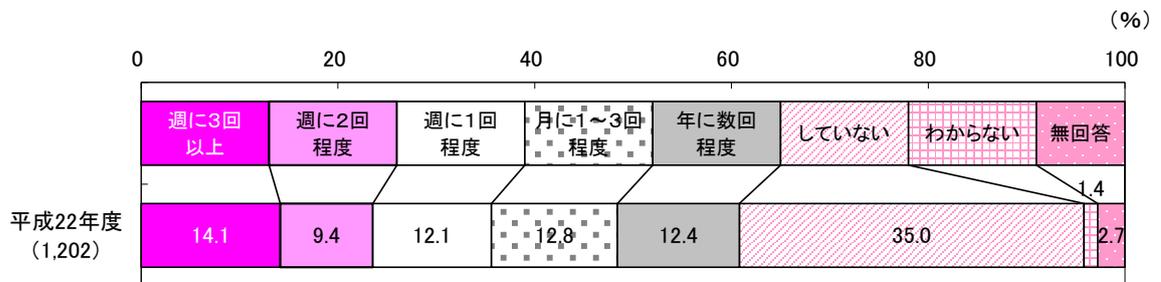
問 30 戸田市では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。

あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。(ウォーキング、サイクリング、軽い体操、レクリエーション活動も含めます。) 1つだけ選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・スポーツ・レクリエーション活動をする機会について、過去1年間にスポーツを「していない」が35.0%となっています。一方、何らかのスポーツをした人(「していない」「わからない」「無回答」以外の合計)は60.8%に達しており、頻度としては、年数回程度から週3回以上までが同程度となっています。

図表 79 スポーツ・レクリエーション活動をする機会(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性はスポーツを「していない」割合が男性に比べ約 10 ポイント上回っています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれてスポーツを「していない」割合が高くなっています。

図表 80 スポーツ・レクリエーション活動をする機会(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1〜3回程度	年に数回程度	していない	わからない	無回答
全体(1,202)		14.1	9.4	12.1	12.8	12.4	35.0	1.4	2.7
性別	男性(512)	13.9	12.3	14.3	13.9	13.3	28.9	1.6	2.0
	女性(669)	13.9	7.3	10.8	12.1	12.0	39.3	1.3	3.3
年齢別	16〜19歳(35)	31.4	22.9	11.4	5.7	2.9	17.1	8.6	0.0
	20〜29歳(128)	11.7	4.7	17.2	20.3	15.6	27.3	2.3	0.8
	30〜39歳(276)	8.3	8.0	14.5	17.4	17.8	30.8	2.5	0.7
	40〜49歳(230)	11.7	13.5	12.2	13.5	14.8	33.0	0.0	1.3
	50〜59歳(156)	15.4	7.7	12.2	12.2	14.1	36.5	0.6	1.3
	60〜69歳(196)	18.9	9.7	10.2	9.7	6.1	40.3	0.5	4.6
	70歳以上(178)	18.0	8.4	6.7	5.1	5.6	46.1	1.1	9.0
居住地区別	下戸田1地区(167)	15.6	9.6	10.8	12.0	8.4	38.9	1.8	3.0
	下戸田2地区(203)	16.7	9.9	10.3	9.4	13.3	34.5	1.5	4.4
	上戸田1地区(127)	9.4	8.7	8.7	14.2	15.0	35.4	3.9	4.7
	上戸田2地区(165)	12.7	7.3	16.4	17.6	13.9	30.9	0.0	1.2
	新曽地区(261)	14.2	11.5	13.8	12.3	12.3	32.6	1.5	1.9
	笹目地区(177)	13.0	9.6	11.3	11.9	10.2	40.7	1.1	2.3
	美女木地区(101)	16.8	5.9	11.9	14.9	15.8	32.7	0.0	2.0

(2) 今後したいスポーツ・レクリエーション活動

問 31 現在行っているスポーツ・レクリエーションも含めて、今後したいスポーツ・レクリエーション活動は何ですか。3つまで選んでください。

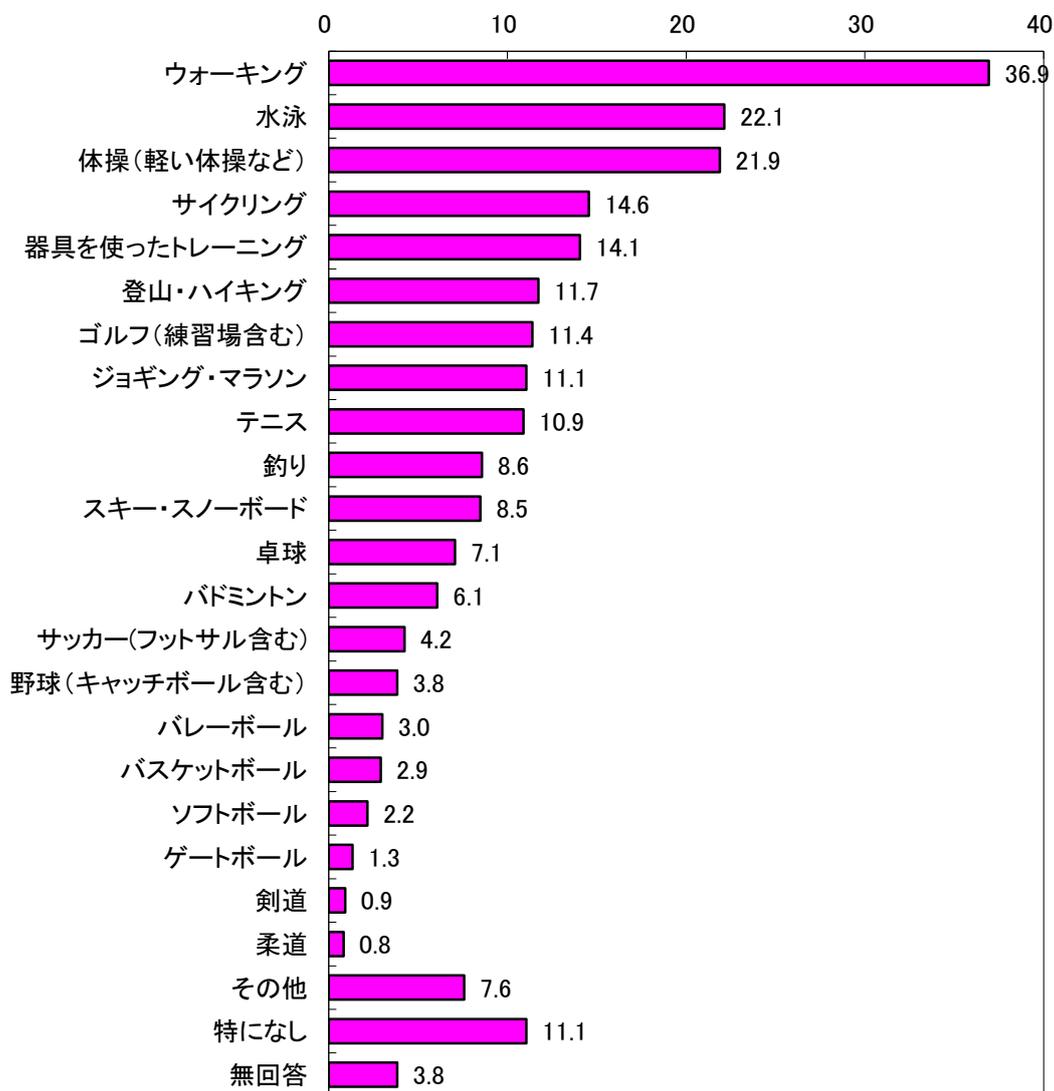
【全体の回答傾向】

- ・現在行っている、または今後行いたいスポーツ・レクリエーション活動としては、「ウォーキング」が36.9%と最も多くなっています。次いで「水泳」が22.1%、「体操（軽い体操など）」が21.9%となっています。

図表 81 今後したいスポーツ・レクリエーション活動(全体)

(n=1,202)【複数回答】

(%)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男女ともに「ウォーキング」が第1位となっています。これに次いで、男性は「水泳」「ゴルフ（練習場含む）」となっており、一方、女性は「体操（軽い体操など）」「水泳」となっています。
- ・年齢別にみると、すべての年代で「ウォーキング」が上位に入っています。

図表 82-1 今後したいスポーツ・レクリエーション活動（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ウォーキング	水泳	体操 (軽い体操など)	サイクリング	器具を使ったトレーニング	登山・ハイキング	ゴルフ (練習場含む)	ジョギング・マラソン	テニス	釣り	スキー・スノーボード	卓球
全体(1,202)		36.9	22.1	21.9	14.6	14.1	11.7	11.4	11.1	10.9	8.6	8.5	7.1
性別	男性(512)	33.0	19.5	13.3	16.0	12.1	12.1	17.8	15.0	10.5	15.4	10.5	7.2
	女性(669)	39.6	24.4	28.4	13.3	15.8	11.5	6.6	8.1	11.5	3.1	7.2	7.0
年齢別	16～19歳(35)	22.9	20.0	11.4	8.6	20.0	0.0	2.9	28.6	17.1	5.7	5.7	5.7
	20～29歳(128)	22.7	28.9	5.5	16.4	14.8	14.1	10.2	19.5	12.5	7.0	14.8	7.0
	30～39歳(276)	28.3	29.0	21.0	15.2	12.3	12.7	11.6	16.3	15.2	7.6	16.3	4.7
	40～49歳(230)	33.9	23.0	19.6	13.0	19.6	9.6	15.7	14.3	16.1	7.0	8.7	8.7
	50～59歳(156)	44.9	24.4	25.0	17.3	17.9	13.5	11.5	7.1	12.8	11.5	7.7	7.1
	60～69歳(196)	53.6	17.9	29.6	17.3	10.7	16.3	10.2	2.6	4.1	9.7	2.0	9.2
	70歳以上(178)	42.1	8.4	29.2	10.1	8.4	6.7	9.6	2.2	1.1	10.1	0.0	6.2
居住地区別	下戸田1地区(167)	29.3	19.8	23.4	12.0	15.6	12.6	10.2	10.2	9.6	8.4	9.6	4.8
	下戸田2地区(203)	38.4	21.2	21.2	15.3	15.8	11.3	14.8	7.4	7.4	9.4	3.9	7.9
	上戸田1地区(127)	29.1	31.5	19.7	12.6	11.8	10.2	14.2	13.4	11.0	6.3	8.7	9.4
	上戸田2地区(165)	36.4	20.6	27.3	11.5	10.9	12.1	13.3	12.7	13.3	7.9	11.5	4.2
	新曽地区(261)	38.3	24.1	21.5	16.5	16.1	10.0	9.2	14.9	13.8	6.5	9.6	5.0
	笹目地区(177)	44.1	20.3	19.8	15.8	15.3	12.4	10.7	6.8	10.7	13.0	7.3	10.2
	美女木地区(101)	41.6	16.8	19.8	17.8	8.9	15.8	6.9	10.9	8.9	8.9	9.9	10.9

図表 82-2 今後したいスポーツ・レクリエーション活動(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		バドミントン	サッカー(フットサル含む)	野球(キャッチボール含む)	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ゲートボール	剣道	柔道	その他	特になし	無回答
全体(1,202)		6.1	4.2	3.8	3.0	2.9	2.2	1.3	0.9	0.8	7.6	11.1	3.8
性別	男性(512)	3.3	8.6	7.8	1.4	3.3	3.9	1.4	1.2	1.4	5.1	8.2	3.1
	女性(669)	8.4	1.0	0.9	4.3	2.7	0.9	1.0	0.6	0.4	9.7	13.0	4.0
年齢別	16～19歳(35)	20.0	14.3	11.4	0.0	20.0	0.0	0.0	8.6	5.7	2.9	14.3	0.0
	20～29歳(128)	14.1	12.5	7.0	10.2	10.2	3.9	0.0	2.3	0.8	7.0	9.4	0.8
	30～39歳(276)	9.8	5.1	6.5	4.3	2.5	2.5	1.1	0.7	0.4	10.1	7.2	1.4
	40～49歳(230)	5.2	5.2	3.9	3.0	3.5	3.0	0.9	0.9	1.7	9.6	6.1	2.6
	50～59歳(156)	3.8	2.6	1.9	2.6	0.0	2.6	0.0	0.6	0.0	6.4	10.3	1.3
	60～69歳(196)	1.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.0	1.5	0.0	1.0	6.1	13.3	5.6
	70歳以上(178)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	4.5	0.0	0.0	5.1	22.5	11.8
居住地区別	下戸田1地区(167)	3.6	3.0	6.0	3.0	3.0	0.6	1.2	1.2	1.8	7.2	16.8	4.2
	下戸田2地区(203)	8.9	3.9	3.4	3.0	3.9	1.5	0.5	1.0	0.5	5.4	11.3	4.4
	上戸田1地区(127)	6.3	7.9	0.8	3.1	1.6	3.1	0.8	0.8	0.0	8.7	9.4	5.5
	上戸田2地区(165)	6.7	4.2	4.2	0.6	2.4	0.6	1.2	1.2	2.4	11.5	10.3	3.6
	新曽地区(261)	6.1	6.9	2.7	3.8	2.3	2.7	1.5	0.8	0.4	6.9	9.2	2.7
	笹目地区(177)	4.0	1.1	5.1	4.0	3.4	3.4	1.7	1.1	0.6	6.2	10.7	2.8
	美女木地区(101)	6.9	1.0	5.0	3.0	4.0	4.0	3.0	0.0	0.0	8.9	9.9	5.0

10. まちづくりの重点施策

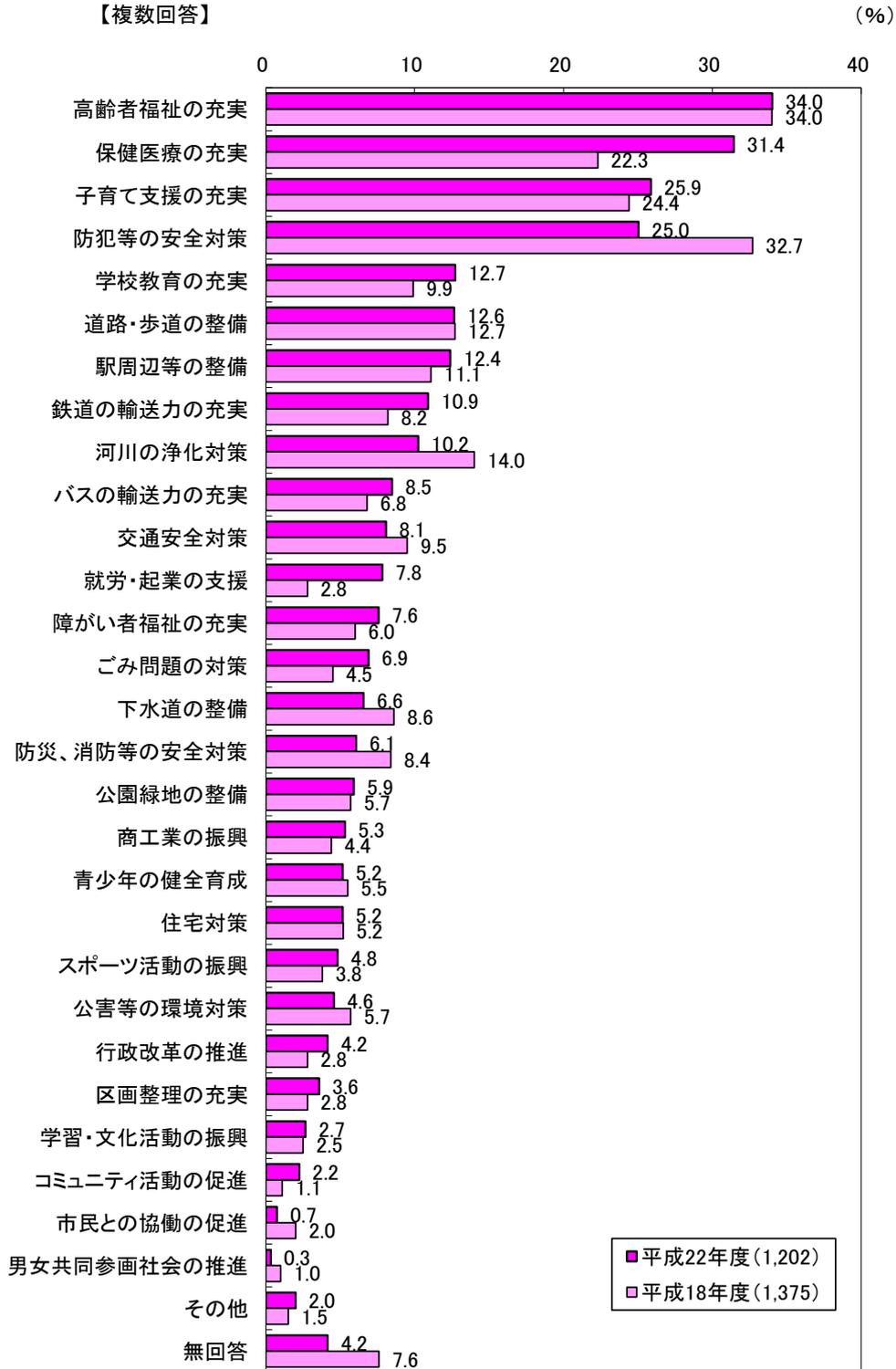
(1) 力を入れてもらいたい施策

問 32 戸田市に対してどのような施策に特に力を入れてもらいたいと思いますか。3つまで選んでください。

【全体の回答傾向】

- ・今後力を入れてもらいたい施策（複数回答）としては、「高齢者福祉の充実」が34.0%と最も多く、次いで「保健医療の充実」が31.4%、「子育て支援の充実」が25.9%、「防犯等の安全対策」が25.0%となっています。
- ・平成18年度調査と比較すると、平成18年度調査で2番目に多かった「防犯等の安全対策」が7.7ポイント下回り、一方、平成18年度調査で4番目に多かった「保健医療の充実」が9.1ポイント上回っているという特徴があります。

図表 83 力を入れてもらいたい施策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男女とも上位4位までは、福祉・医療関連や防犯関連の施策など同じ項目を挙げており、これらすべての割合は女性が男性に比べて多くなっています。
- ・年齢別にみると、16～19歳を除くすべての年代で、福祉・医療関連の施策が第3位までに入っており、具体的には、20～30歳代は「子育て支援の充実」や「保健医療の充実」、40歳以上は「高齢者福祉の充実」や「保健医療の充実」を挙げています。また、すべての年代が「防犯等の安全対策」を第3位までに挙げており、16～19歳はこれが第1位となっています。

図表 84-1 力を入れてもらいたい施策(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		高齢者福祉の充実	保健医療の充実	子育て支援の充実	防犯等の安全対策	学校教育の充実	道路・歩道の整備	駅周辺等の整備	鉄道の輸送力の充実	河川の浄化対策	バスの輸送力の充実	交通安全対策	就労・起業の支援	障がい者福祉の充実
全体(1,202)		34.0	31.4	25.9	25.0	12.7	12.6	12.4	10.9	10.2	8.5	8.1	7.8	7.6
性別	男性(512)	31.6	28.9	26.0	22.5	10.7	11.3	13.3	12.3	10.4	7.4	8.4	10.7	8.8
	女性(669)	35.3	33.3	26.2	27.2	14.5	13.8	12.0	10.2	9.9	9.3	7.9	5.8	6.6
年齢別	16～19歳(35)	11.4	20.0	17.1	28.6	22.9	14.3	22.9	11.4	22.9	8.6	20.0	11.4	5.7
	20～29歳(128)	12.5	28.1	36.7	28.1	9.4	6.3	19.5	18.0	12.5	7.8	8.6	15.6	4.7
	30～39歳(276)	14.1	34.4	54.3	25.4	25.0	10.9	13.8	13.8	9.8	7.2	9.4	6.2	4.7
	40～49歳(230)	25.7	30.9	22.6	29.6	18.3	17.4	16.5	16.1	9.6	8.7	6.1	8.3	7.4
	50～59歳(156)	43.6	25.0	8.3	26.3	5.8	17.9	11.5	10.3	12.2	9.0	10.9	10.9	7.7
	60～69歳(196)	54.6	32.1	13.8	19.9	5.1	9.7	9.2	3.6	11.2	9.2	5.1	6.1	8.7
	70歳以上(178)	64.6	37.1	9.0	20.8	1.7	12.4	2.2	2.8	4.5	9.0	6.7	2.8	13.5
居住地区別	下戸田1地区(167)	44.3	36.5	25.1	26.9	13.8	10.2	6.0	2.4	9.0	8.4	7.2	7.2	9.0
	下戸田2地区(203)	39.4	26.1	26.1	20.2	15.3	9.9	9.4	13.3	8.9	6.4	10.8	10.8	9.9
	上戸田1地区(127)	25.2	33.9	29.1	23.6	20.5	11.8	17.3	12.6	7.1	6.3	3.9	7.1	7.9
	上戸田2地区(165)	29.7	29.7	26.7	24.2	14.5	9.7	14.5	15.8	17.6	6.7	4.8	7.3	4.2
	新曽地区(261)	28.7	27.6	24.1	24.9	9.6	19.2	19.9	13.8	10.7	6.5	6.9	6.9	5.4
	笹目地区(177)	35.0	34.5	28.2	29.9	8.5	11.9	8.5	7.3	8.5	12.4	10.7	6.2	10.2
	美女木地区(101)	36.6	38.6	21.8	26.7	8.9	12.9	6.9	8.9	8.9	16.8	12.9	9.9	6.9

- ・居住地区別にみると、すべての地区が上位4項目までは、福祉・医療関連や防犯関連の施策など同じ項目を挙げています。

図表 84-2 力を入れてもらいたい施策(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

ごみ問題の対策	下水道の整備	防災、消防等の安全対策	公園緑地の整備	商工業の振興	青少年の健全育成	住宅対策	スポーツ活動の振興	公害等の環境対策	行政改革の推進	区画整理の充実	学習・文化活動の振興	コミュニティ活動の促進	市民との協働の促進	男女共同参画社会の推進	その他	無回答
6.9	6.6	6.1	5.9	5.3	5.2	5.2	4.8	4.6	4.2	3.6	2.7	2.2	0.7	0.3	2.0	4.2
7.0	6.8	7.0	6.8	5.9	6.3	5.1	7.0	3.1	4.1	3.7	3.5	2.5	1.0	0.2	1.8	4.5
6.9	6.4	5.4	5.4	4.9	4.3	4.9	3.1	5.8	4.3	3.6	2.1	2.1	0.6	0.4	2.1	3.4
8.6	17.1	8.6	5.7	0.0	2.9	2.9	8.6	5.7	0.0	0.0	8.6	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0
7.8	3.1	3.1	7.8	6.3	3.9	3.9	10.9	4.7	3.9	4.7	3.9	3.1	0.8	0.8	0.8	4.7
2.5	3.6	5.1	6.9	9.1	1.8	4.3	3.3	3.6	4.0	3.6	2.5	1.4	0.7	0.0	2.5	0.7
5.2	10.0	6.1	5.7	3.5	4.3	5.7	5.2	5.7	2.2	3.0	0.4	2.2	0.0	0.0	3.9	1.3
9.0	5.8	8.3	7.1	6.4	7.7	3.2	6.4	5.8	3.2	4.5	3.8	1.9	0.6	0.6	2.6	3.2
10.7	7.1	7.7	6.6	3.1	9.7	7.1	5.1	4.6	5.6	4.1	3.1	2.0	2.0	0.5	0.5	6.6
9.0	6.7	5.6	1.7	3.9	5.6	6.7	0.0	3.4	7.3	2.8	2.2	3.4	0.0	0.0	1.1	11.2
6.6	4.8	4.2	3.6	8.4	6.6	6.0	7.2	3.6	4.2	0.6	3.6	2.4	1.8	0.0	2.4	3.6
8.4	2.5	6.4	7.9	4.9	4.9	7.4	3.4	7.9	5.9	0.5	2.5	2.5	0.5	0.0	2.0	3.4
5.5	4.7	7.9	7.1	5.5	3.9	3.9	4.7	5.5	2.4	3.1	6.3	1.6	0.0	0.0	2.4	5.5
6.1	3.6	9.1	5.5	4.2	6.7	3.0	4.2	4.2	6.1	3.0	3.0	4.2	0.6	0.6	3.0	4.2
6.9	18.0	5.7	8.4	5.4	2.3	3.8	4.2	3.1	1.5	8.4	1.5	1.9	0.0	0.4	1.5	3.4
6.2	2.8	3.4	3.4	5.1	8.5	6.8	4.0	4.5	4.5	4.5	1.1	1.7	2.3	0.6	1.7	5.6
8.9	2.0	6.9	3.0	3.0	4.0	5.0	7.9	3.0	5.9	2.0	2.0	1.0	0.0	1.0	1.0	3.0

【属性別の注目すべき回答傾向】

- 年齢別にみると、年代によって力を入れてもらいたい施策は異なっており、年齢が上がるにつれて「高齢者福祉の充実」を挙げる人が多くなっています。また、30歳代は「子育て支援の充実」が半数を超え、他の年代より突出して多いという特徴があります。このほか、概ね年齢が下がるほど「駅周辺等の整備」を挙げる傾向がみられます。

【属性別の注目すべき回答傾向（つづき）】

図表 85 力を入れてもらいたい施策の上位項目（年齢別）

